

参考

男女共同参画・多文化共生に関する
市民意識調査結果
【男女共同参画編】

令和2年度
湖西市

1. 調査概要.....	1
I 調査目的.....	1
II 調査設計.....	1
III 回収結果.....	1
IV 報告書をみる際の注意事項.....	1
2. 調査結果.....	3
I 属性.....	3
<1. 性別>.....	3
<2. 年齢>.....	3
<3. 家族構成>.....	4
<4. 就業状況>.....	5
<5. 結婚状況>.....	6
<6. 夫婦の就業状況>.....	7
<7. 高校生以下の子どもの有無>.....	8
<8. 介護・介助の必要な家族の有無>.....	9
II 言葉・考え方について.....	10
<1. 『男女共同参画』の認知>.....	10
<3. 『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ』の認知>.....	11
<4. 『選択的夫婦別氏制度』の認知>.....	122
III 社会における男女平等について.....	13
<1. 性別役割分担意識についての考え方>.....	13
<2. 家庭生活の平等感>.....	14
<3. 職場の平等感>.....	15
<4. 就職の平等感>.....	16
<5. 学校教育の場の平等感>.....	17
<6. 地域（自治会・PTA等）の平等感>.....	18
<7. 政治の場の平等感>.....	19
<8. 法律や制度の上の平等感>.....	20
<9. 社会通念や慣習・しきたりの平等感>.....	21
<10. ドラマ・漫画・文化の平等感>.....	222
<11. 社会全体の平等感>.....	23
<12. 男女平等社会実現のために大切なこと>.....	24
<13. 男女平等社会実現のために行政が力を入れるべきこと>.....	26
IV 家庭生活における役割分担について.....	28
<1. 家計についての考え方>.....	28
<2. 家事についての考え方>.....	29
<3. 育児についての考え方>.....	30
<4. 介護についての考え方>.....	31

V	職業や労働について	32
	＜1. 「女性と職業」についての考え方＞	32
	＜2. 女性が働く上での障害＞	33
	＜3. 育児休業・休暇についての考え方＞	36
	＜4. 介護休業・休暇についての考え方＞	37
	＜5. 育児休業・休暇を男性が取得する環境＞	38
	＜6. 介護休業・休暇を男性が取得する環境＞	39
VI	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について	40
	＜1. 『ワーク・ライフ・バランス』の認知＞	40
	＜2. 理想の仕事と家庭生活（プライベート）＞	41
	＜3. 現実の仕事と家庭生活（プライベート）＞	42
VII	セクシュアル・ハラスメントについて	43
	＜1. セクハラ経験の有無＞	43
	＜2. セクハラへの対応＞	45
VIII	ドメスティック・バイオレンス（DV）について	47
	＜1. DV経験の有無＞	47
	＜2. DVへの対応＞	49
IX	防災・復興について	51
	＜1. 災害対応への女性参画のために必要な施策＞	51
X	性的マイノリティについて	54
	＜1. 『性的マイノリティ（LGBT）』の認知＞	54
	＜2. 性的マイノリティにとって生活しやすい社会か＞	55
	＜3. 性的マイノリティが生活しやすくなるために必要な施策＞	56
XI	その他について	58
	＜1. 市政への女性の意見の反映＞	58

3.	調査票	59
----	-----	----

1. 調査概要

1. 調査概要

I 調査目的

このアンケートは、市民の男女平等や男女共同参画社会の実現及び多文化共生に関する考えや意見をお聞きし、今後の計画推進の参考とするために実施しました。

II 調査設計

調査対象：湖西市在住の18歳以上の男女

調査方法：郵送配布・郵送回収

抽出方法：無作為抽出

調査期間：令和2年6月18日（木）～令和2年7月8日（水）

調査機関：株式会社サーベイリサーチセンター静岡事務所

III 回収結果

発送数：1,500件

回収数：670件（無効票0件）

有効回収数：670件

有効回収率：44.7%

※無効票とは、回収されたが無記入あるいは記入が少ない調査票のことです。

IV 報告書を見る際の注意事項

- ・サンプルサイズはnとして記載し、回答比率はこれを100%として算出しています。
- ・比率は百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。
- ・複数回答が可能な設問の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。

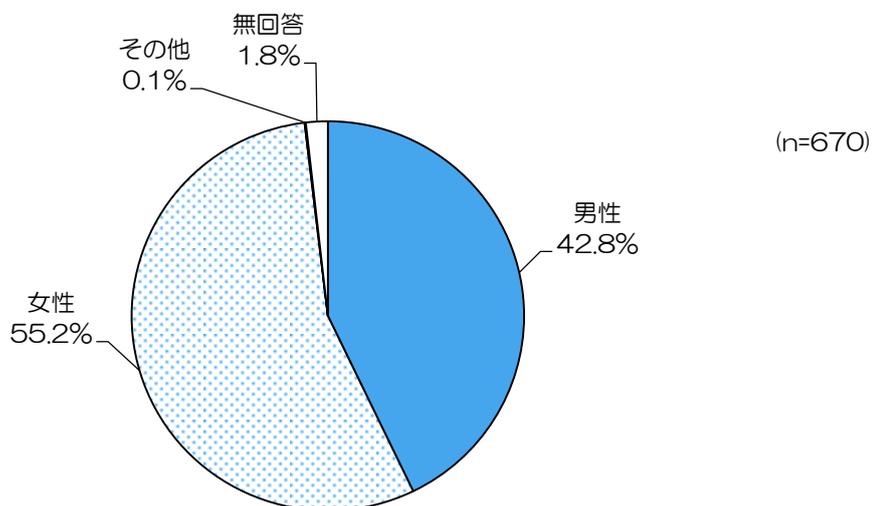
2. 調査結果

2. 調査結果

I 属性

<1. 性別>

問1 あなたの性別をお答えください。(1つを選択)

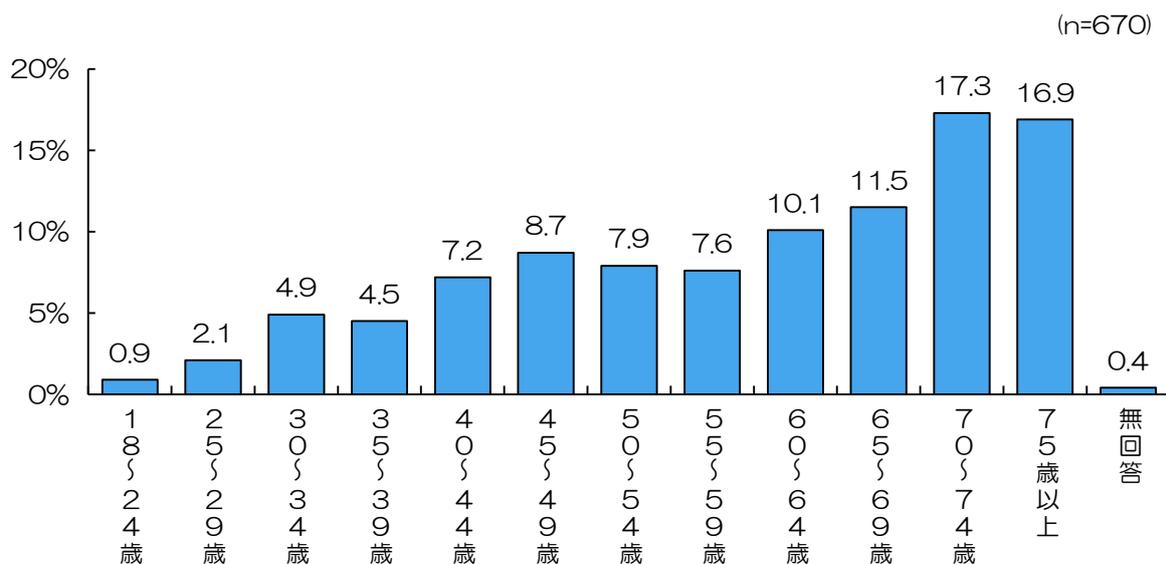


性別は、「男性」が42.8%、「女性」が55.2%、「その他」が0.1%となっています。

<2. 年齢>

問2 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。(1つを選択)

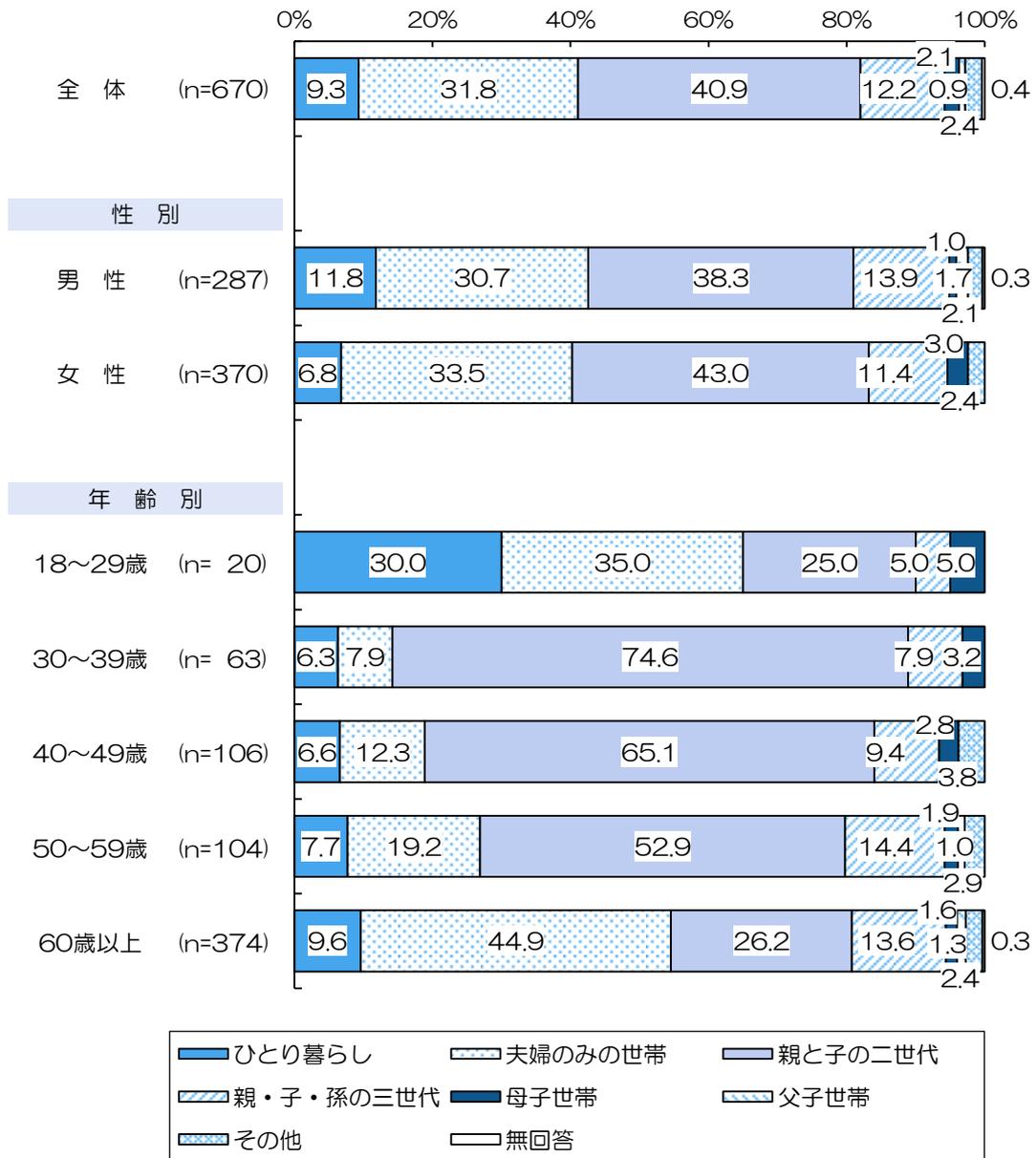
※6月1日現在の年齢をお選びください。



年齢は、「70～74歳」が17.3%と最も多く、次いで「75歳以上」が16.9%、「65～69歳」が11.5%などとなっています。

〈3. 家族構成〉

問3 あなたの家族構成（同居している家族）は次のどれにあてはまりますか。（1つを選択）

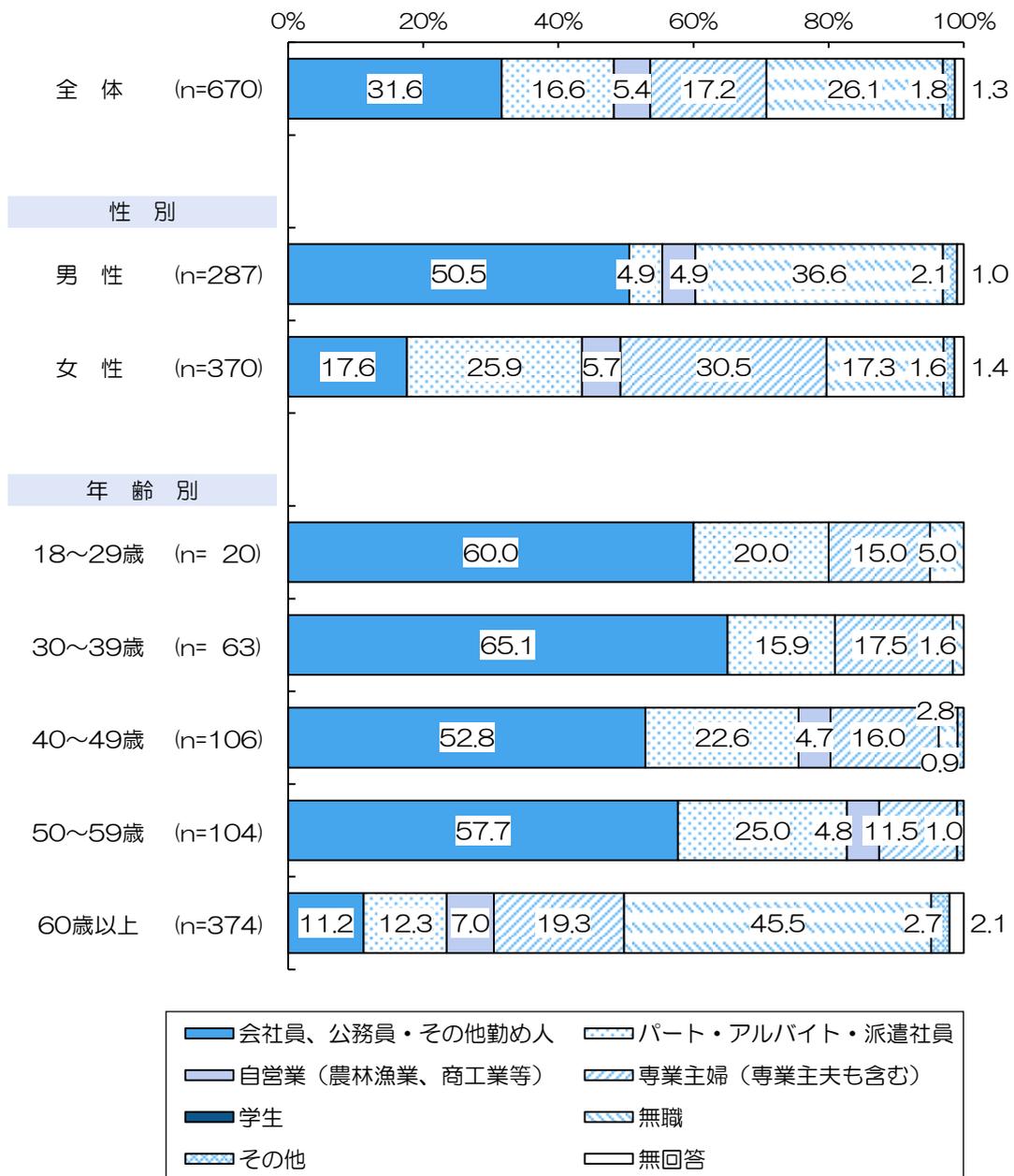


家族構成は、「親と子の二世帯」が40.9%と最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が31.8%、「親・子・孫の三世帯」が12.2%などとなっています。

<4. 就業状況>

問4 あなたの職業は次のどれにあてはまりますか。

(兼業の方は主なものをお選びください。)(1つを選択)



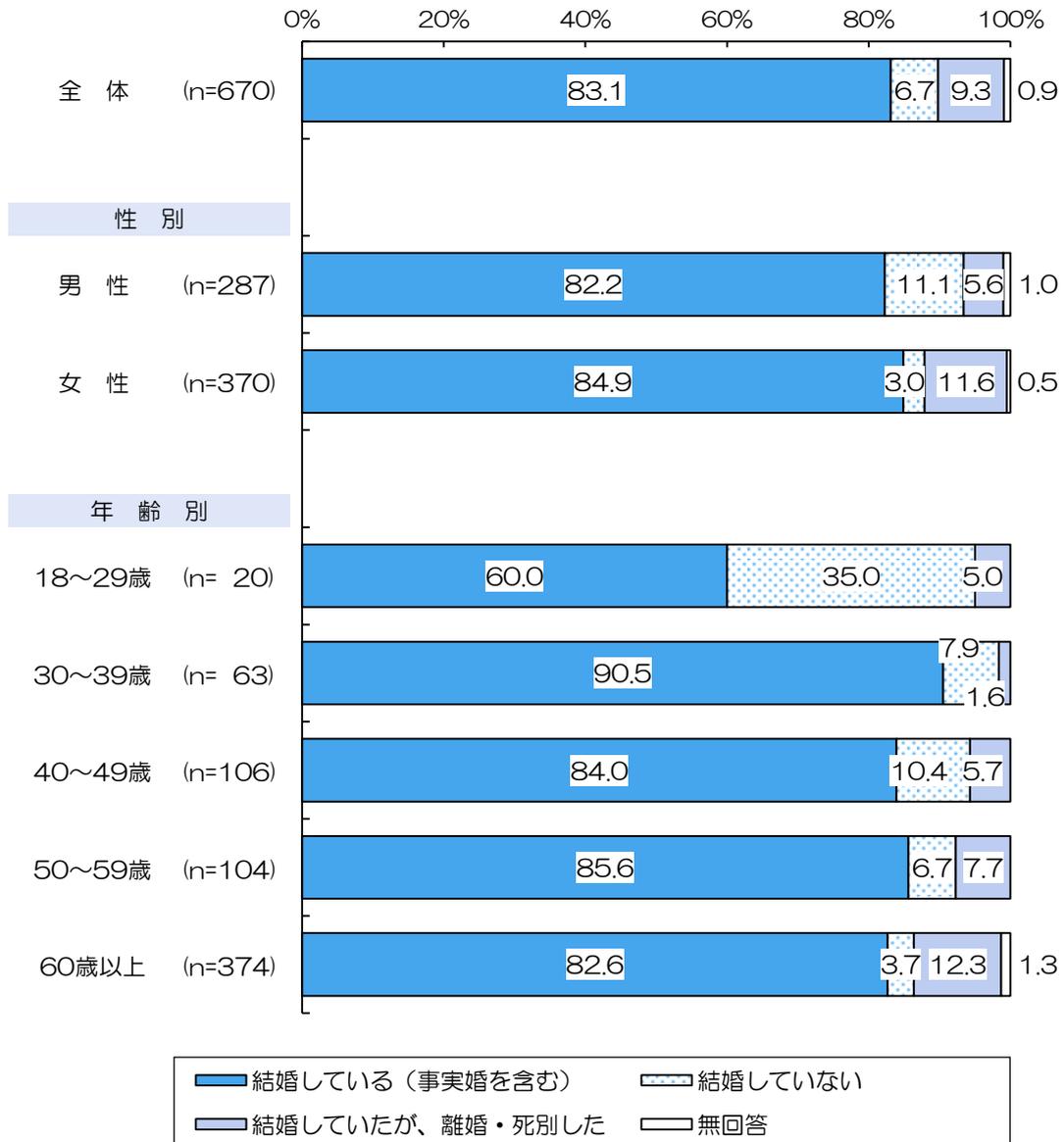
就業状況は、「会社員、公務員・その他勤め人」が31.6%と最も多く、次いで「無職」が26.1%、「専業主婦（専業主夫も含む）」が17.2%などとなっています。

性別にみると、「女性」では「専業主婦（専業主夫も含む）」が30.5%と最も多くなっています。

年齢別にみると、「60歳以上」では「無職」が45.5%と最も多くなっています。

<5. 結婚状況>

問5 あなたは結婚していますか。(1つを選択)

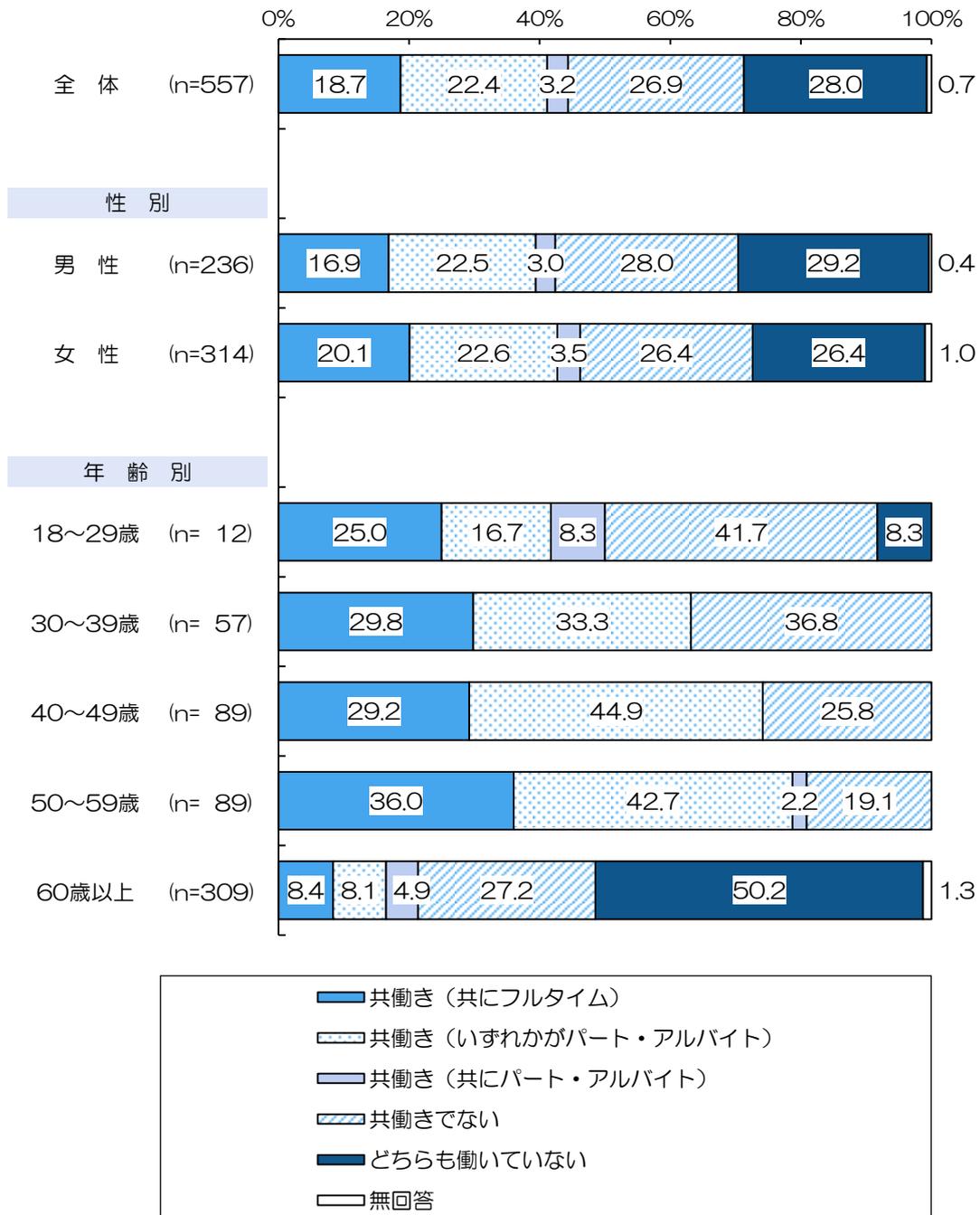


結婚状況は、「結婚している（事実婚を含む）」が83.1%、「結婚していない」が6.7%、「結婚していたが、離婚・死別した」が9.3%となっています。

<6. 夫婦の就業状況>

<問5で「1. 結婚している（事実婚を含む）」とお答えの方>

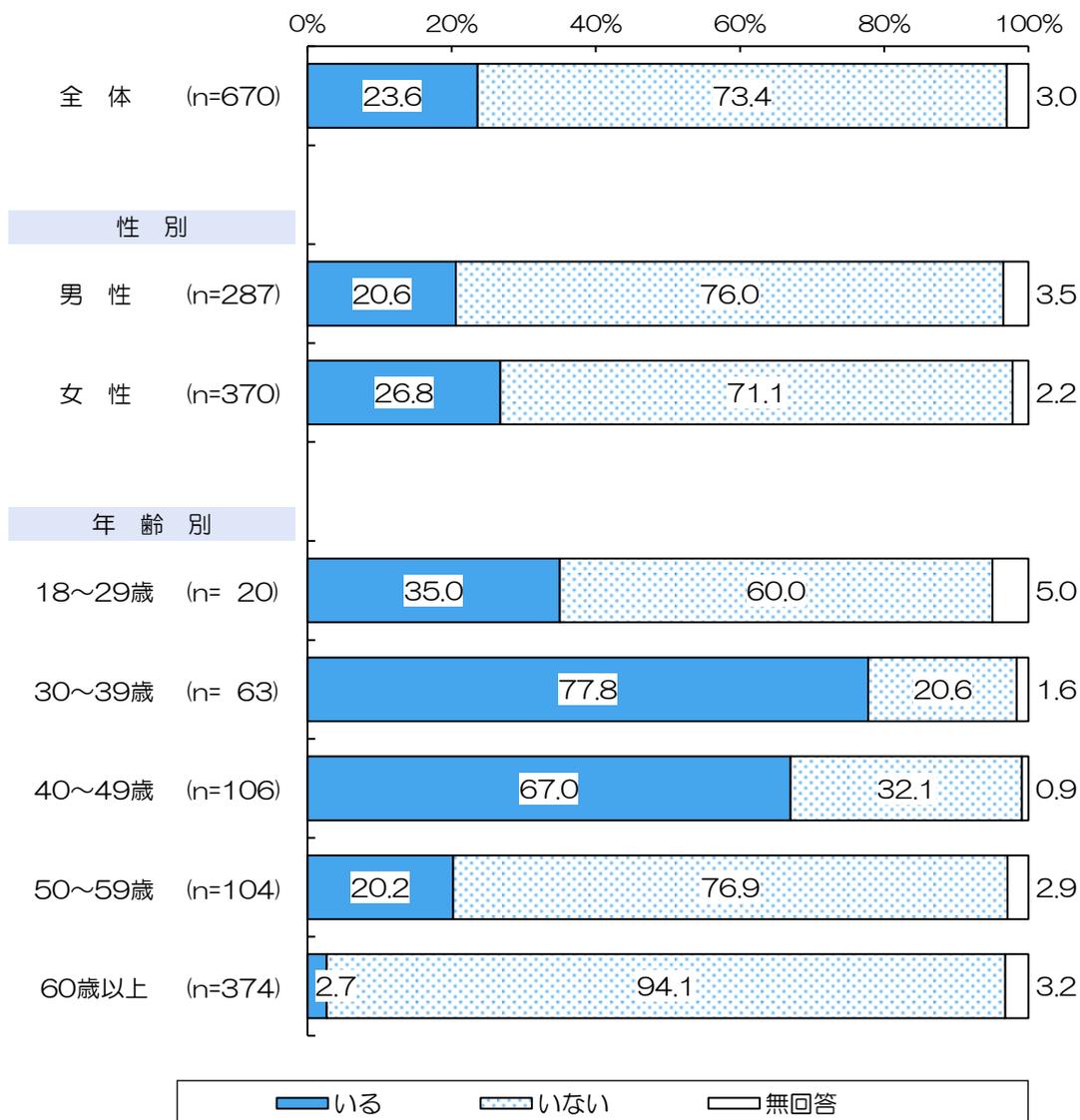
問6 現在、共働きをしていますか。（1つを選択）



夫婦の就業状況は、「どちらも働いていない」が28.0%と最も多く、次いで「共働きでない」が26.9%、「共働き（いずれかがパート・アルバイト）」が22.4%などとなっています。

<7. 高校生以下の子どもの有無>

問7 あなたは高校生以下のお子さんがいらっしゃいますか。(1つを選択)

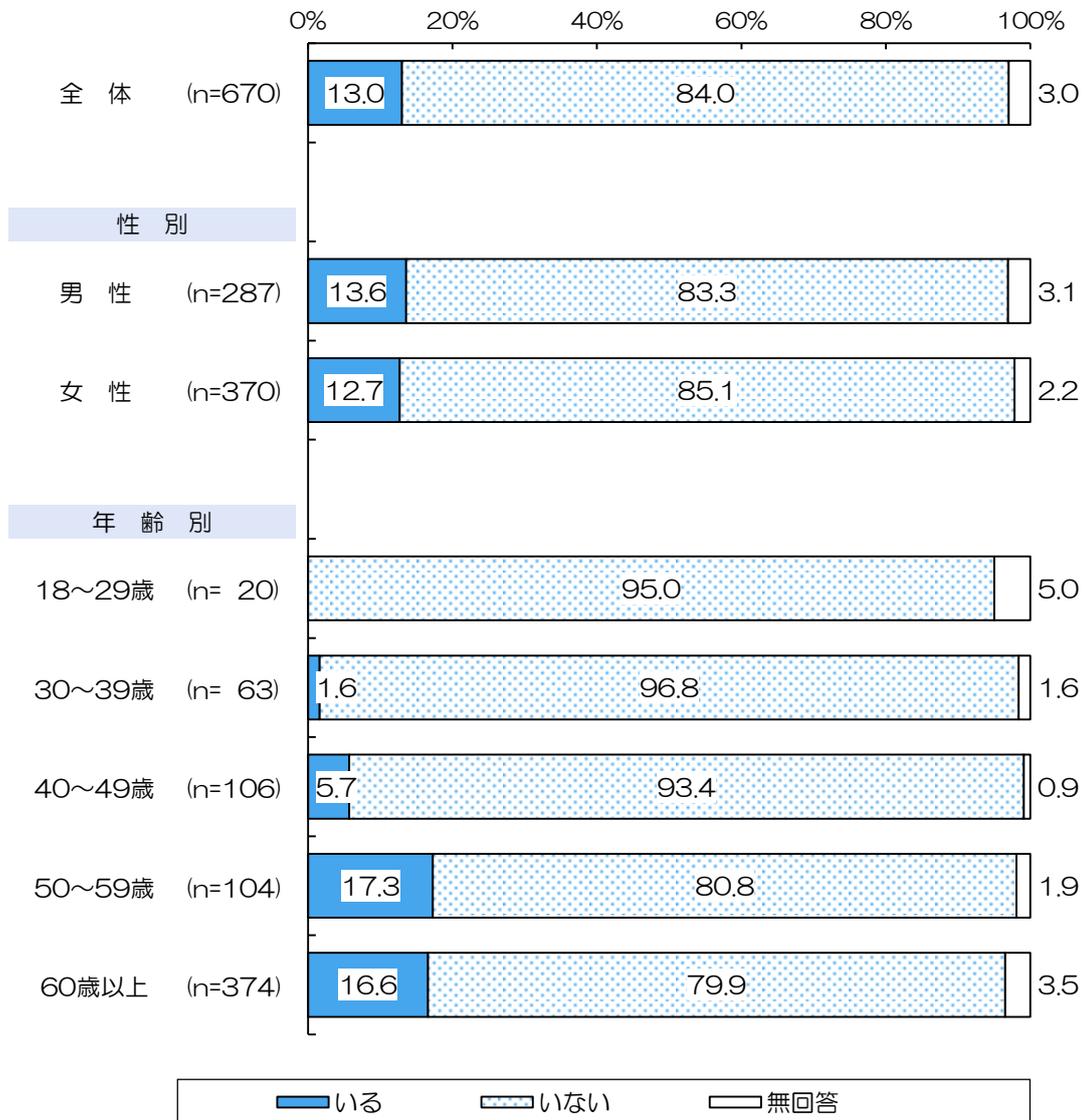


高校生以下の子どもの有無は、「いる」が23.6%、「いない」が73.4%となっています。

<8. 介護・介助の必要な家族の有無>

問8 あなたを含めたご家族の中に介護・介助が必要な方がいらっしゃいますか。

(1つを選択)

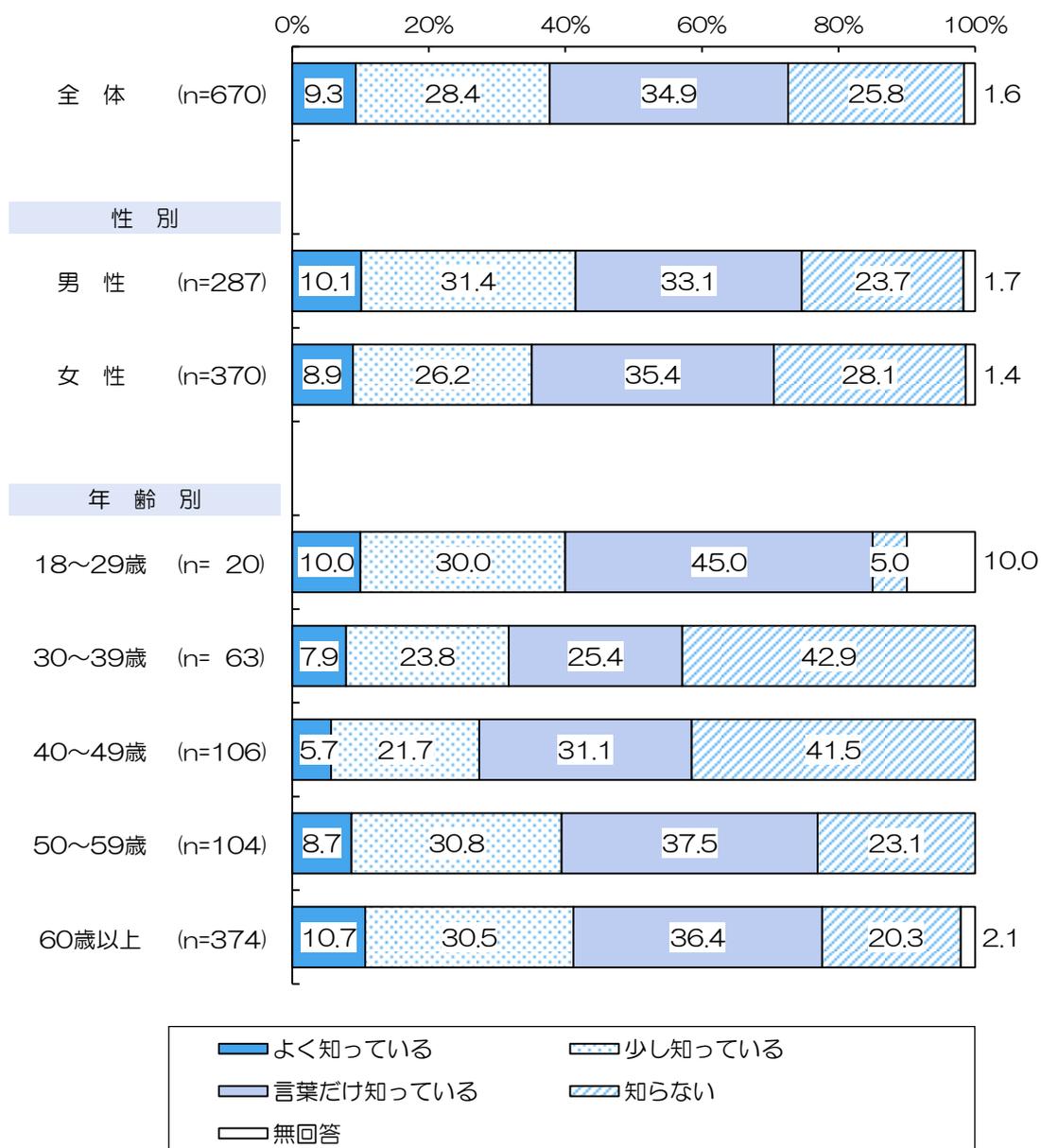


介護・介助の必要な家族の有無は、「いる」が13.0%、「いない」が84.0%となっています。

Ⅱ 言葉・考え方について

＜1. 『男女共同参画』の認知＞

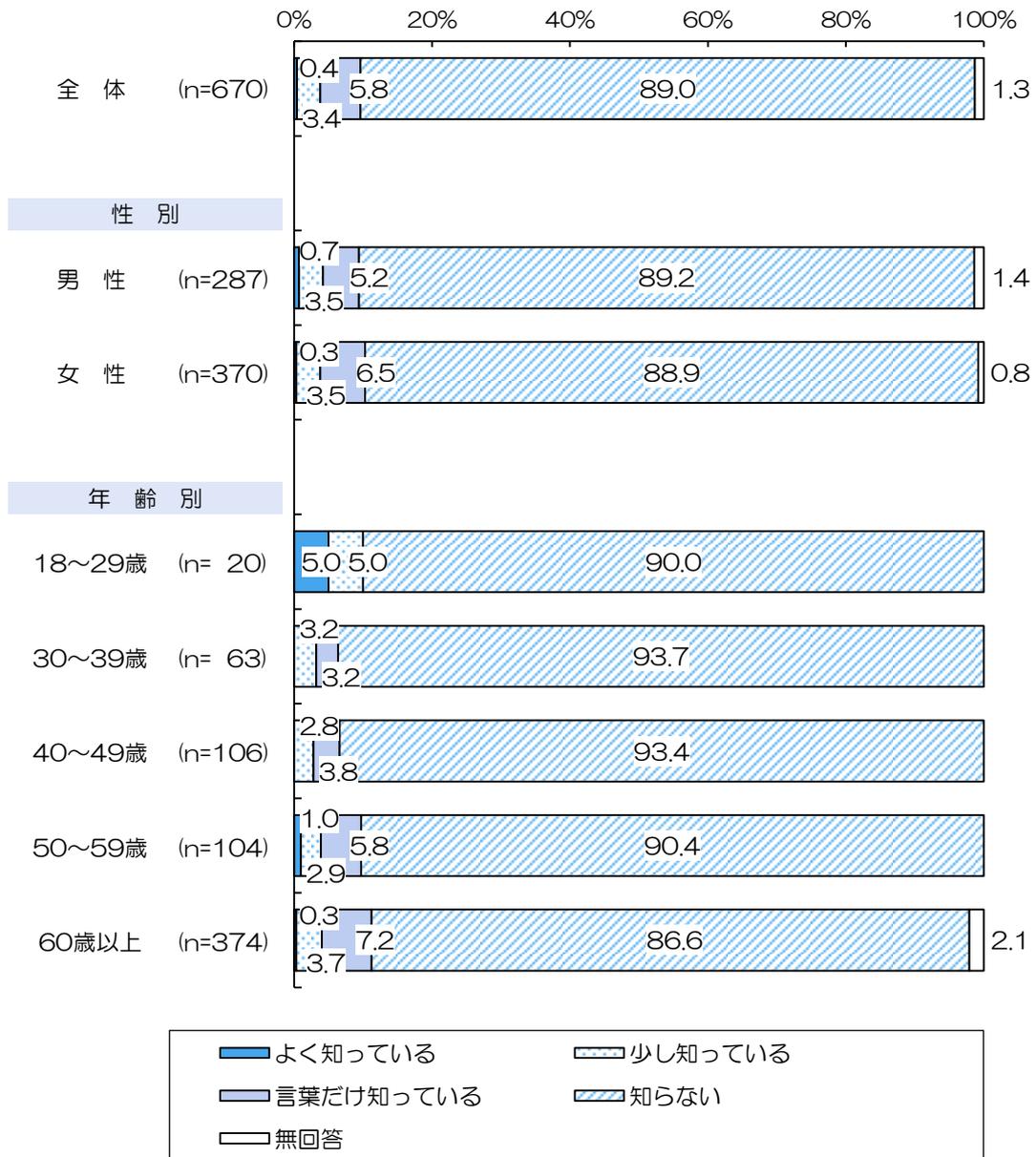
問9 『男女共同参画』という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。(1つを選択)



『男女共同参画』の認知は、「よく知っている」が9.3%、「少し知っている」が28.4%、「言葉だけ知っている」が34.9%、「知らない」が25.8%となっています。

＜3. 『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ』の認知＞

問11 『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ』という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。(1つを選択)

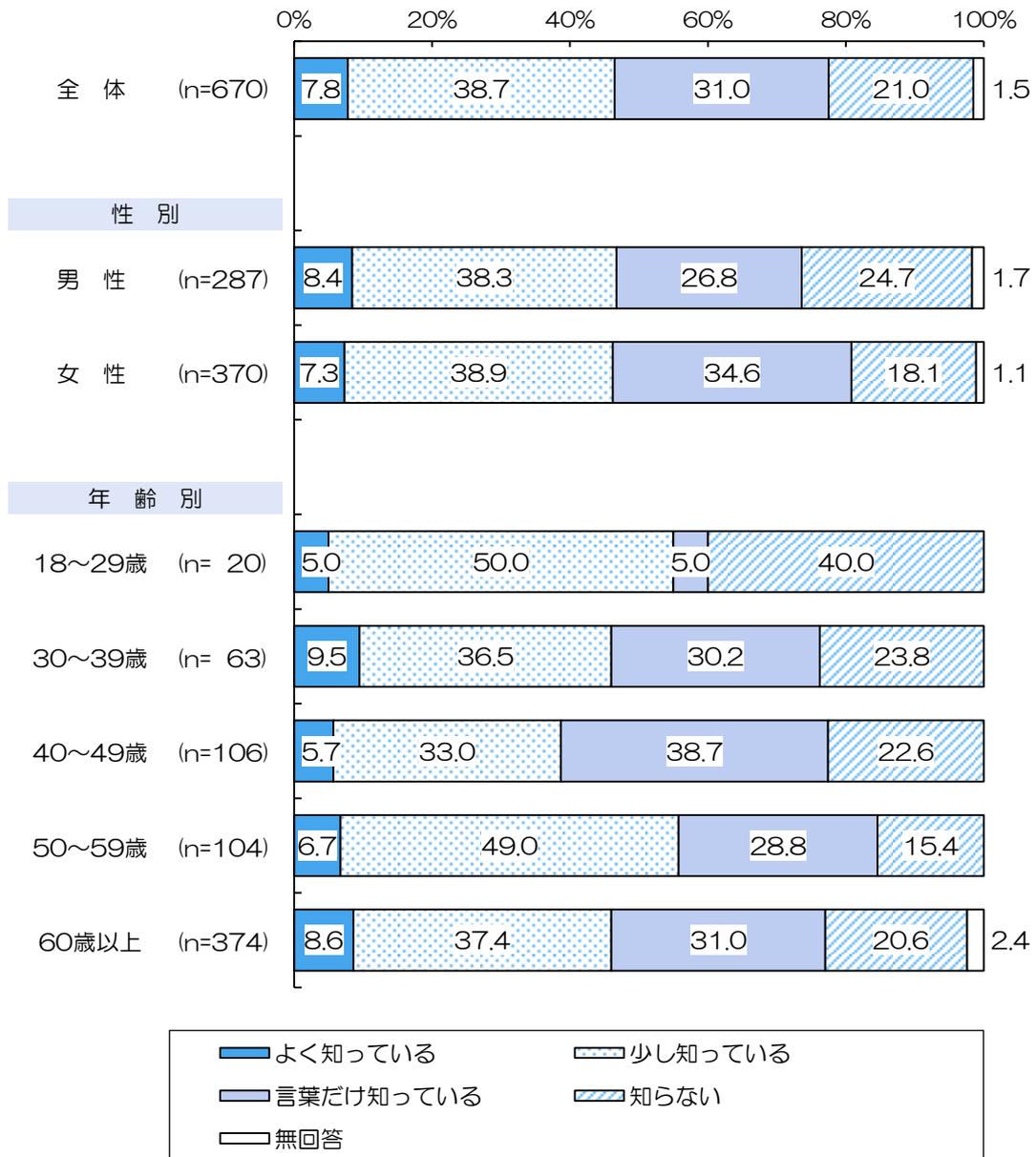


『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ』の認知は、「よく知っている」が0.4%、「少し知っている」が3.4%、「言葉だけ知っている」が5.8%、「知らない」が89.0%となっています。

<4. 『選択的夫婦別氏制度』の認知>

問12 選択的夫婦別氏制度という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。

(1つを選択)

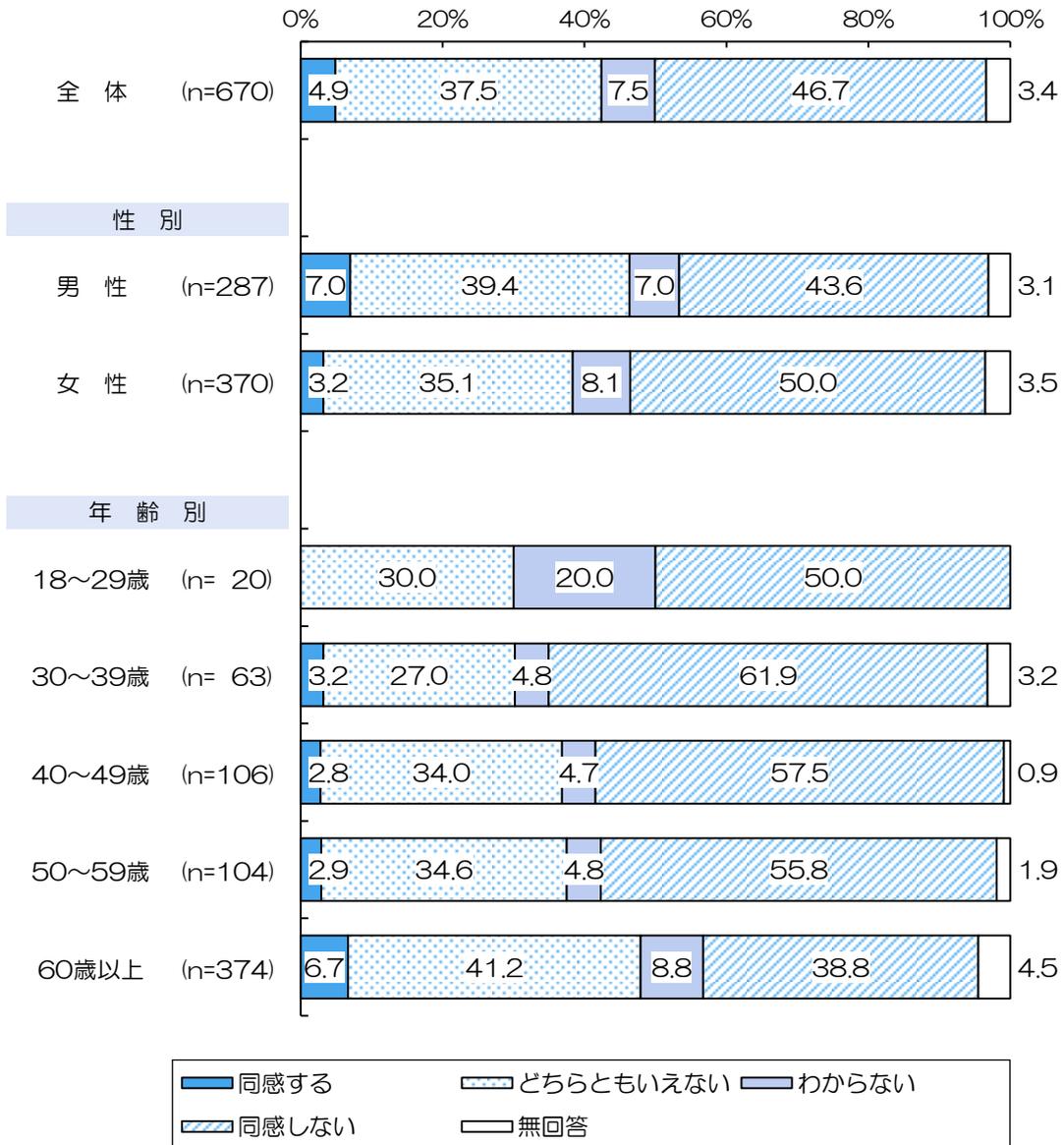


『選択的夫婦別氏制度』の認知は、「よく知っている」が7.8%、「少し知っている」が38.7%、「言葉だけ知っている」が31.0%、「知らない」が21.0%となっています。
年齢別にみると、“40~49歳”では「言葉だけ知っている」が38.7%と最も多くなっています。

Ⅲ 社会における男女平等について

＜1. 性別役割分担意識についての考え方＞

問13 『男は仕事、女は家庭』というような男女の役割を固定的に考えること（性別役割分担意識）について、あなたはどのようにお考えですか。（1つを選択）



性別役割分担意識についての考え方は、「同感する」が4.9%、「どちらともいえない」が37.5%、「わからない」が7.5%、「同感しない」が46.7%となっています。

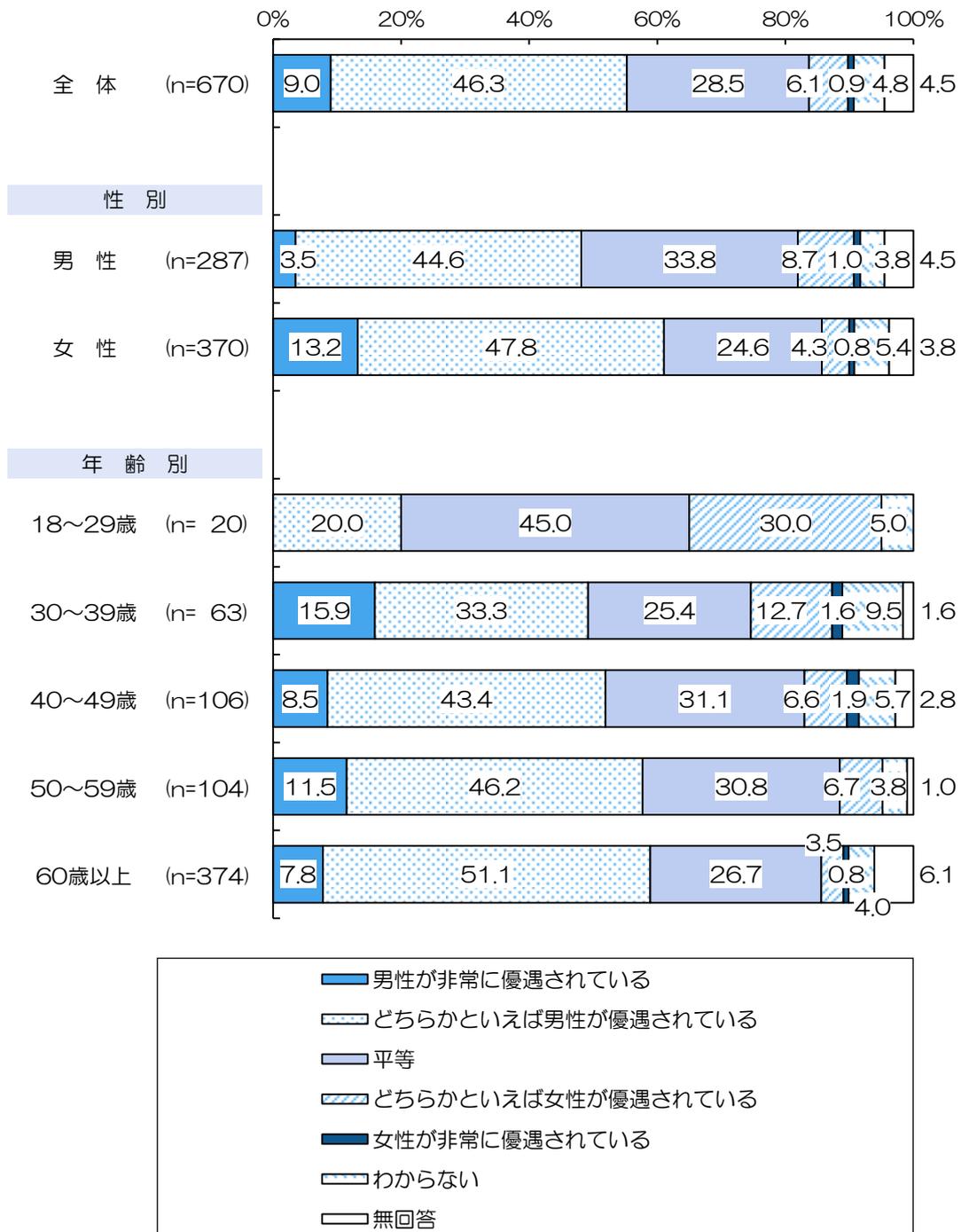
年齢別にみると、“60歳以上”では「どちらともいえない」が41.2%と最も多くなっています。

〈2. 家庭生活の平等感〉

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。

(それぞれ1つを選択)

①家庭生活

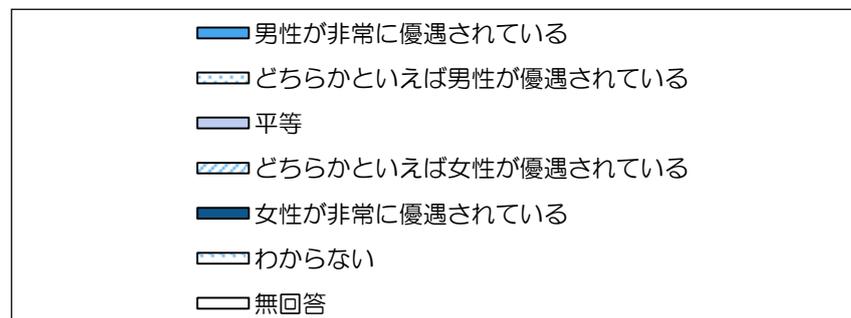
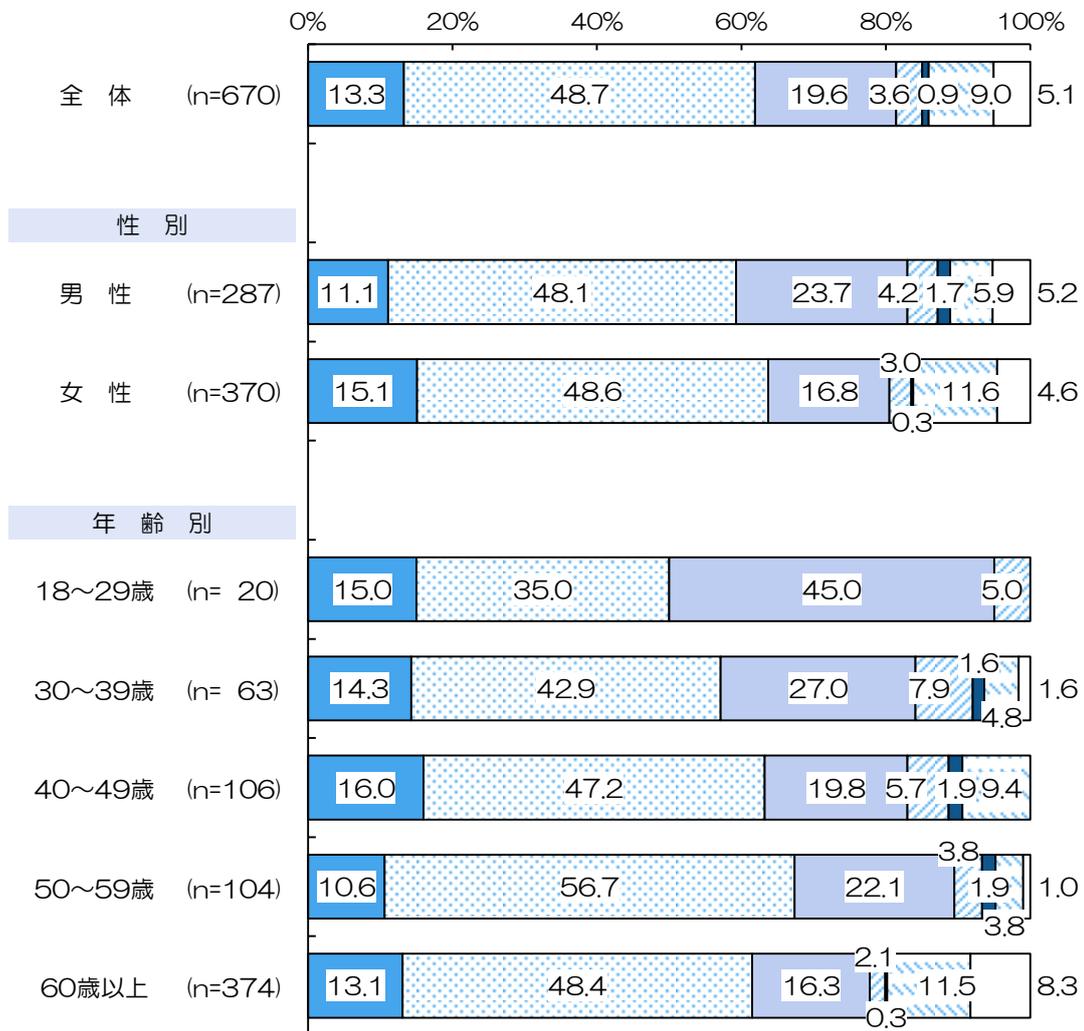


家庭生活の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が46.3%と最も多く、次いで「平等」が28.5%、「男性が非常に優遇されている」が9.0%などとなっています。
年齢別にみると、“18~29歳”では「平等」が45.0%と最も多くなっています。

<3. 職場の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

②職場

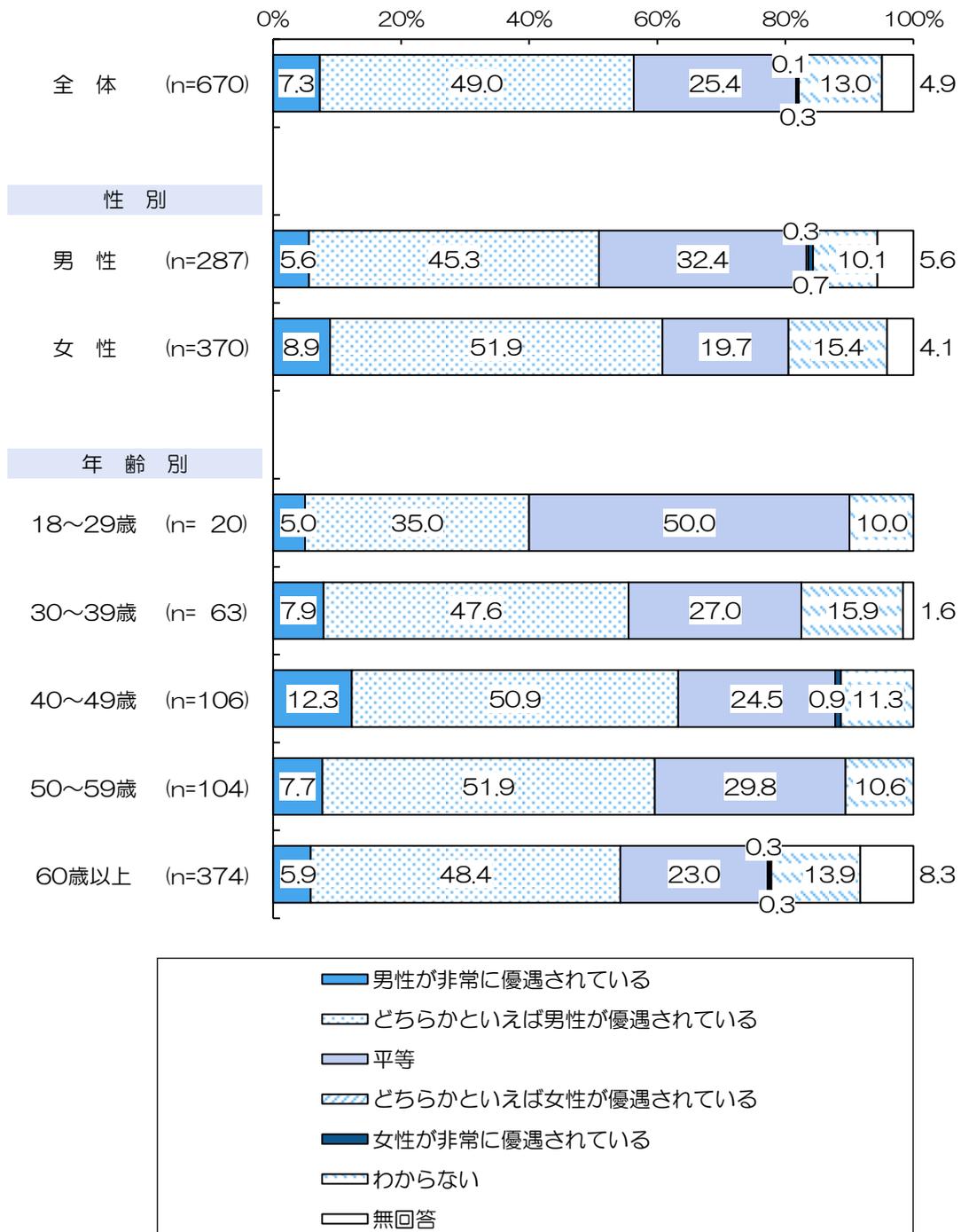


職場の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が48.7%と最も多く、次いで「平等」が19.6%、「男性が非常に優遇されている」が13.3%などとなっています。
年齢別にみると、“18~29歳”では「平等」が45.0%と最も多くなっています。

<4. 就職の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

③就職



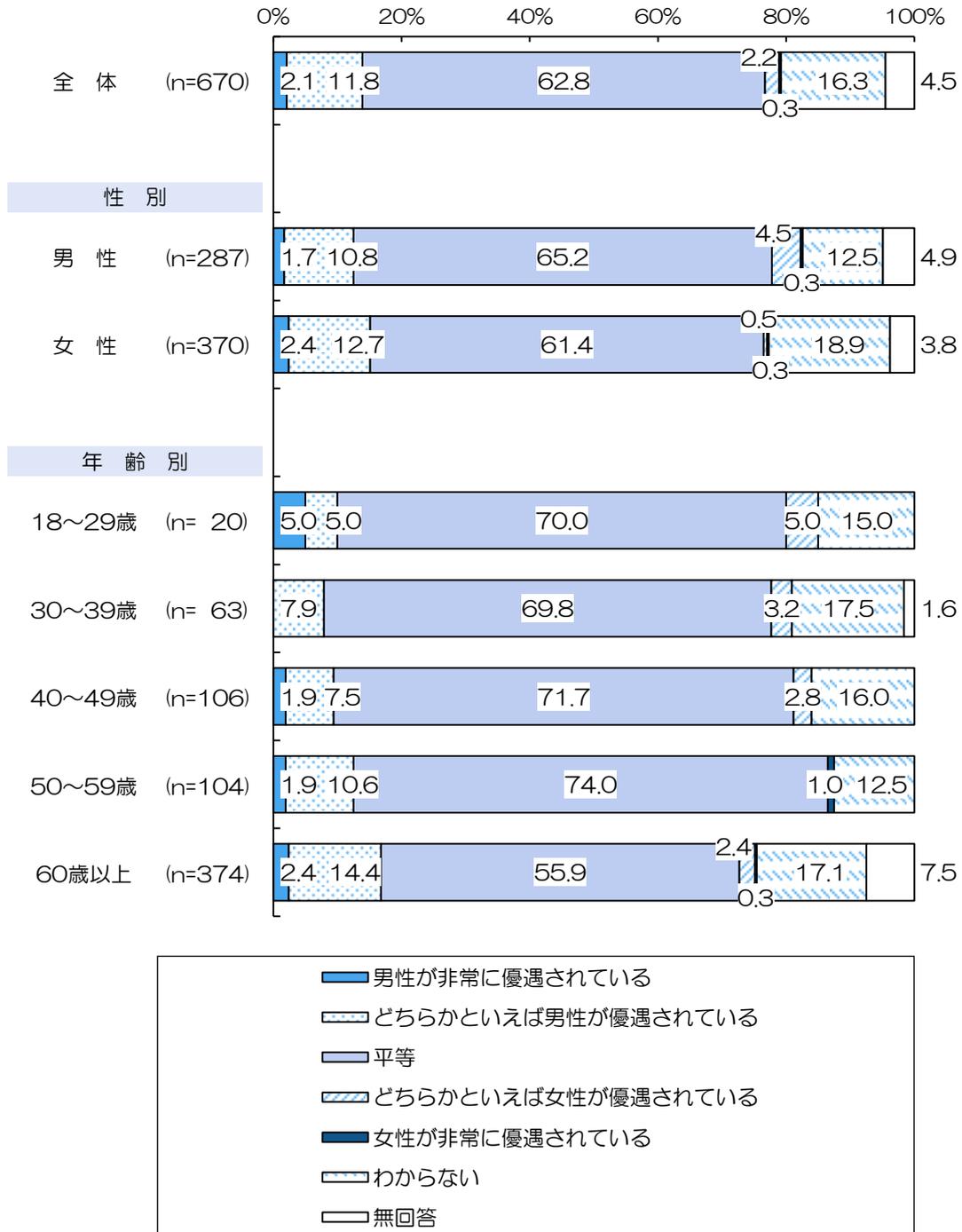
就職の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が49.0%と最も多く、次いで「平等」が25.4%、「わからない」が13.0%などとなっています。

年齢別にみると、“18~29歳”では「平等」が50.0%と最も多くなっています。

<5. 学校教育の場の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

④学校教育の場

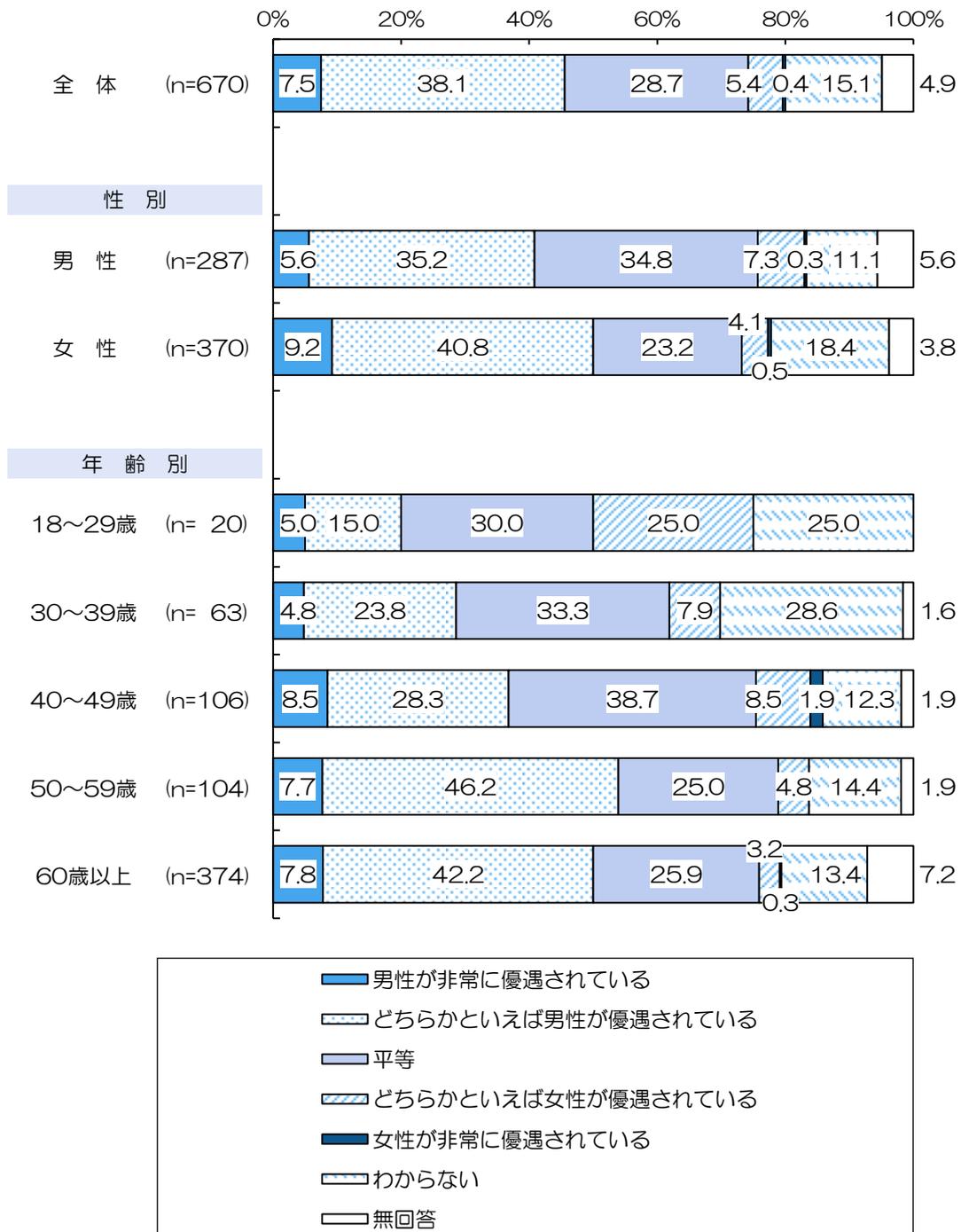


学校教育の場の平等感は、「平等」が62.8%と最も多く、次いで「わからない」が16.3%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が11.8%などとなっています。

<6. 地域（自治会・PTA等）の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
（それぞれ1つを選択）

⑤地域（自治会・PTA等）

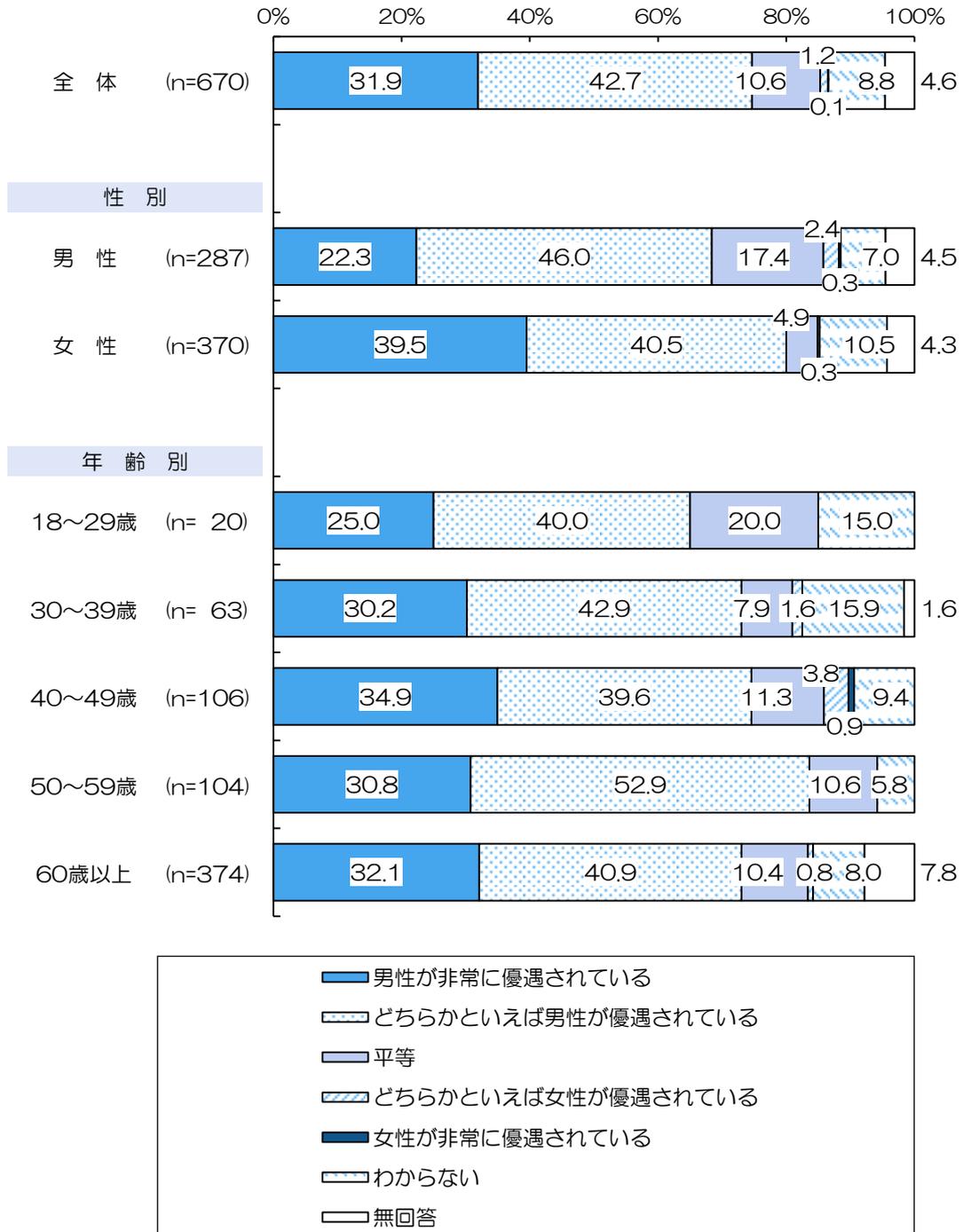


地域（自治会・PTA等）の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が38.1%と最も多く、次いで「平等」が28.7%、「わからない」が15.1%などとなっています。

<7. 政治の場の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

⑥政治の場

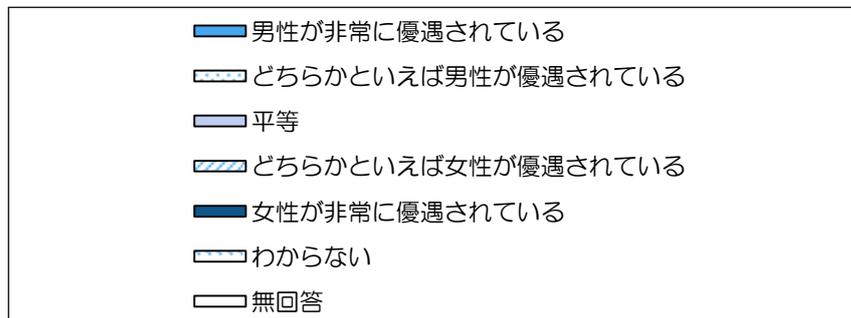
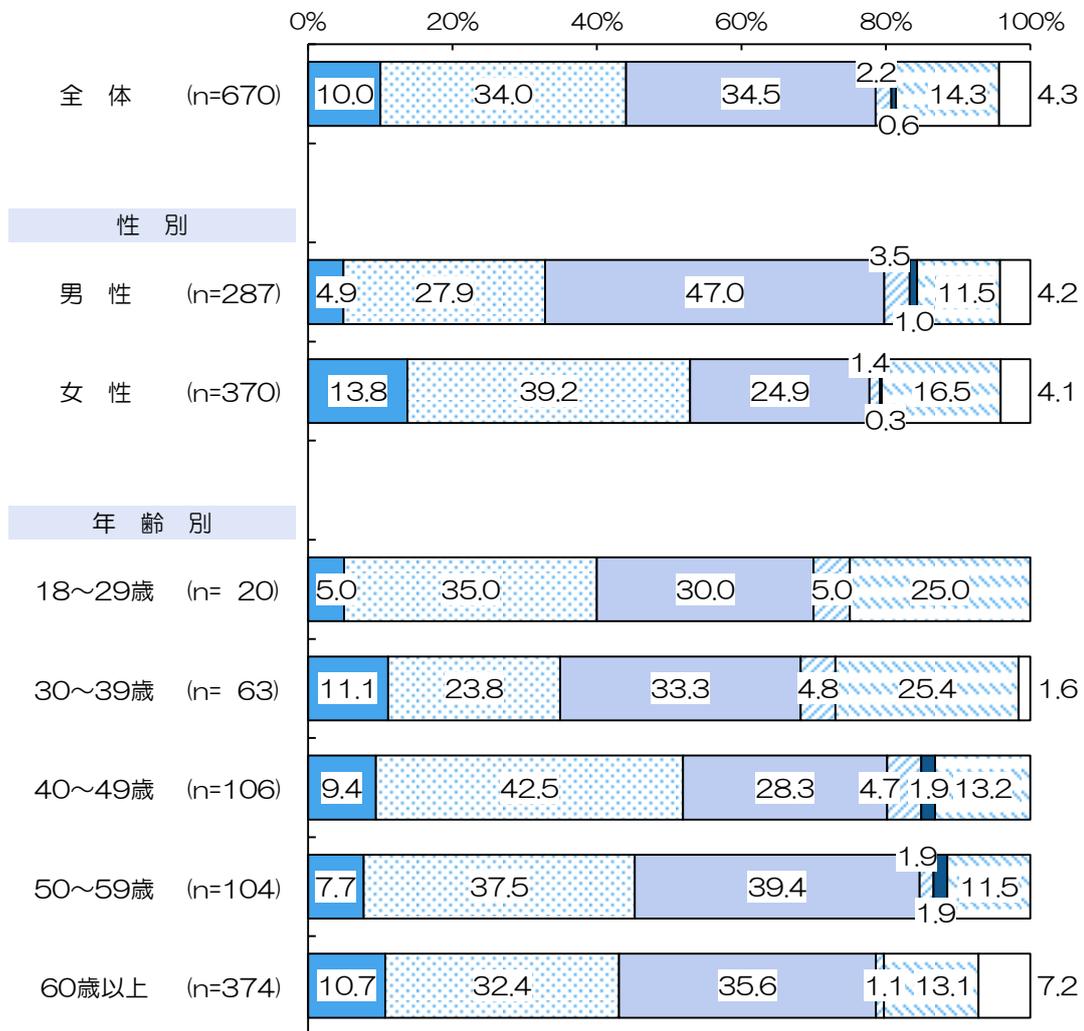


政治の場の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が42.7%と最も多く、次いで「男性が非常に優遇されている」が31.9%、「平等」が10.6%などとなっています。

<8. 法律や制度の上の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

⑦法律や制度の上



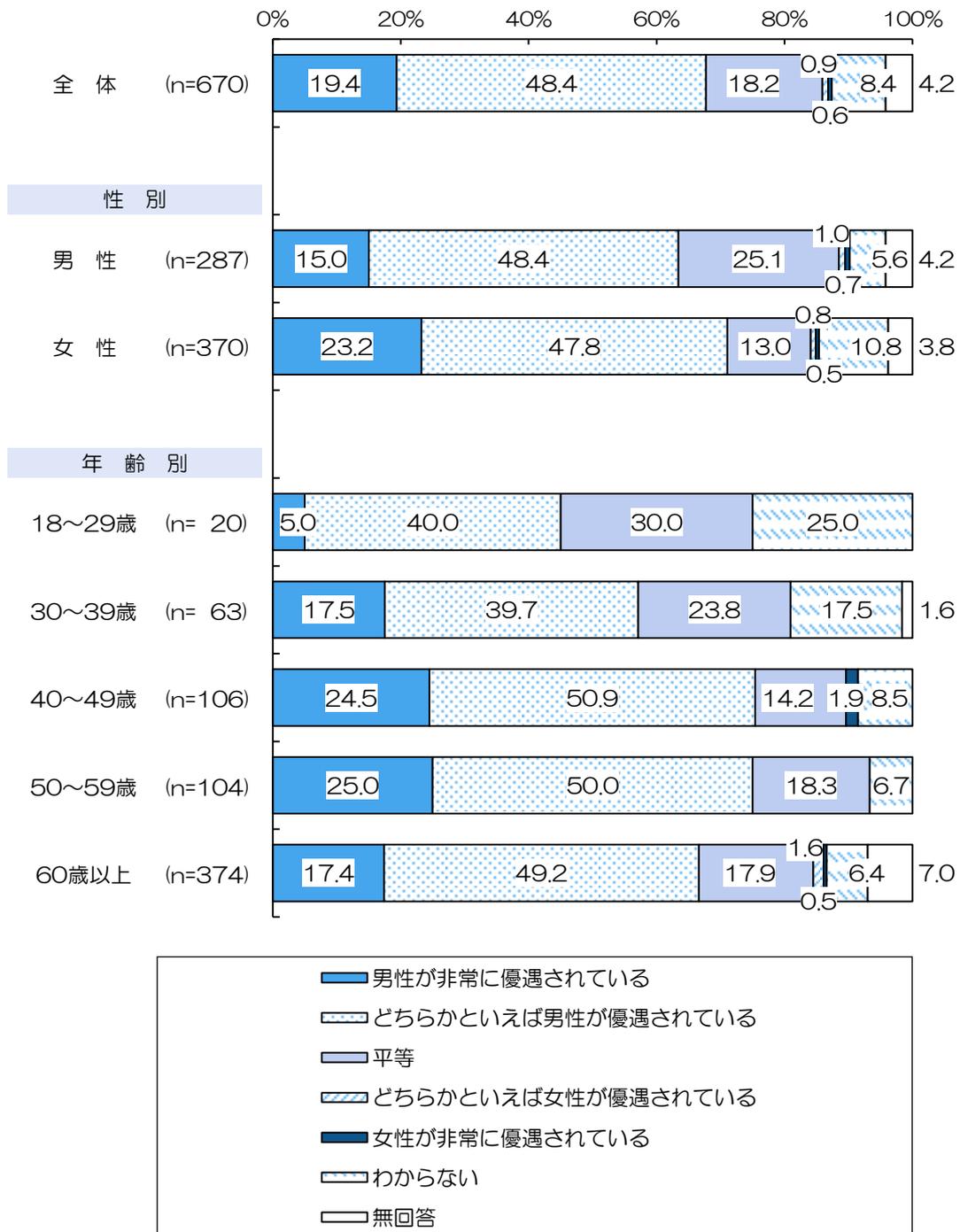
法律や制度の上の平等感は、「平等」が34.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」が34.0%、「わからない」が14.3%などとなっています。

性別にみると、“女性”では「どちらかといえば男性が優遇されている」が39.2%と最も多くなっています。

<9. 社会通念や慣習・しきたりの平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

⑧社会通念や慣習・しきたり

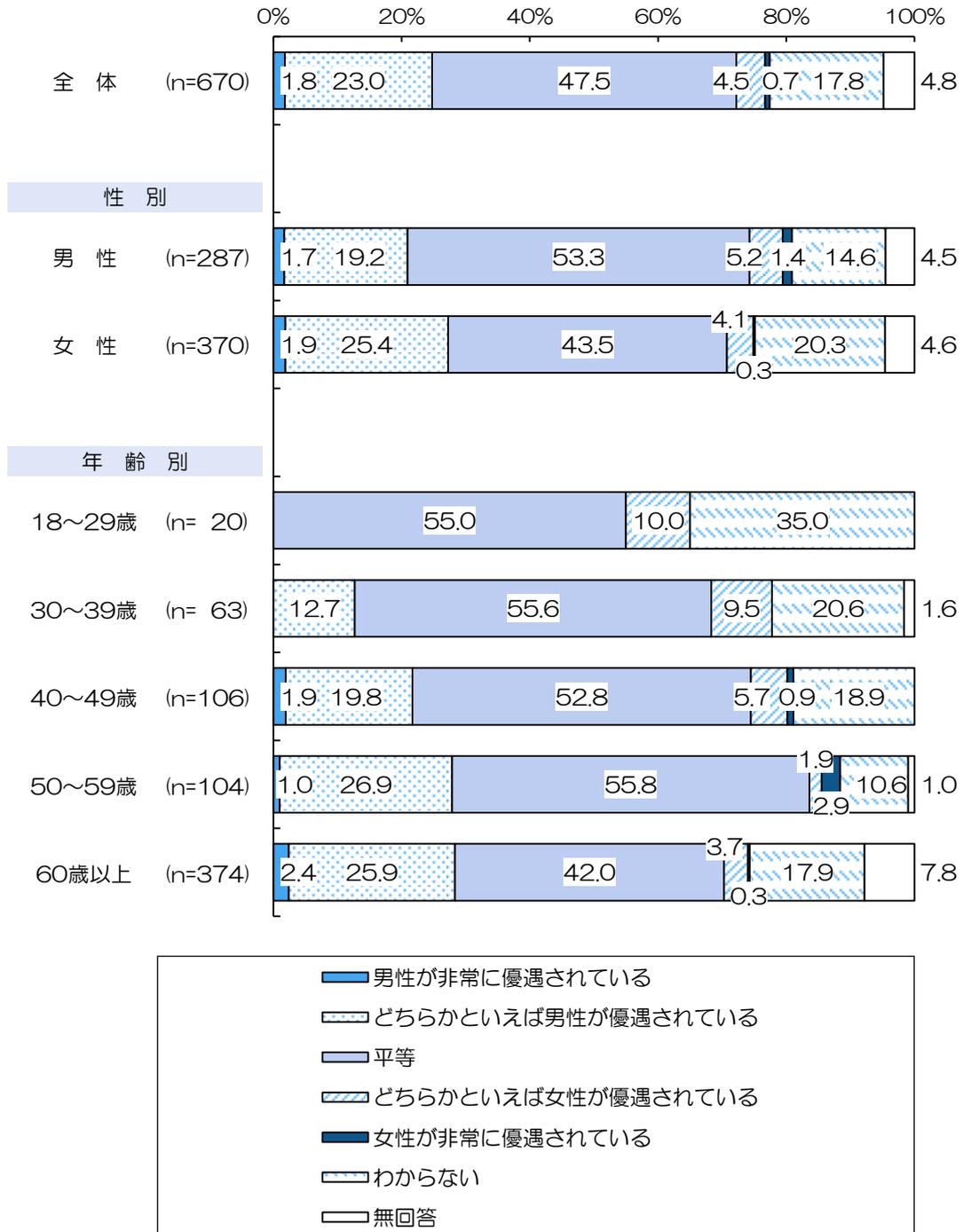


社会通念や慣習・しきたりの平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が48.4%と最も多く、次いで「男性が非常に優遇されている」が19.4%、「平等」が18.2%などとなっています。

<10. ドラマ・漫画・文化の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

⑨ドラマ・漫画・文化

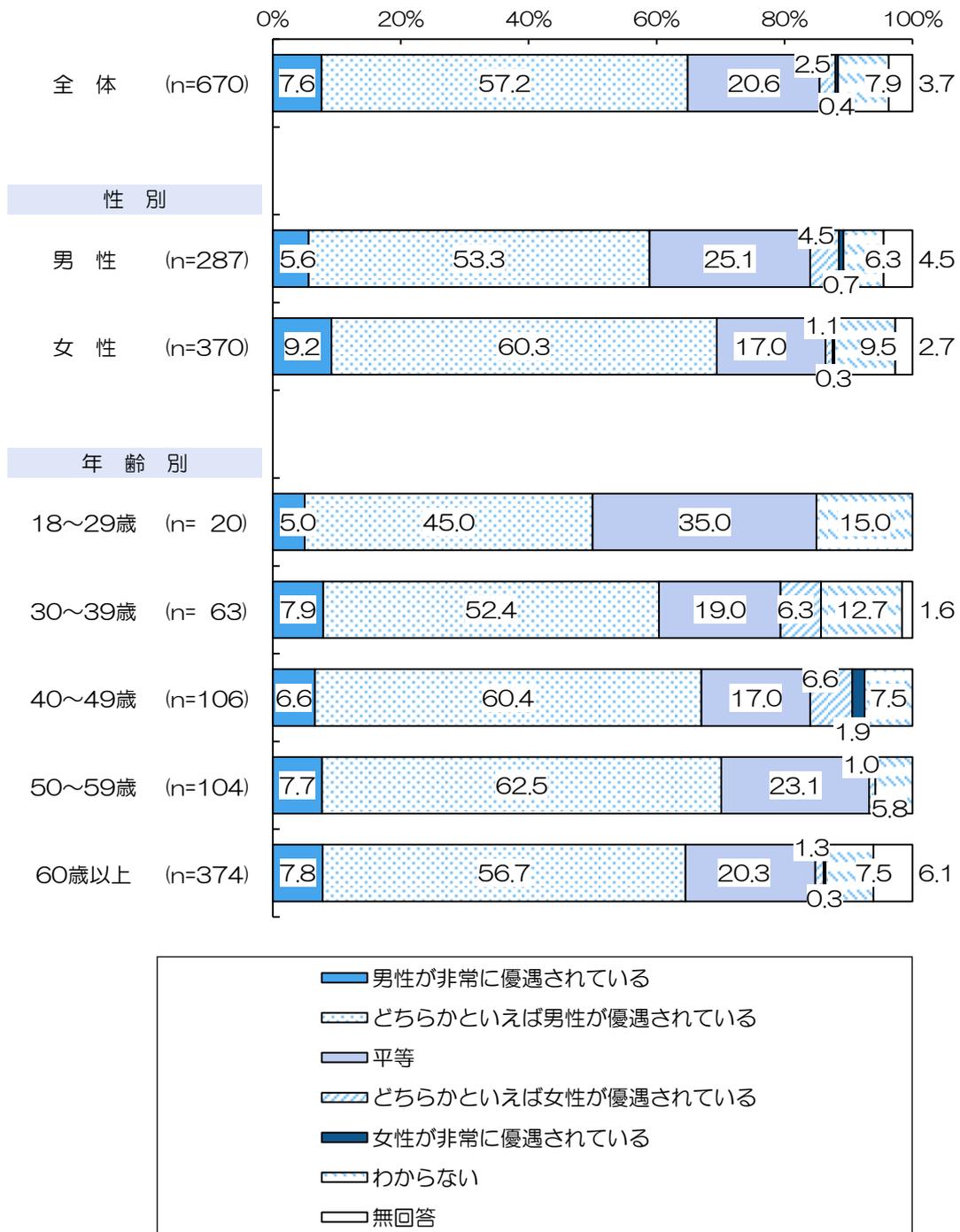


ドラマ・漫画・文化の平等感は、「平等」が47.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」が23.0%、「わからない」が17.8%などとなっています。

<11. 社会全体の平等感>

問14 あなたは、次のことについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

⑩社会全体

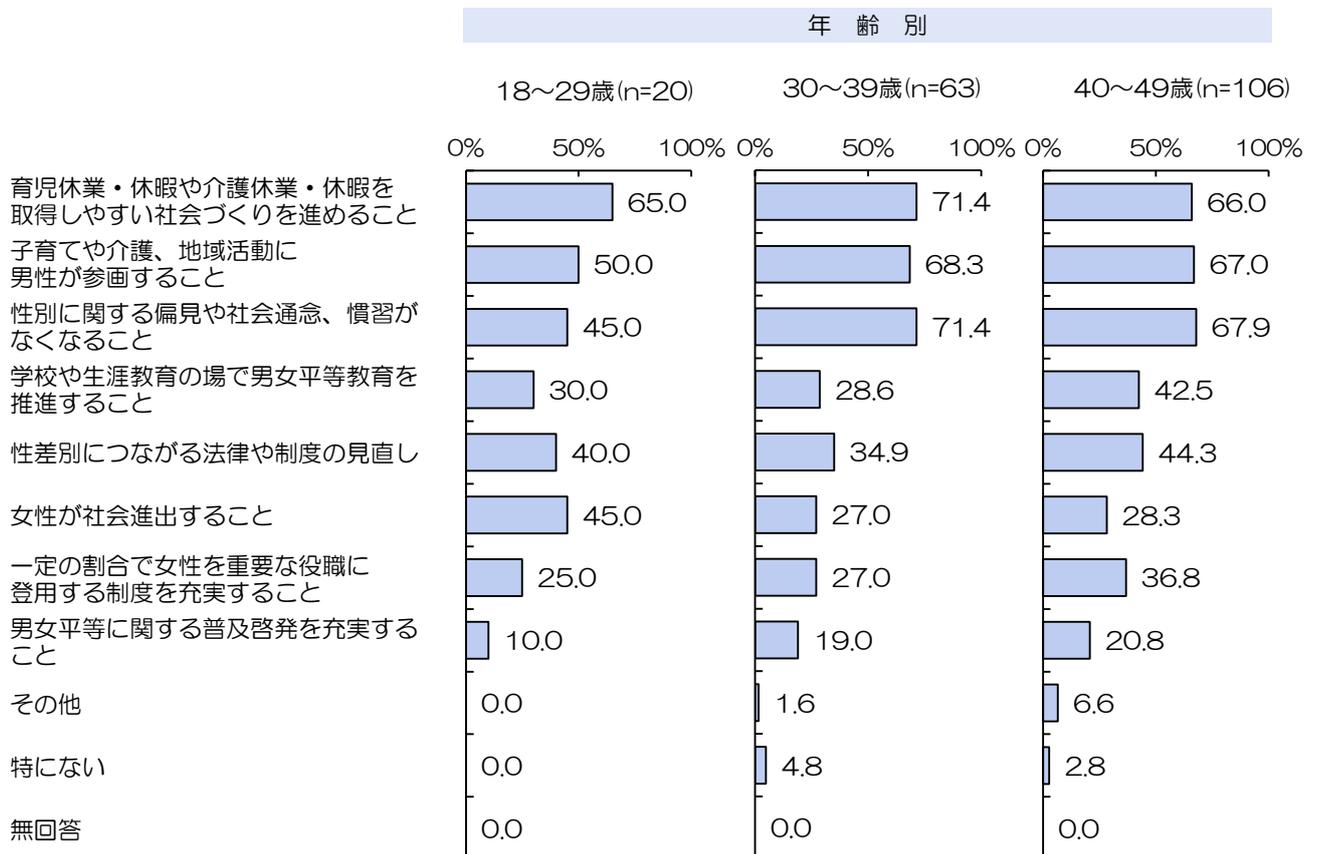
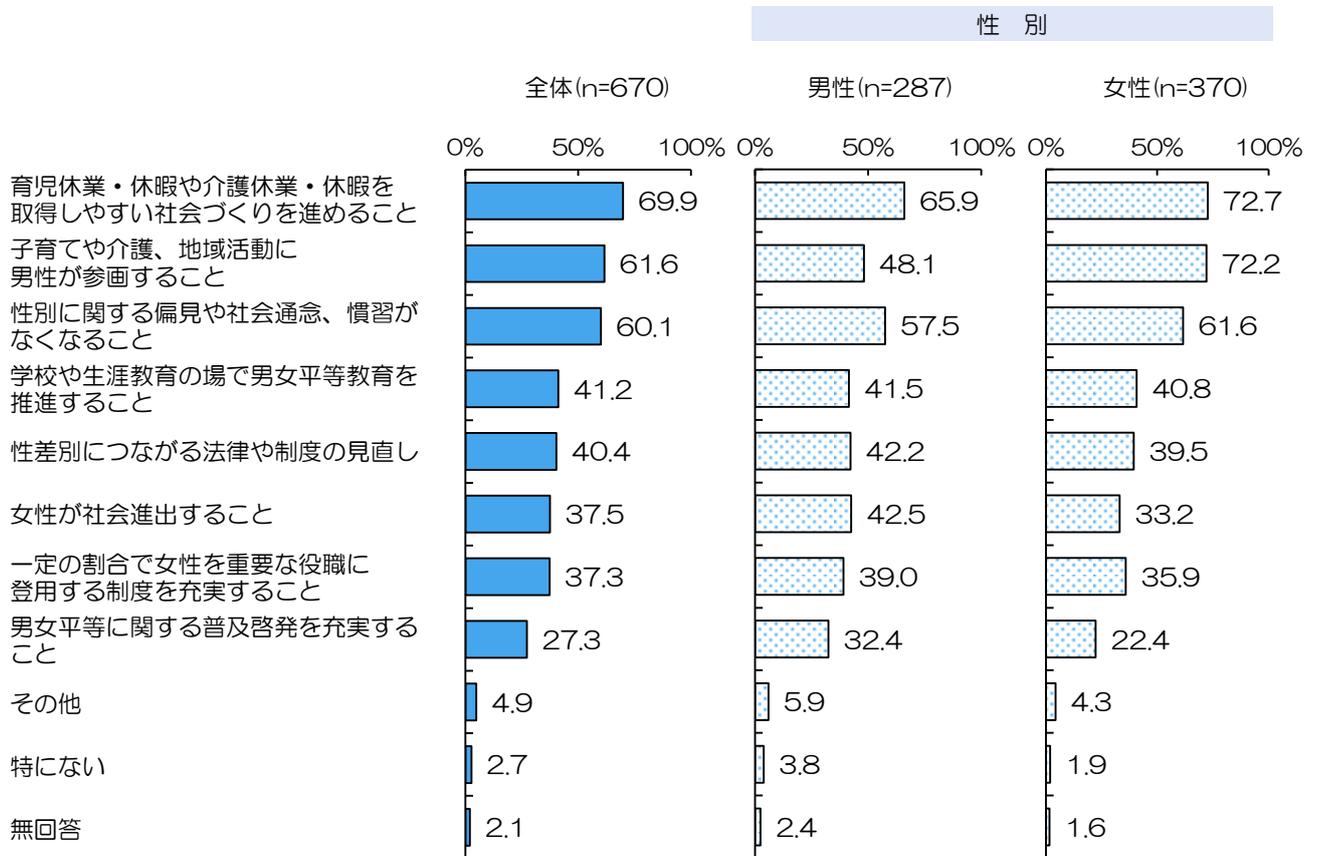


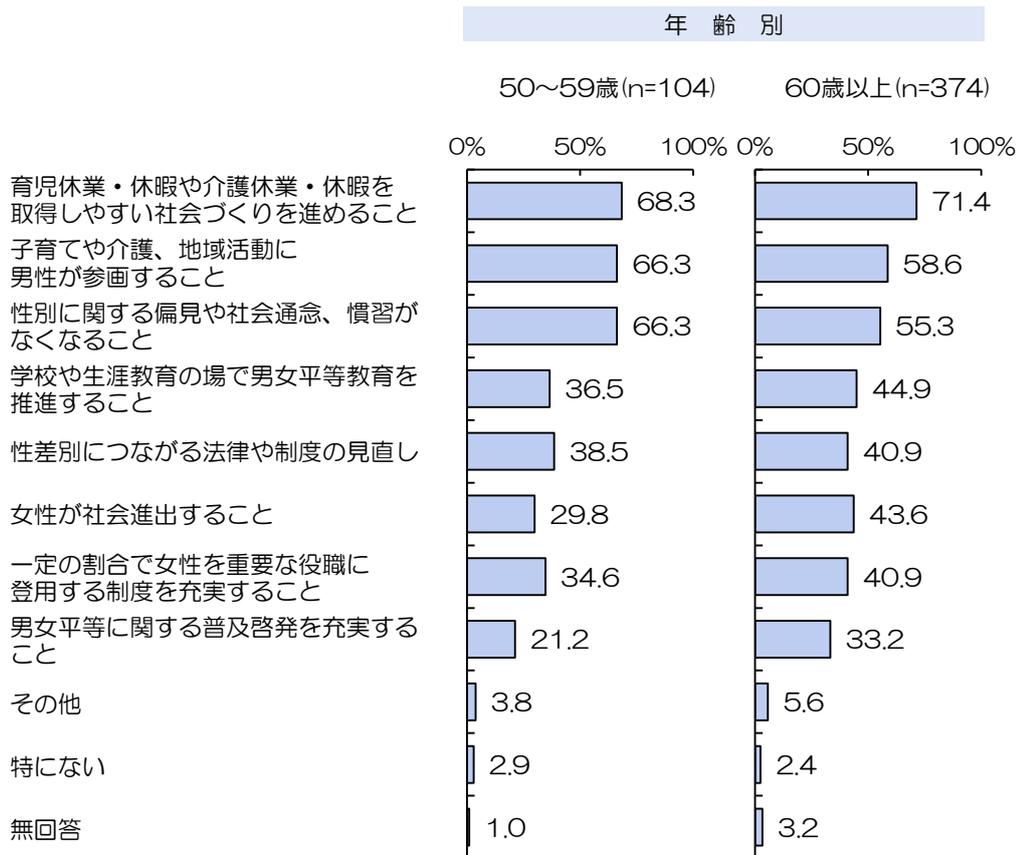
社会全体の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が57.2%と最も多く、次いで「平等」が20.6%、「わからない」が7.9%などとなっています。

<12. 男女平等社会実現のために大切なこと>

問15 男女平等社会を実現するために大切だと思うことはどのようなことですか。

(あてはまるもの全て選択可)

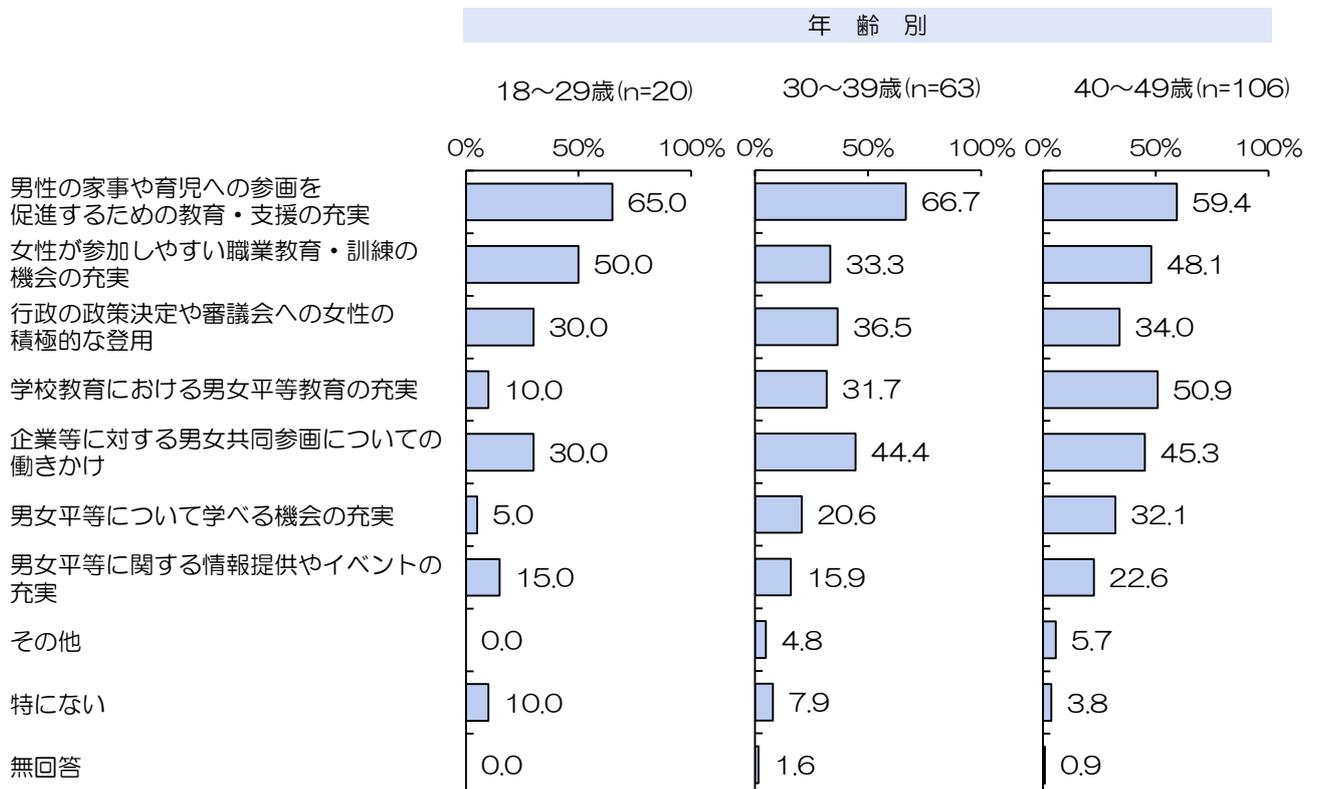
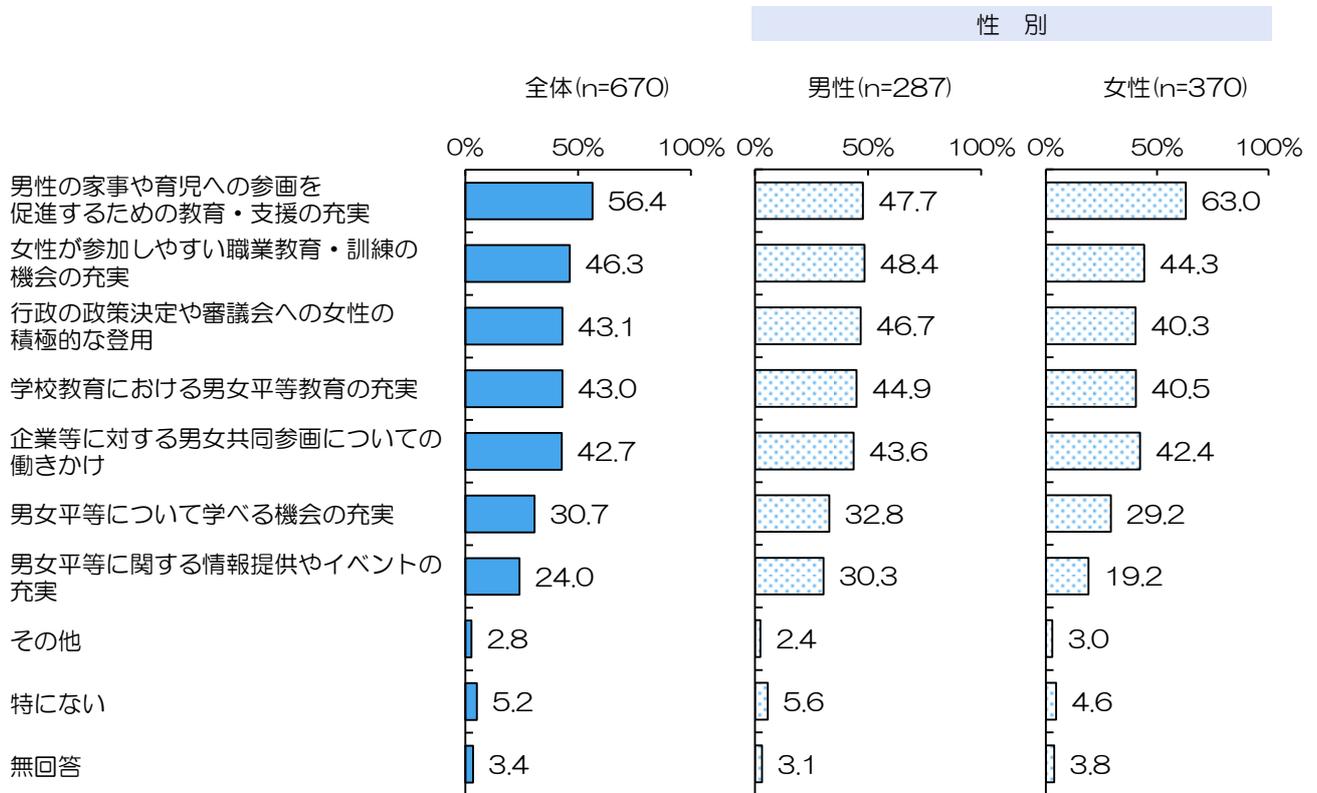


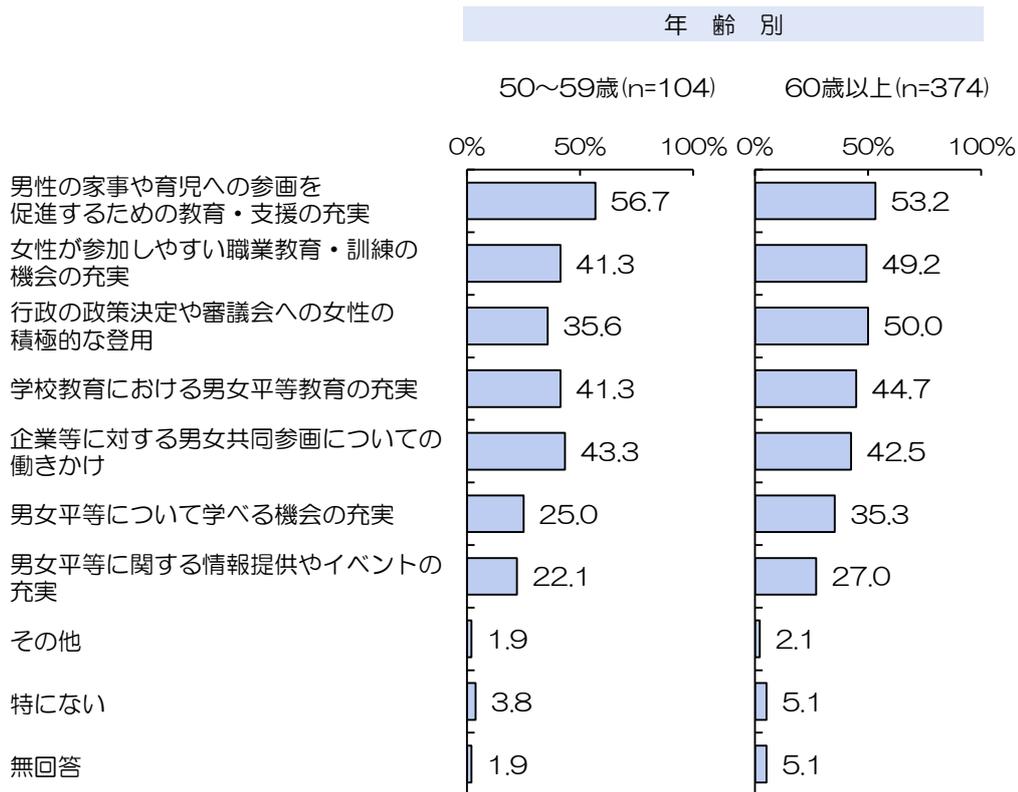


男女平等社会実現のために大切なことは、「育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得しやすい社会づくりを進めること」が69.9%と最も多く、次いで「子育てや介護、地域活動に男性が参画すること」が61.6%、「性別に関する偏見や社会通念、慣習がなくなること」が60.1%などとなっています。

<13. 男女平等社会実現のために行政が力を入れるべきこと>

問16 男女平等社会の実現を図るために、今後、行政はどのようなことに力を入れるとよいと思いますか。(あてはまるもの全て選択可)





男女平等社会実現のために行政が力を入れるべきことは、「男性の家事や育児への参画を促進するための教育・支援の充実」が56.4%と最も多く、次いで「女性が参加しやすい職業教育・訓練の機会の充実」が46.3%、「行政の政策決定や審議会への女性の積極的な登用」が43.1%などとなっています。

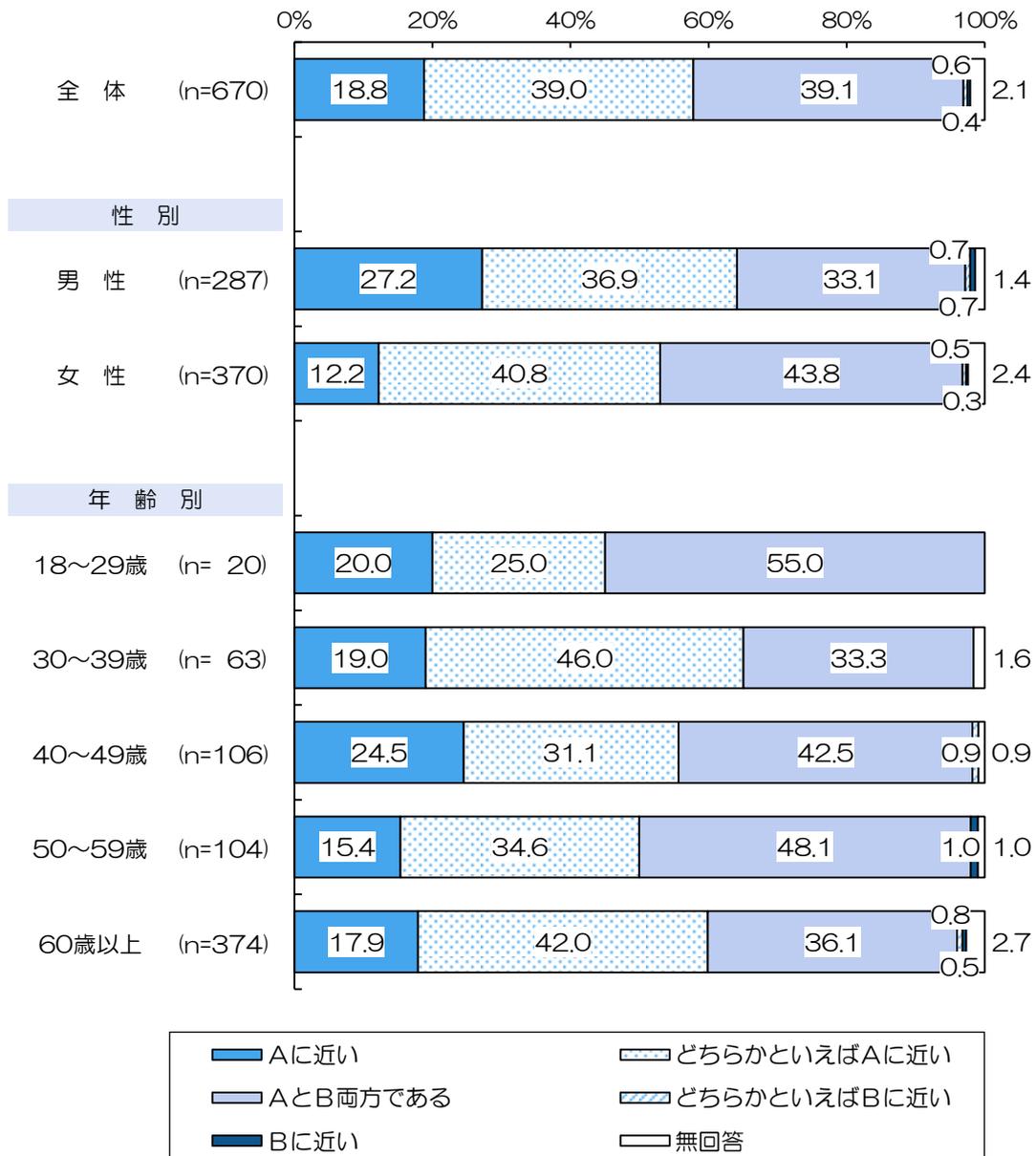
Ⅳ 家庭生活における役割分担について

＜1. 家計についての考え方＞

問17 以下のA、Bのような考え方について、あなたの意見はどちらに近いですか。

(それぞれ1つを選択)

- ①家計 A：家計を支える（生活費を稼ぐ）のは男性の役割である
 B：家計を支える（生活費を稼ぐ）のは女性の役割である



家計についての考え方は、「AとB両方である」が39.1%と最も多く、次いで「どちらかといえばAに近い」が39.0%、「Aに近い」が18.8%などとなっています。

性別にみると、「男性」では「どちらかといえばAに近い」が36.9%と最も多くなっています。

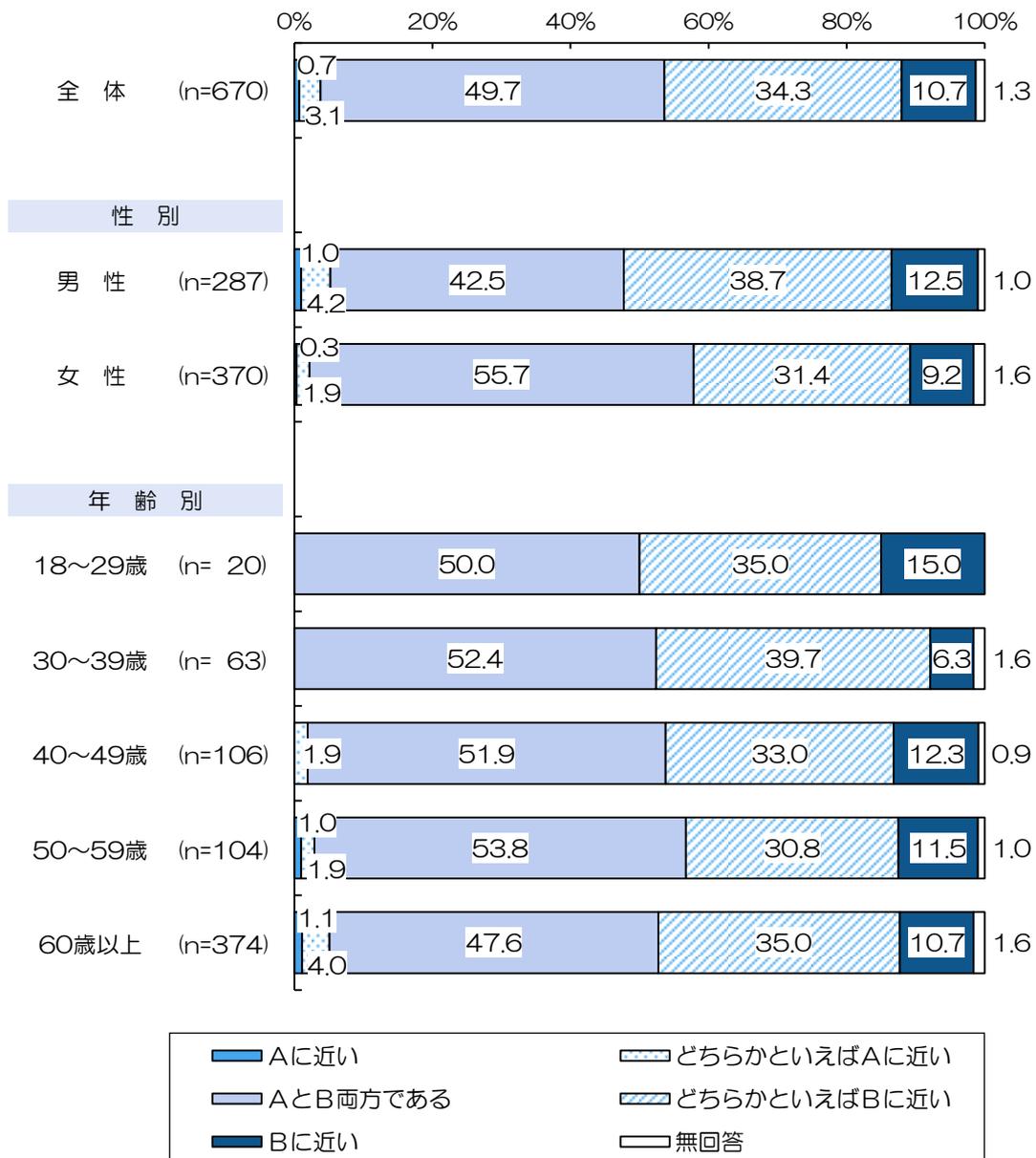
〈2. 家事についての考え方〉

問17 以下のA、Bのような考え方について、あなたの意見はどちらに近いですか。

(それぞれ1つを選択)

②家事 A：家事をするのは男性の役割である

B：家事をするのは女性の役割である



家事についての考え方は、「AとB両方である」が49.7%と最も多く、次いで「どちらかといえばBに近い」が34.3%、「Bに近い」が10.7%などとなっています。

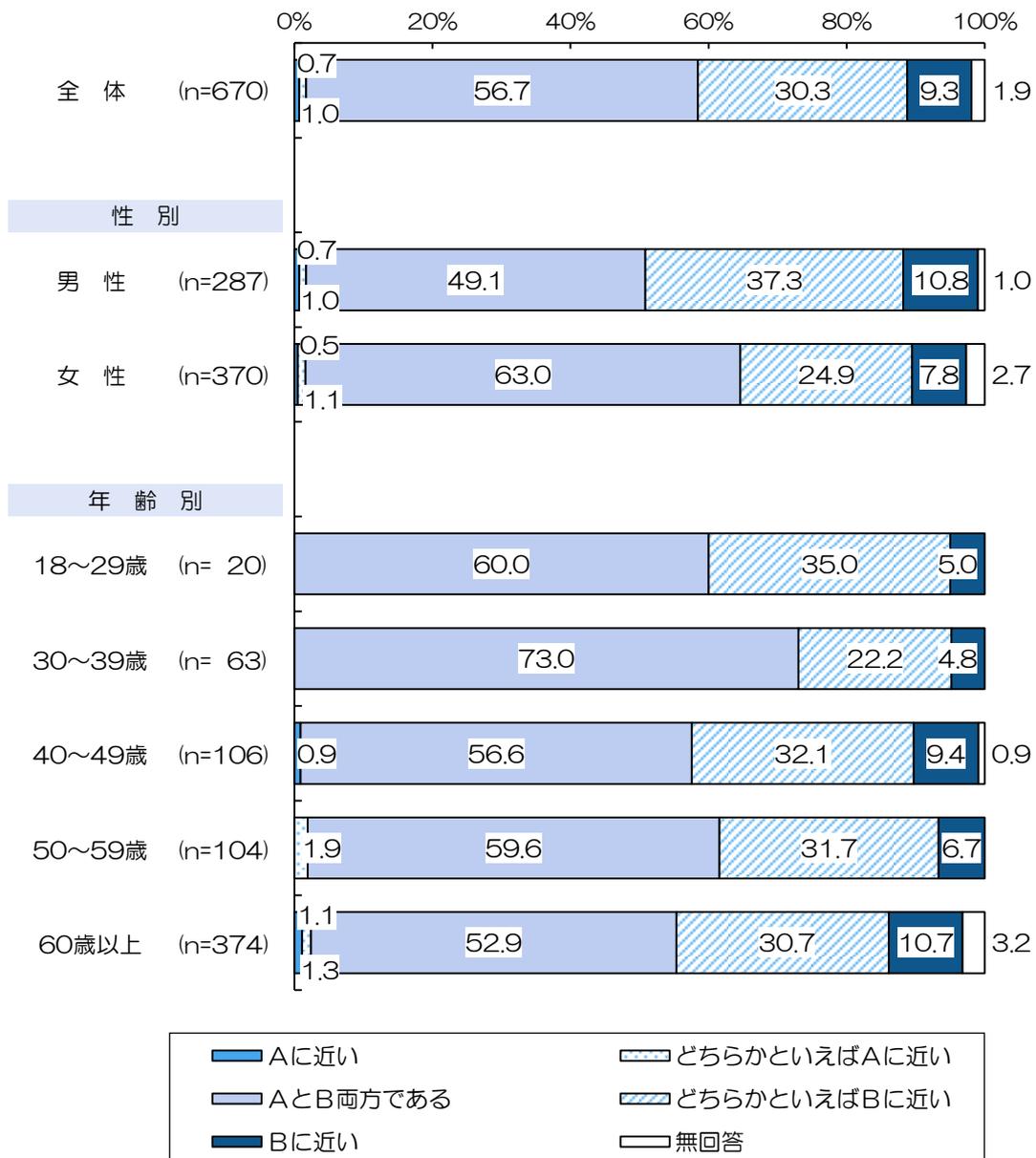
〈3. 育児についての考え方〉

問17 以下のA、Bのような考え方について、あなたの意見はどちらに近いですか。

(それぞれ1つを選択)

③育児 A：育児をするのは男性の役割である

B：育児をするのは女性の役割である



育児についての考え方は、「AとB両方である」が56.7%と最も多く、次いで「どちらかといえばBに近い」が30.3%、「Bに近い」が9.3%などとなっています。

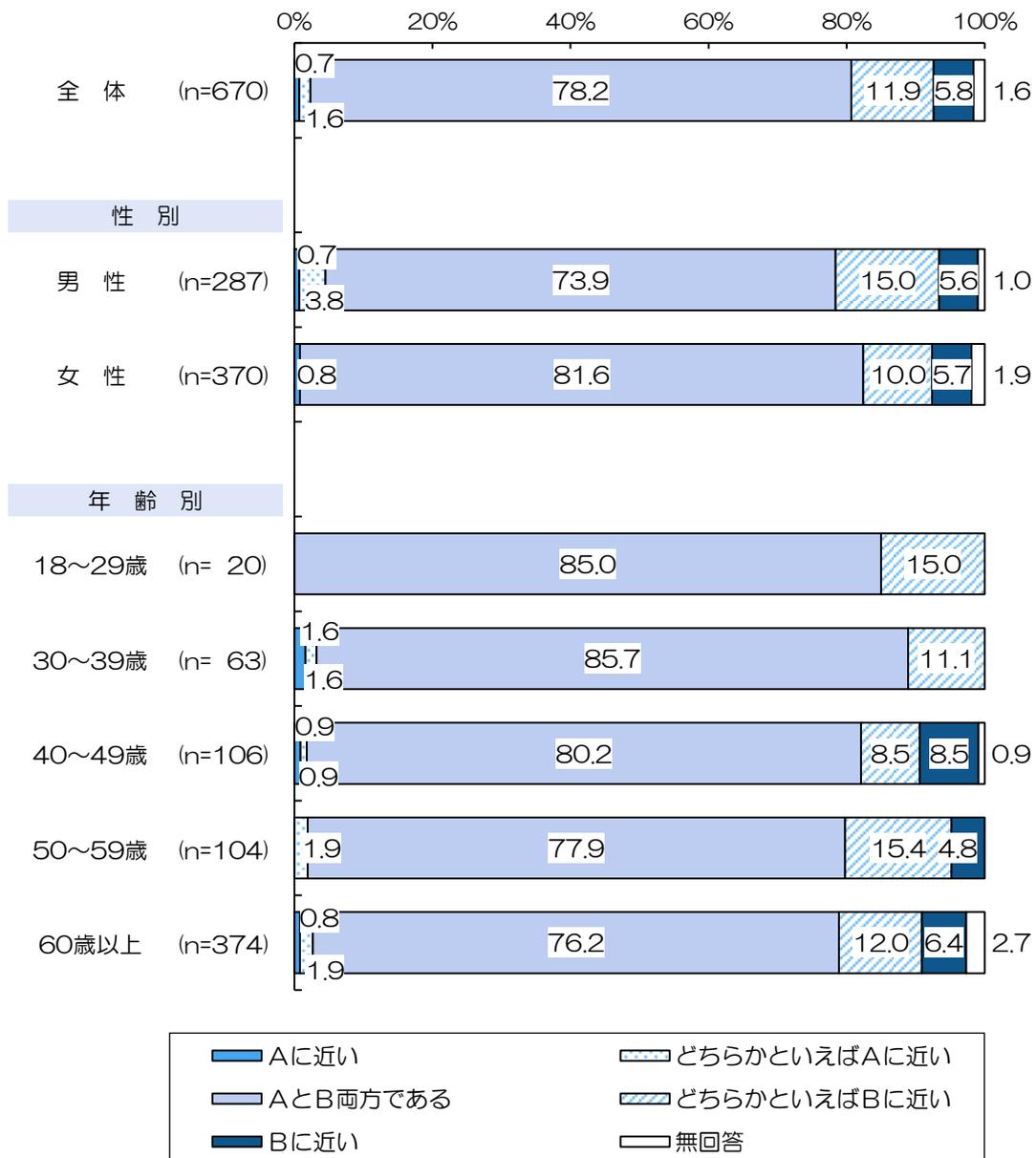
<4. 介護についての考え方>

問17 以下のA、Bのような考え方について、あなたの意見はどちらに近いですか。

(それぞれ1つを選択)

④介護 A：介護をするのは男性の役割である

B：介護をするのは女性の役割である

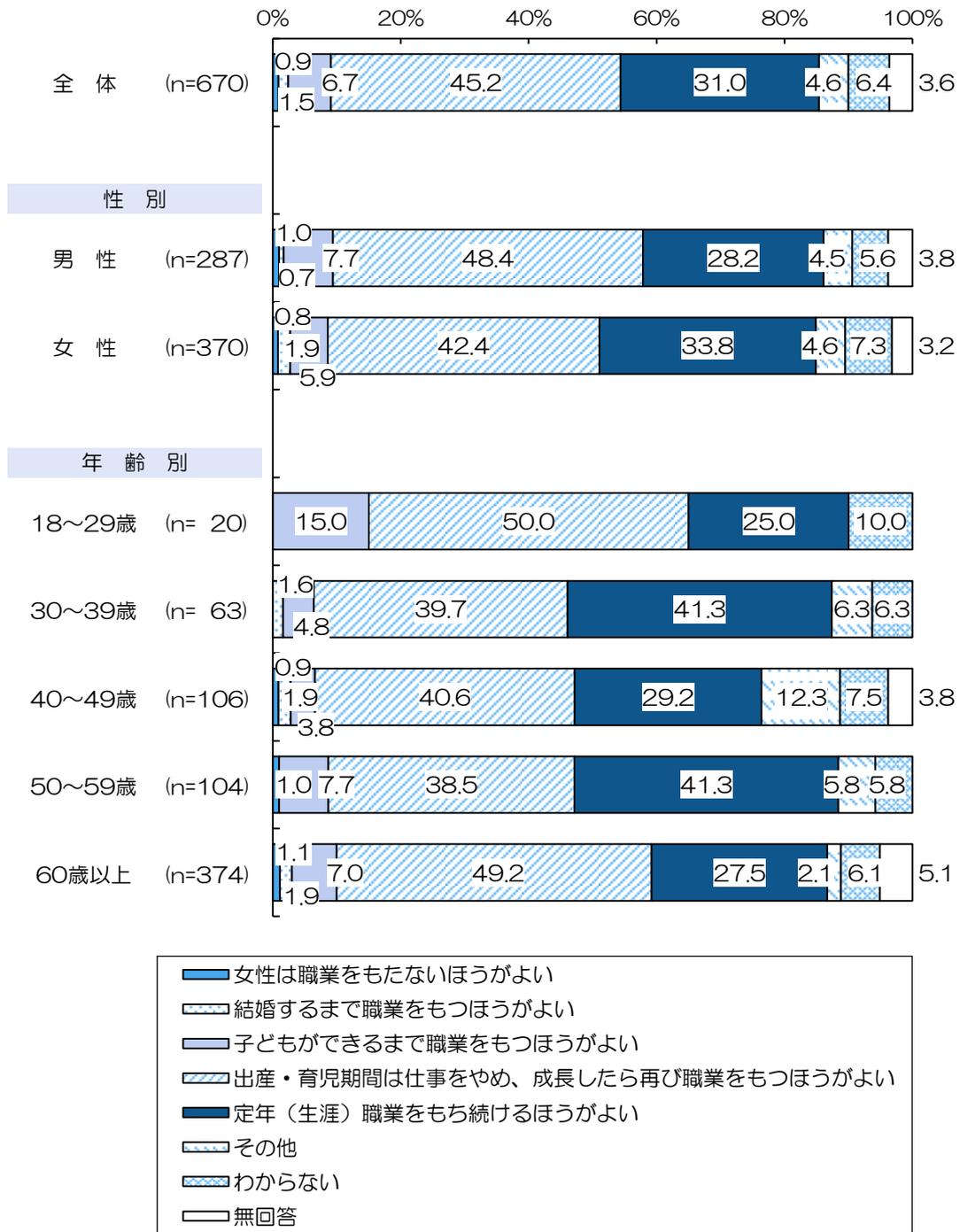


介護についての考え方は、「AとB両方である」が78.2%と最も多く、次いで「どちらかといえばBに近い」が11.9%、「Bに近い」が5.8%などとなっています。

V 職業や労働について

＜1. 「女性と職業」についての考え方＞

問18 あなたは、「女性と職業」についてどのようにお考えですか。（1つを選択）

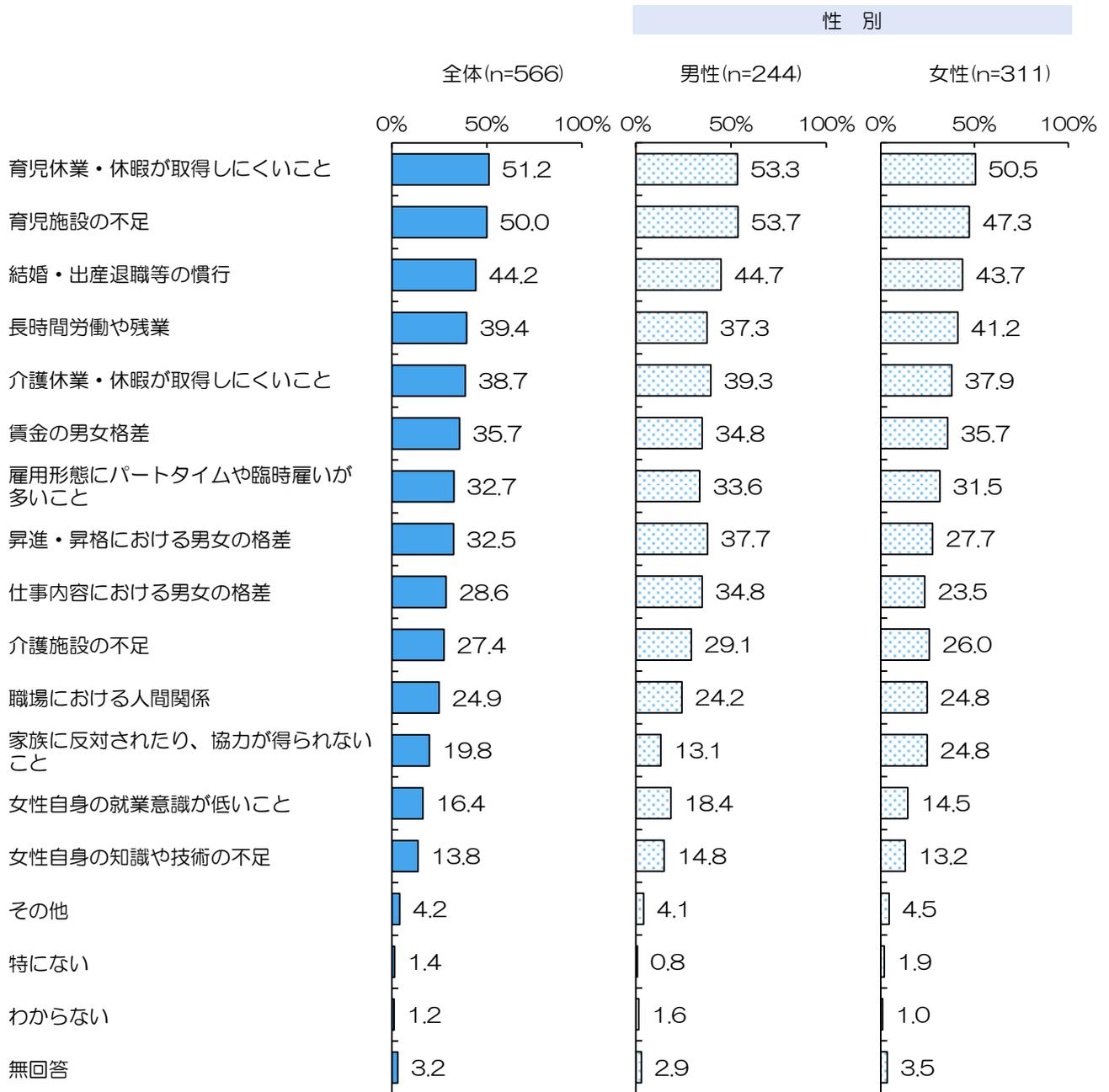


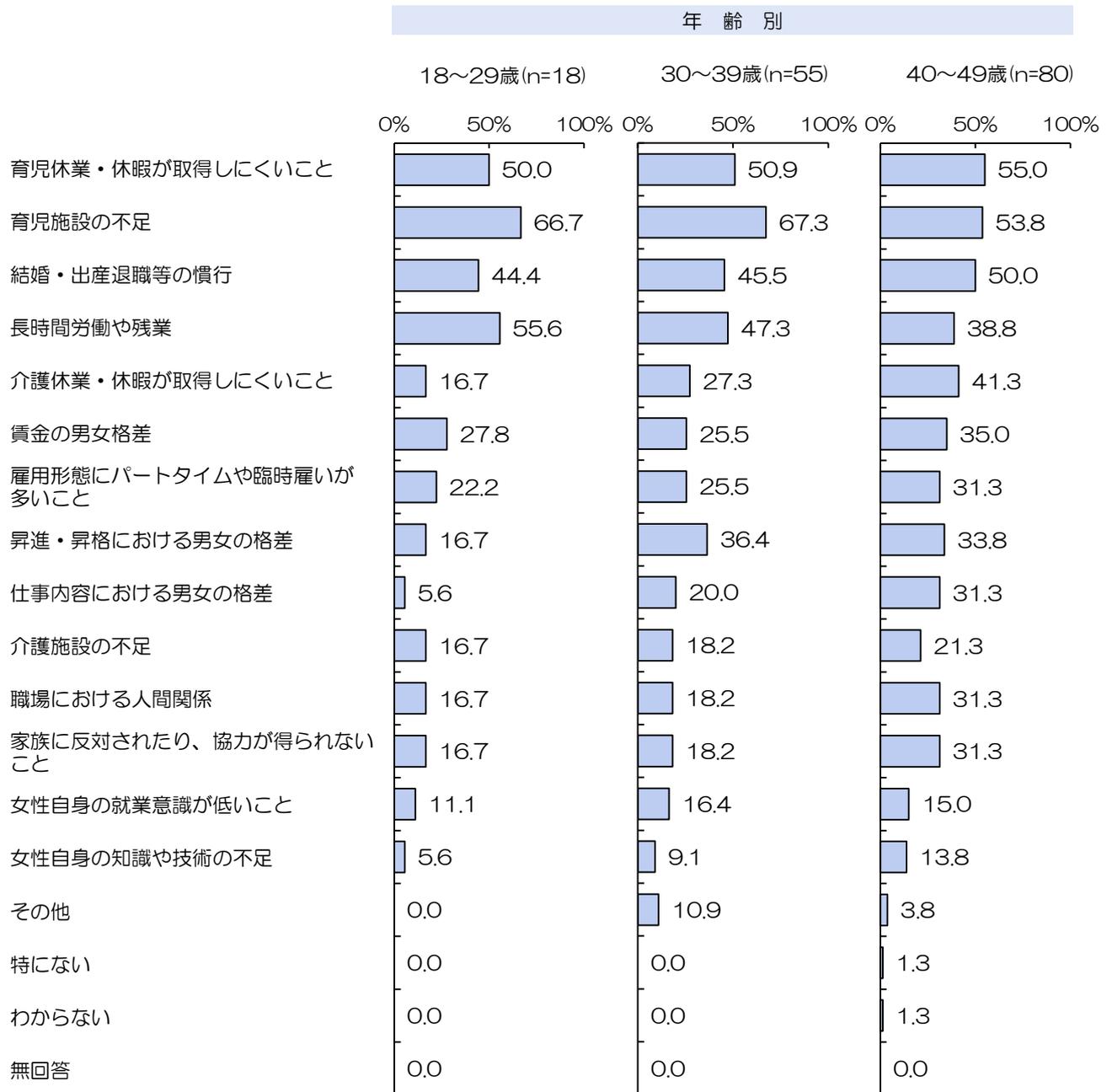
「女性と職業」についての考え方は、「出産・育児期間は仕事をやめ、成長したら再び職業をもつほうがよい」が45.2%と最も多く、次いで「定年（生涯）職業をもち続けるほうがよい」が31.0%、「子どもができるまで職業をもつほうがよい」が6.7%などとなっています。

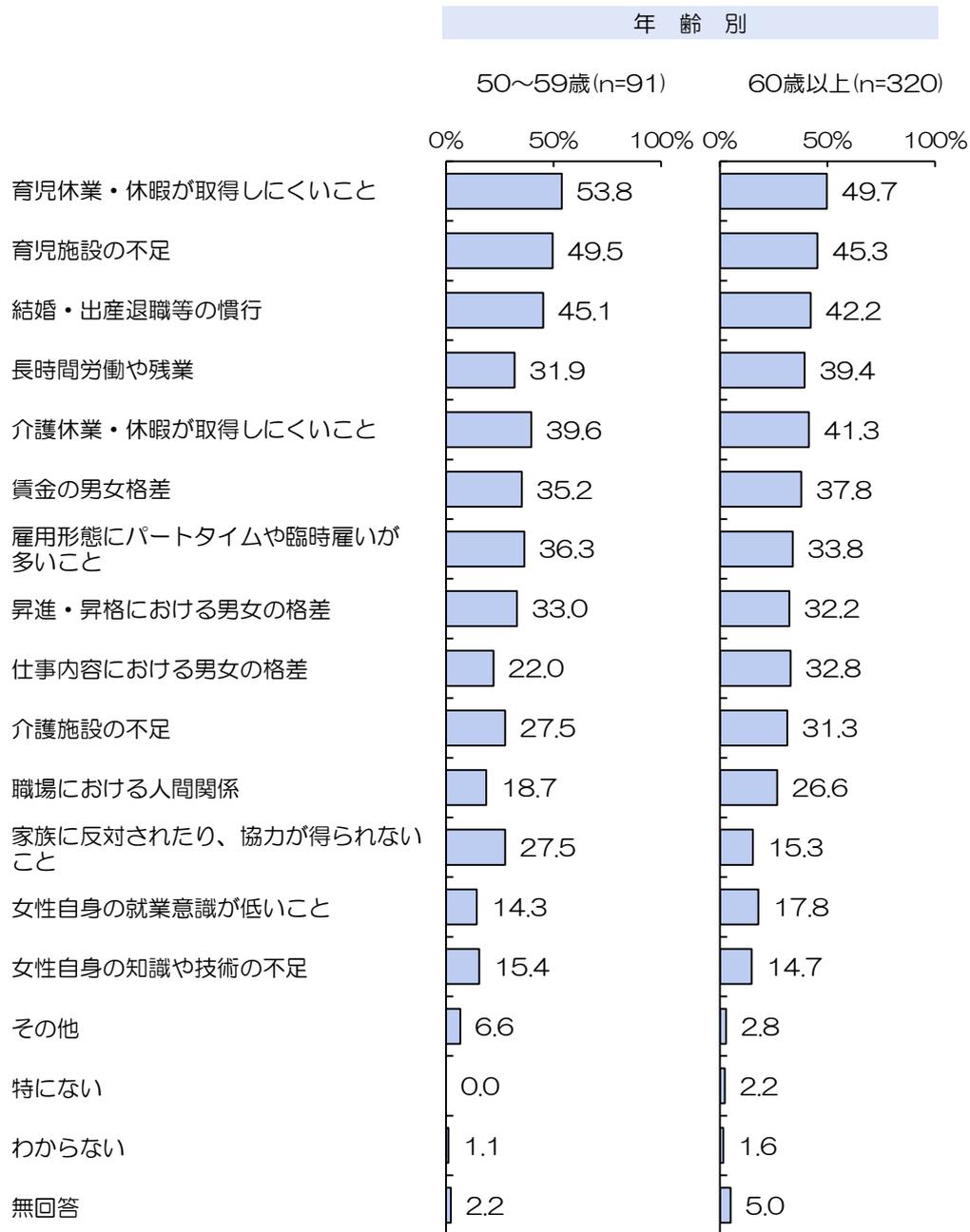
〈2. 女性が働く上での障害〉

〈問18で「2. ～5.」とお答えの方〉

問19 女性が働く上での障害は何だと思えますか。(あてはまるもの全て選択可)





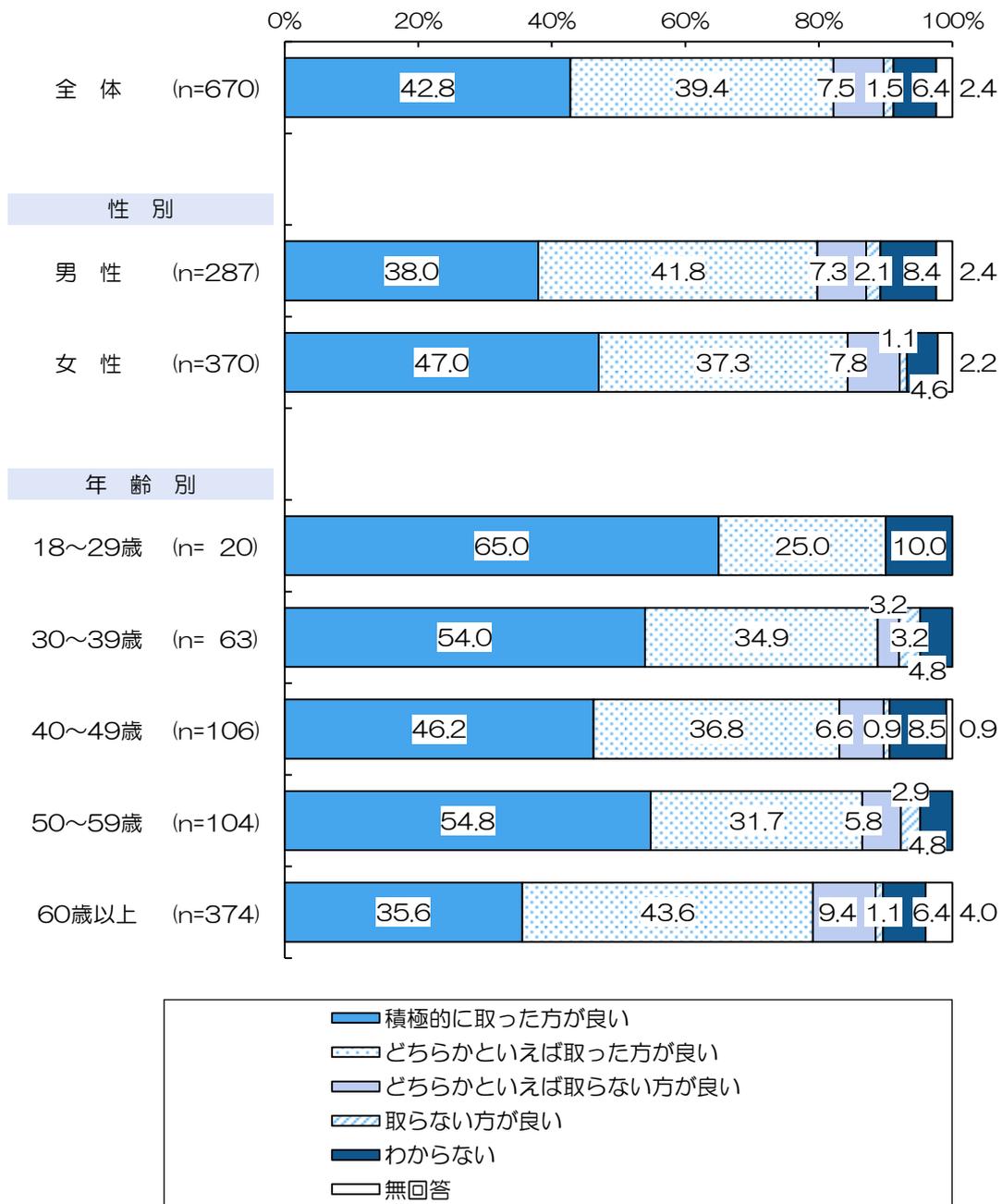


女性が働く上での障害は、「育児休業・休暇が取得しにくいこと」が51.2%と最も多く、次いで「育児施設の不足」が50.0%、「結婚・出産退職等の慣行」が44.2%などとなっています。

＜3. 育児休業・休暇についての考え方＞

問20 育児や介護を行うために、育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得できる制度があります。この制度を活用して男性が育児休業・休暇や介護休業・休暇を取ることに、あなたはどのようにお考えになりますか。（それぞれ1つを選択）

①育児休業・休暇



育児休業・休暇についての考え方は、「積極的に取った方が良い」が42.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば取った方が良い」が39.4%、「どちらかといえば取らない方が良い」が7.5%などとなっています。

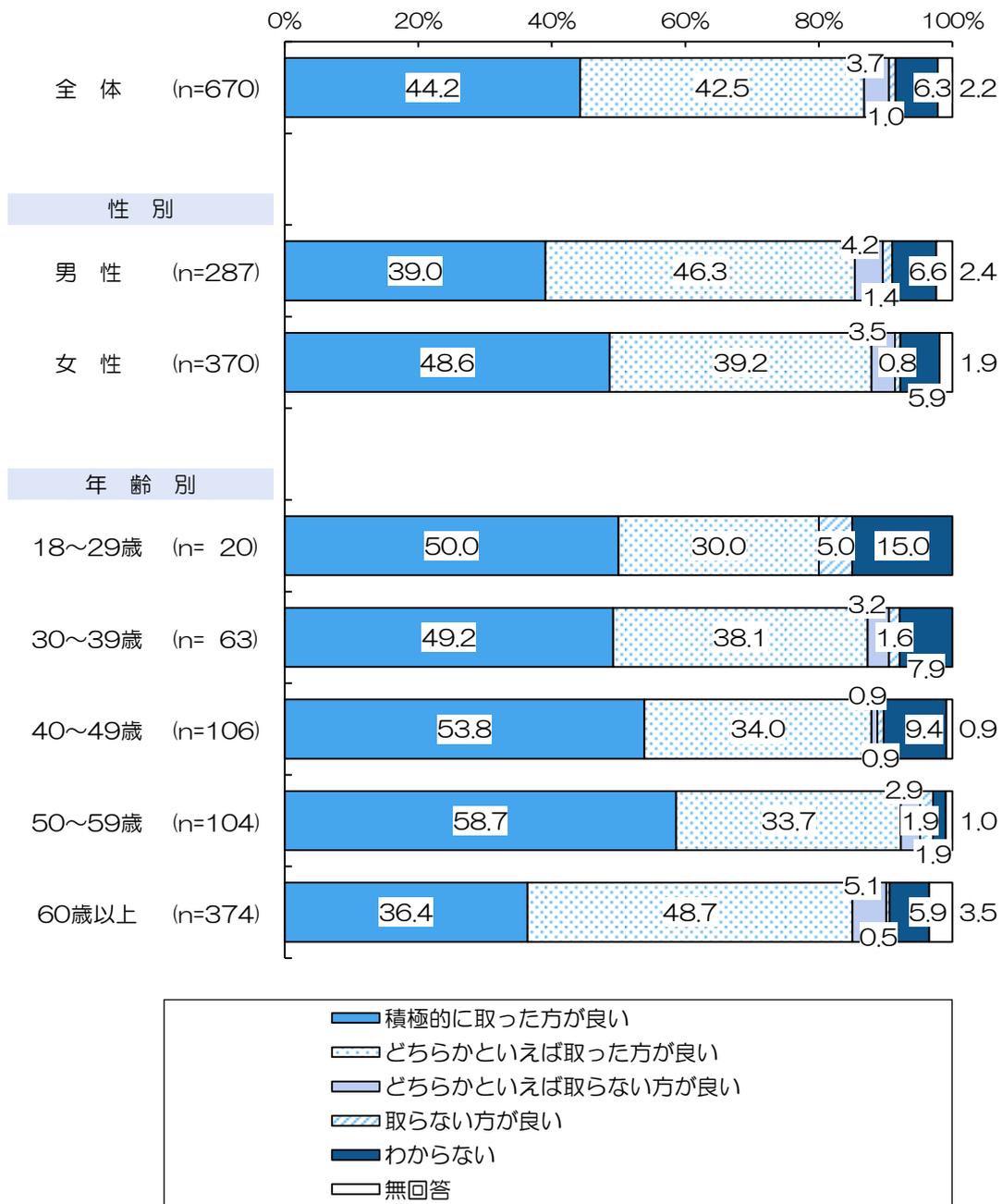
性別にみると、“男性”では「どちらかといえば取った方が良い」が41.8%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“60歳以上”では「どちらかといえば取った方が良い」が43.6%と最も多くなっています。

<4. 介護休業・休暇についての考え方>

問20 育児や介護を行うために、育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得できる制度があります。この制度を活用して男性が育児休業・休暇や介護休業・休暇を取ることに、あなたはどのようにお考えになりますか。（それぞれ1つを選択）

②介護休業・休暇

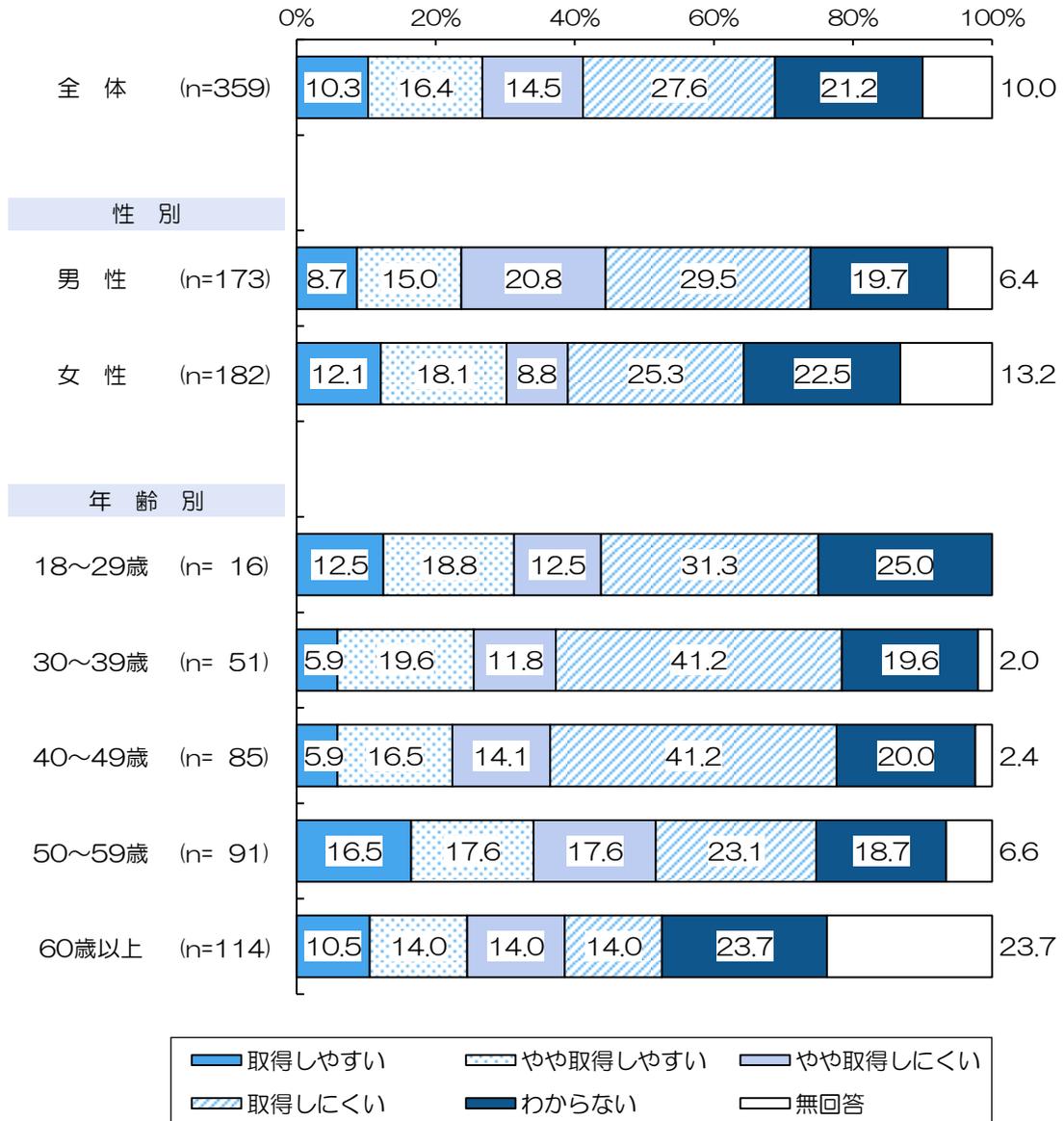


介護休業・休暇についての考え方は、「積極的に取った方が良い」が44.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば取った方が良い」が42.5%、「わからない」が6.3%などとなっています。
性別にみると、「男性」では「どちらかといえば取った方が良い」が46.3%と最も多くなっています。
年齢別にみると、「60歳以上」では「どちらかといえば取った方が良い」が48.7%と最も多くなっています。

<5. 育児休業・休暇を男性が取得する環境>

問21 現在お勤めの方だけに伺います。あなたの職場では、男性の育児休業・休暇や介護休業・休暇が取得しやすい環境（又は雰囲気）にありますか。（それぞれ1つを選択）

①育児休業・休暇

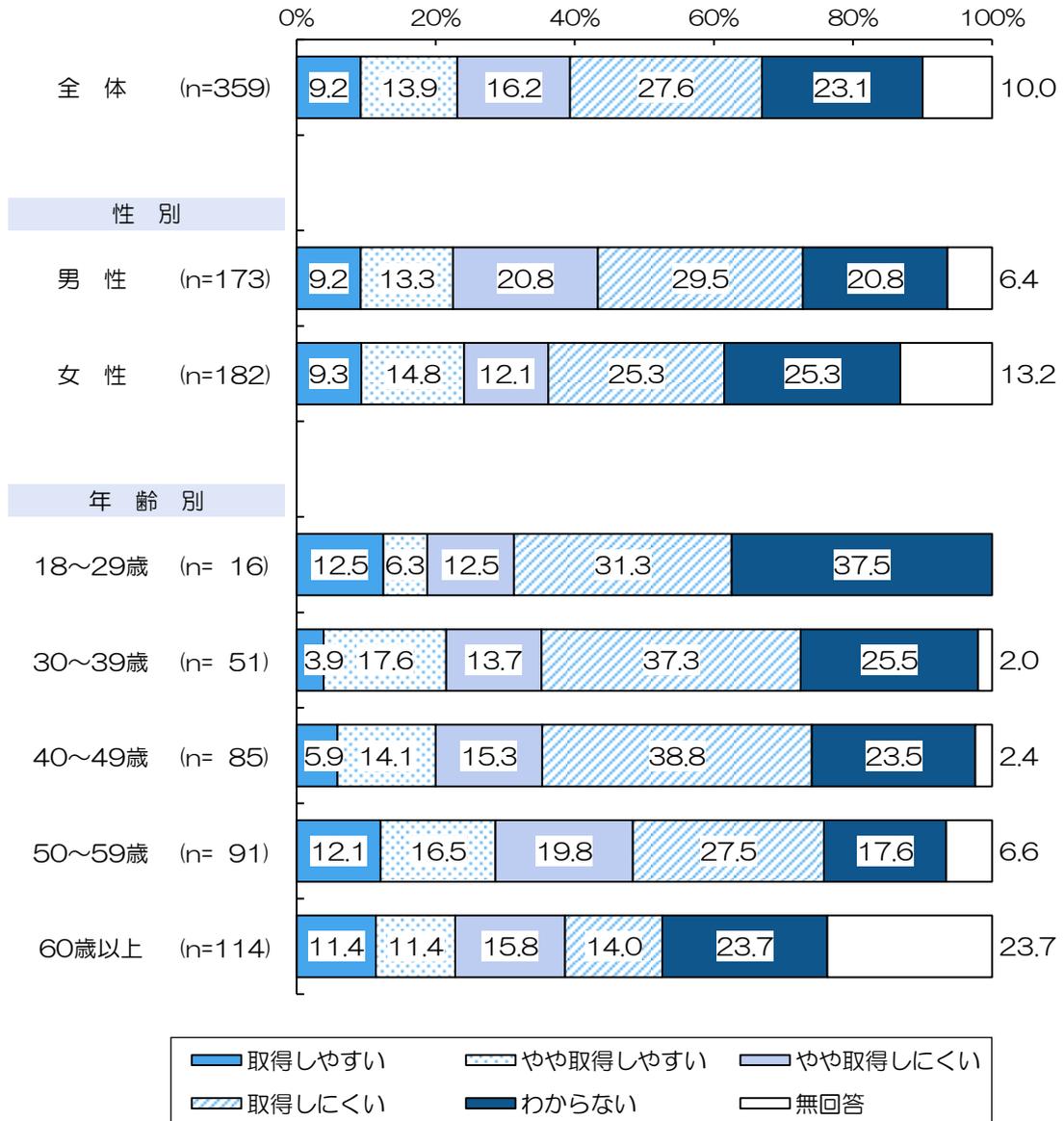


育児休業・休暇を男性が取得する環境は、「取得しにくい」が27.6%と最も多く、次いで「わからない」が21.2%、「やや取得しやすい」が16.4%などとなっています。

<6. 介護休業・休暇を男性が取得する環境>

問21 現在お勤めの方だけに伺います。あなたの職場では、男性の育児休業・休暇や介護休業・休暇が取得しやすい環境（又は雰囲気）にありますか。（それぞれ1つを選択）

②介護休業・休暇



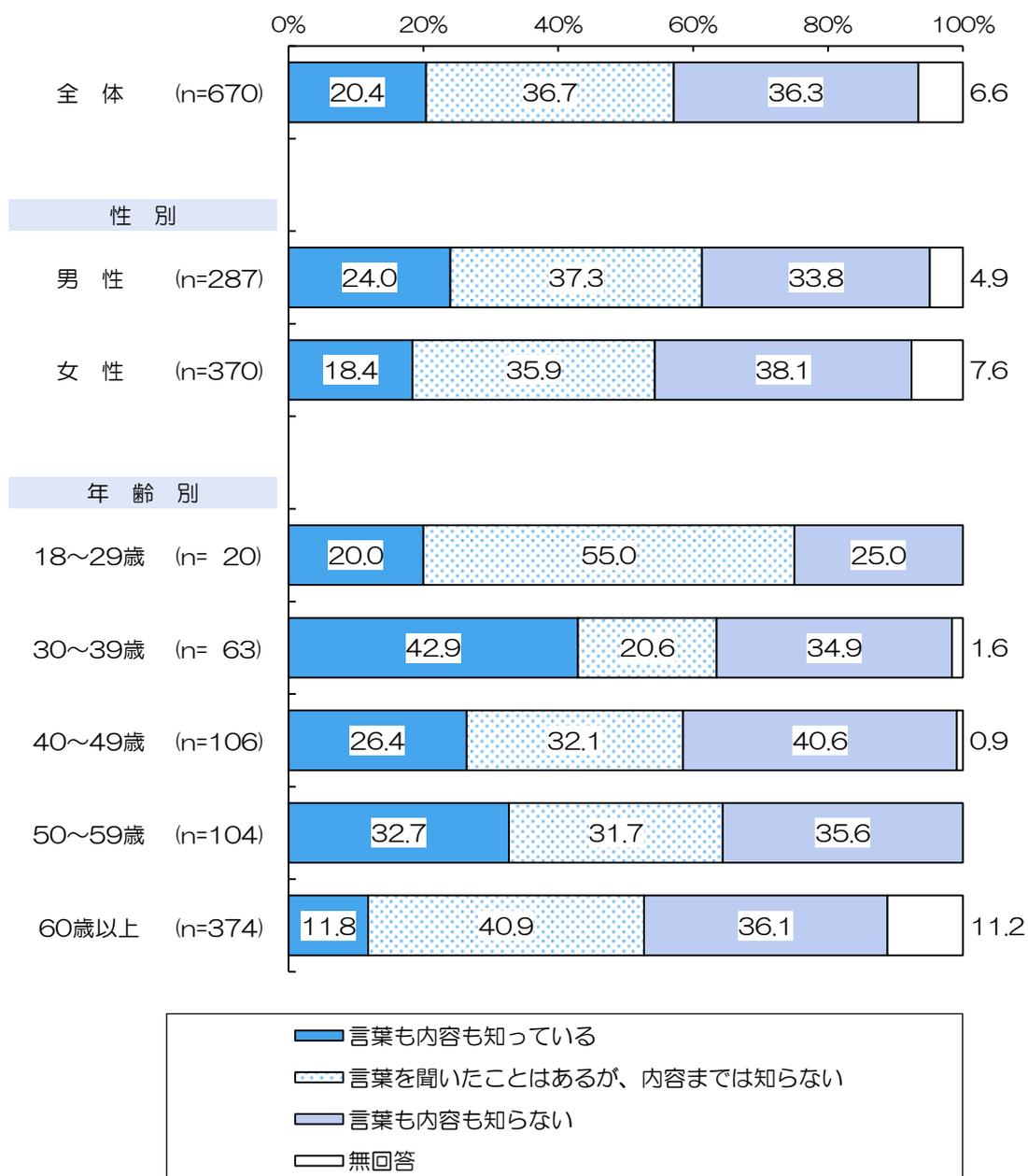
介護休業・休暇を男性が取得する環境は、「取得しにくい」が27.6%と最も多く、次いで「わからない」が23.1%、「やや取得しにくい」が16.2%などとなっています。

Ⅵ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

＜1. 『ワーク・ライフ・バランス』の認知＞

問22 あなたはワーク・ライフ・バランスという言葉をご存じですか。

（1つを選択）



『ワーク・ライフ・バランス』の認知は、「言葉も内容も知っている」が20.4%、「言葉を聞いたことはあるが、内容までは知らない」が36.7%、「言葉も内容も知らない」が36.3%となっています。

性別にみると、「女性」では「言葉も内容も知らない」が38.1%と最も多くなっています。

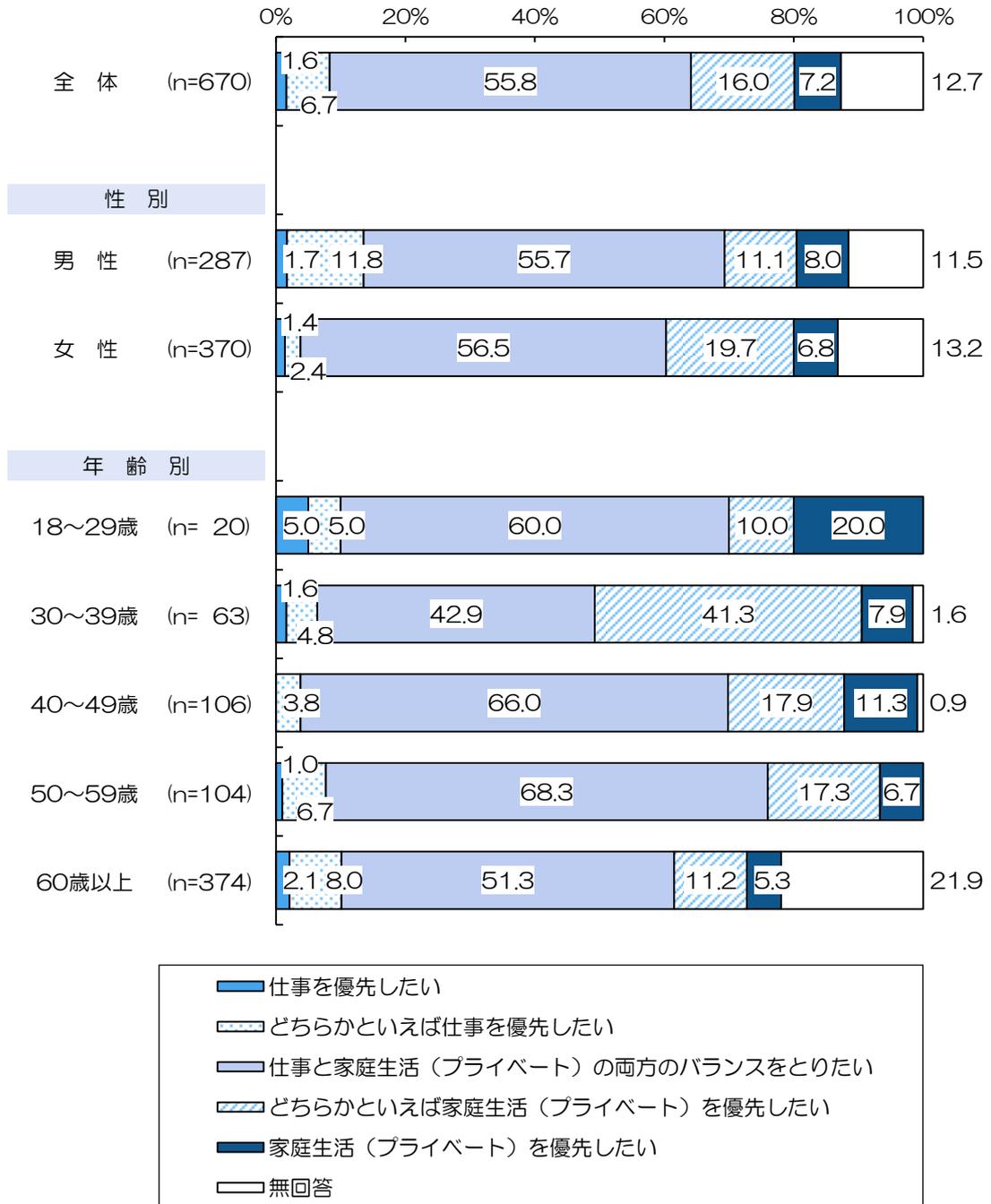
年齢別にみると、「30~39歳」では「言葉も内容も知っている」が42.9%と最も多くなっています。

〈2. 理想の仕事と家庭生活（プライベート）〉

問23 あなたの仕事と家庭生活（プライベート）について、理想と現実をお答えください。

（それぞれ1つを選択）

①理想



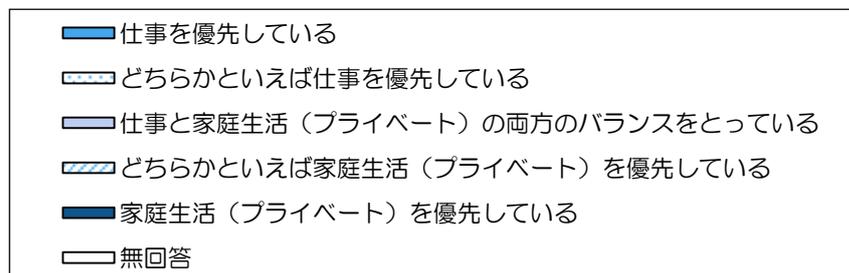
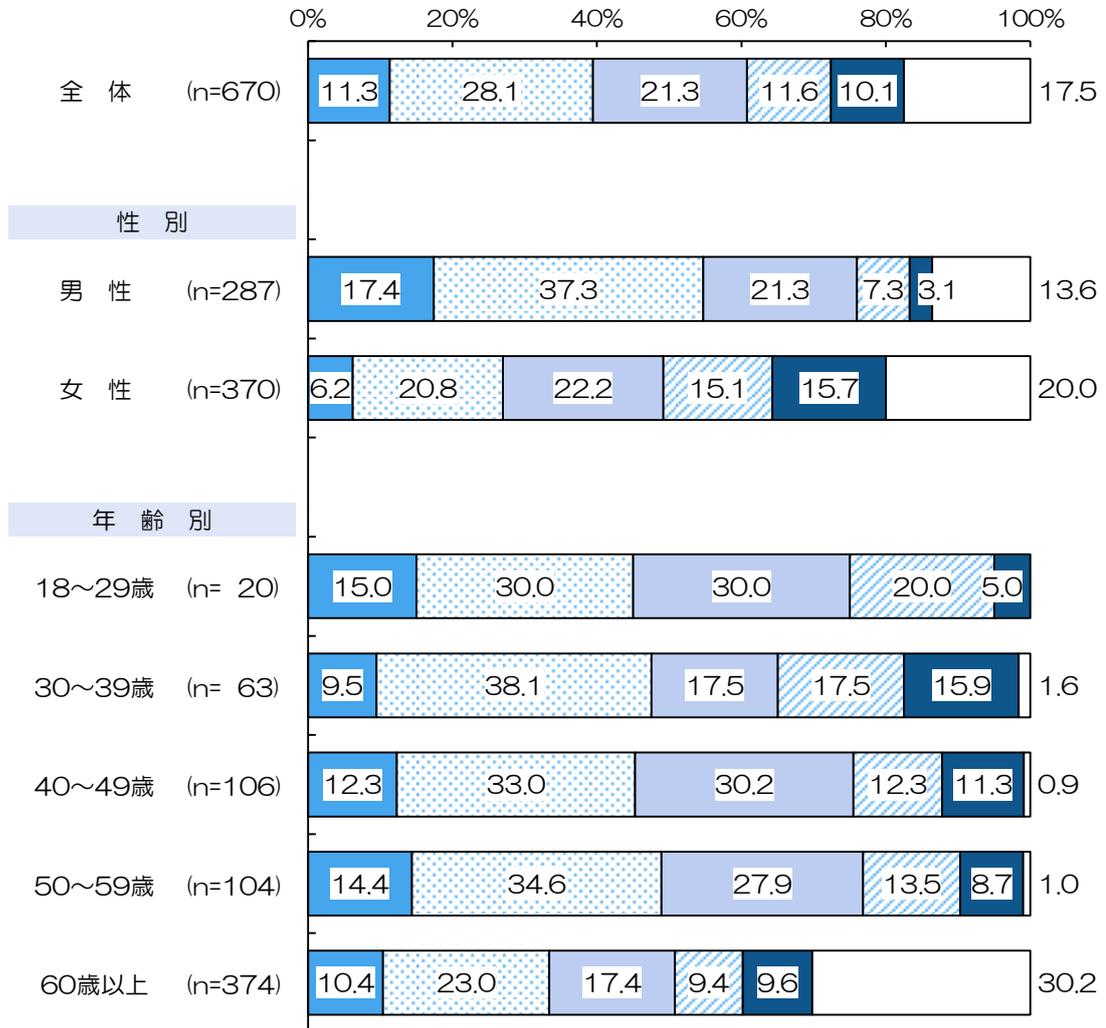
理想の仕事と家庭生活（プライベート）は、「仕事と家庭生活（プライベート）の両方のバランスをとりたい」が55.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば家庭生活（プライベート）を優先したい」が16.0%、「家庭生活（プライベート）を優先したい」が7.2%などとなっています。

＜3. 現実の仕事と家庭生活（プライベート）＞

問23 あなたの仕事と家庭生活（プライベート）について、理想と現実をお答えください。

（それぞれ1つを選択）

②現実



現実の仕事と家庭生活（プライベート）は、「どちらかといえば仕事を優先している」が28.1%と最も多く、次いで「仕事と家庭生活（プライベート）の両方のバランスをとっている」が21.3%、「どちらかといえば家庭生活（プライベート）を優先している」が11.6%などとなっています。

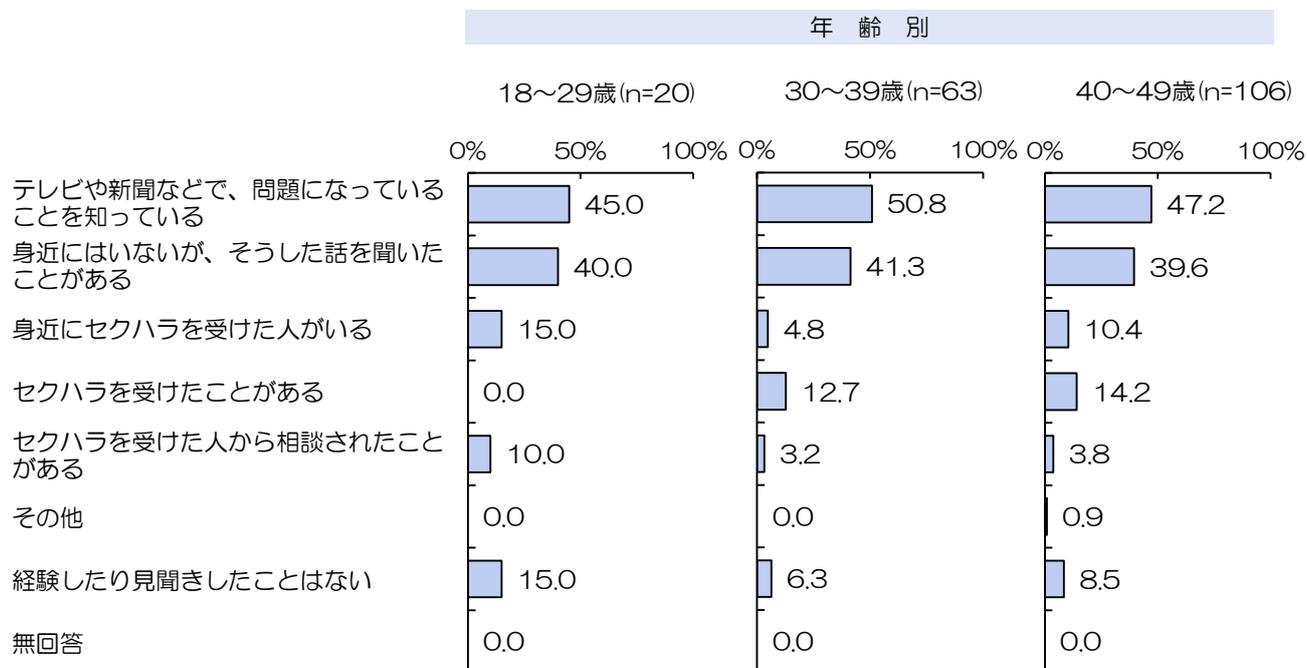
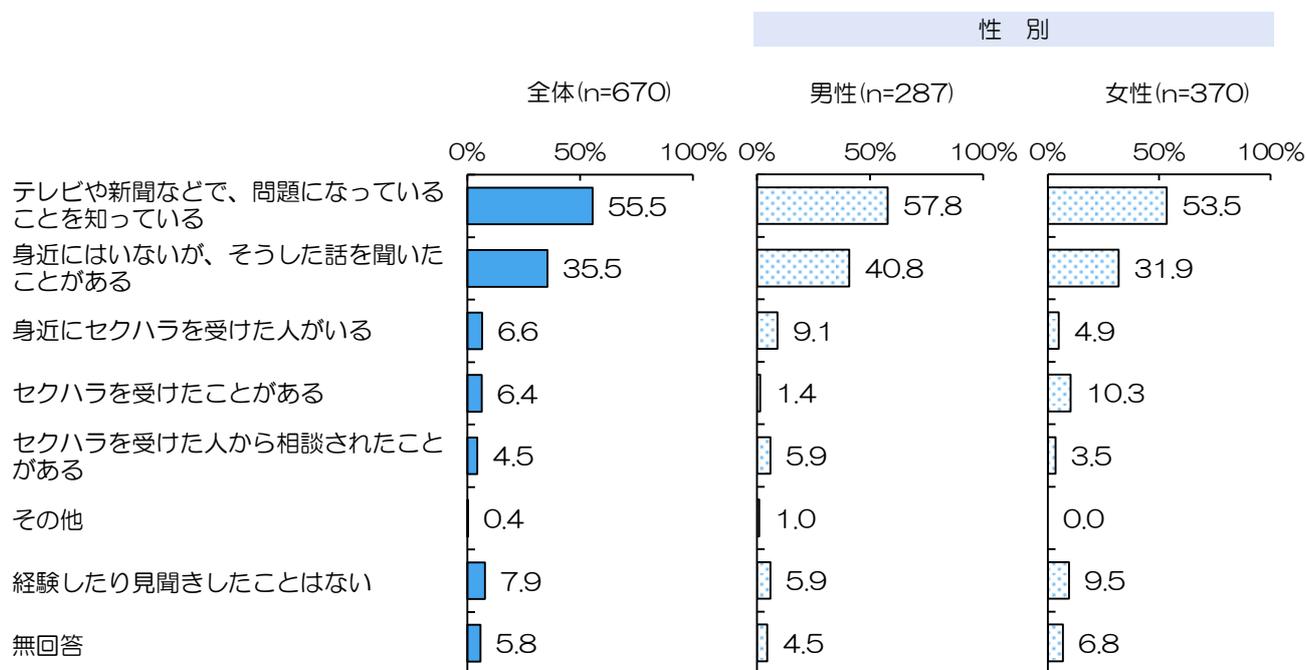
性別にみると、「女性」では「仕事と家庭生活（プライベート）の両方のバランスをとっている」が22.2%と最も多くなっています。

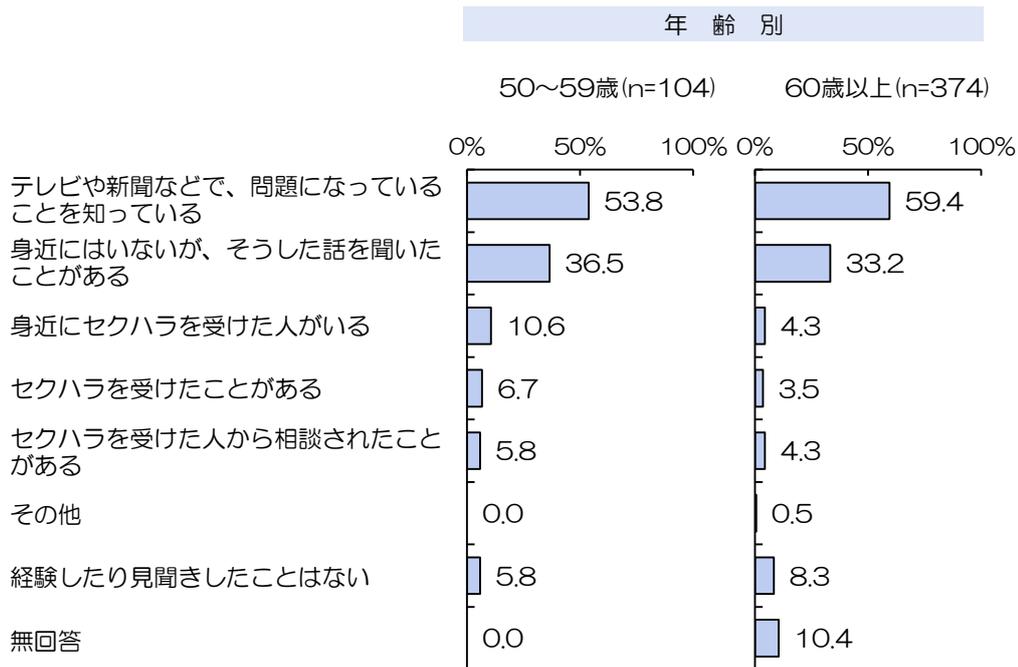
Ⅶ セクシュアル・ハラスメントについて

〈1. セクハラ経験の有無〉

問24 あなたは、これまでに、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ・性的嫌がらせ）について経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。

（あてはまるもの全て選択可）



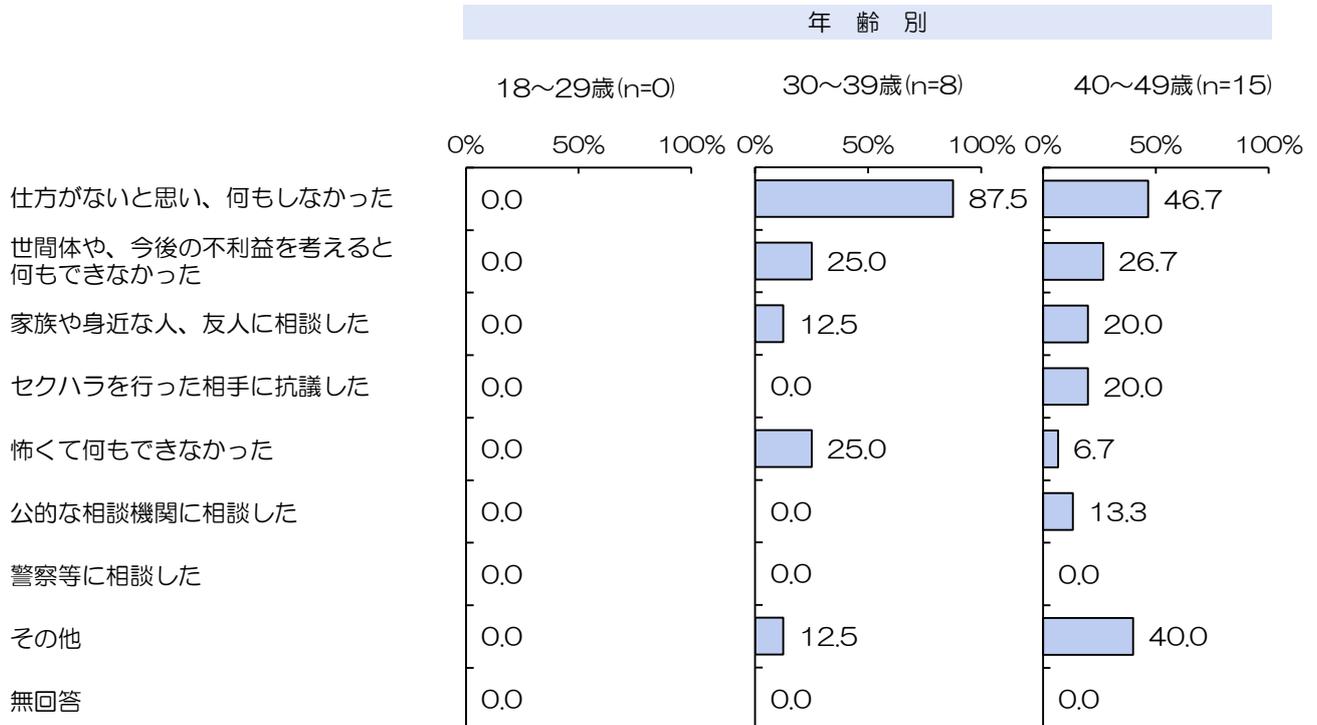
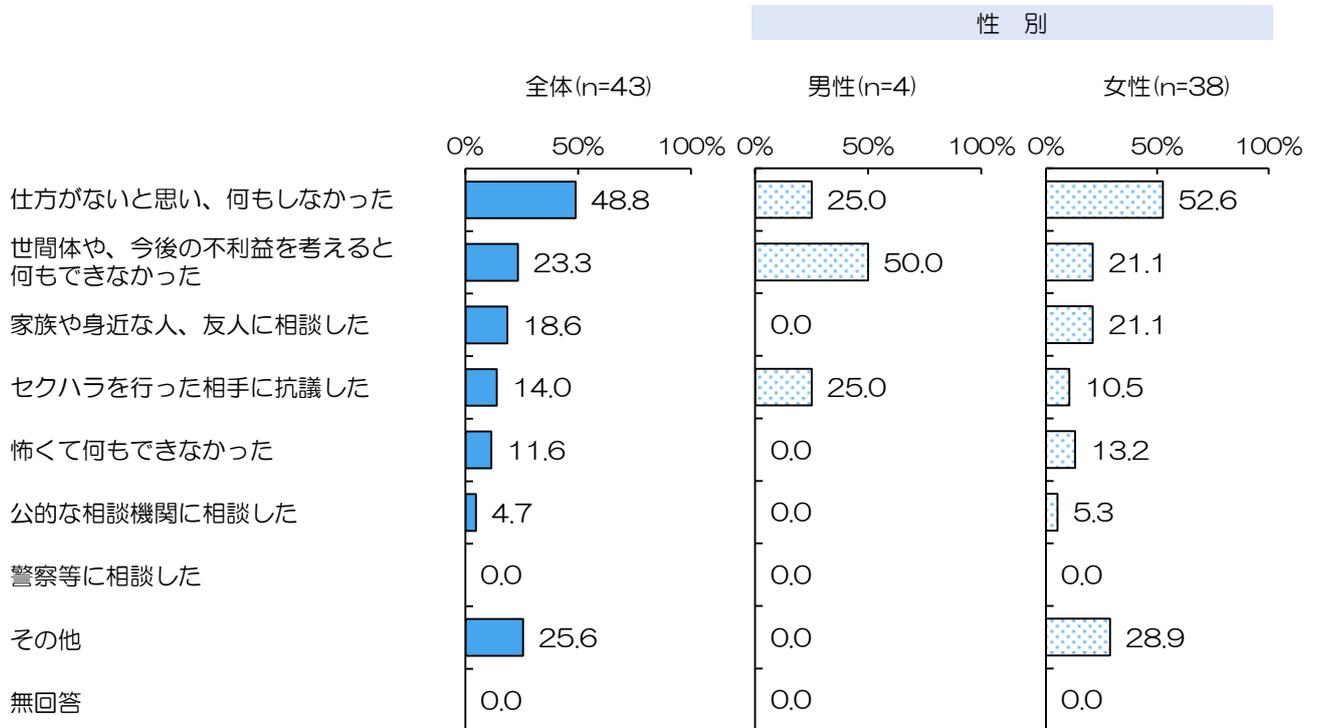


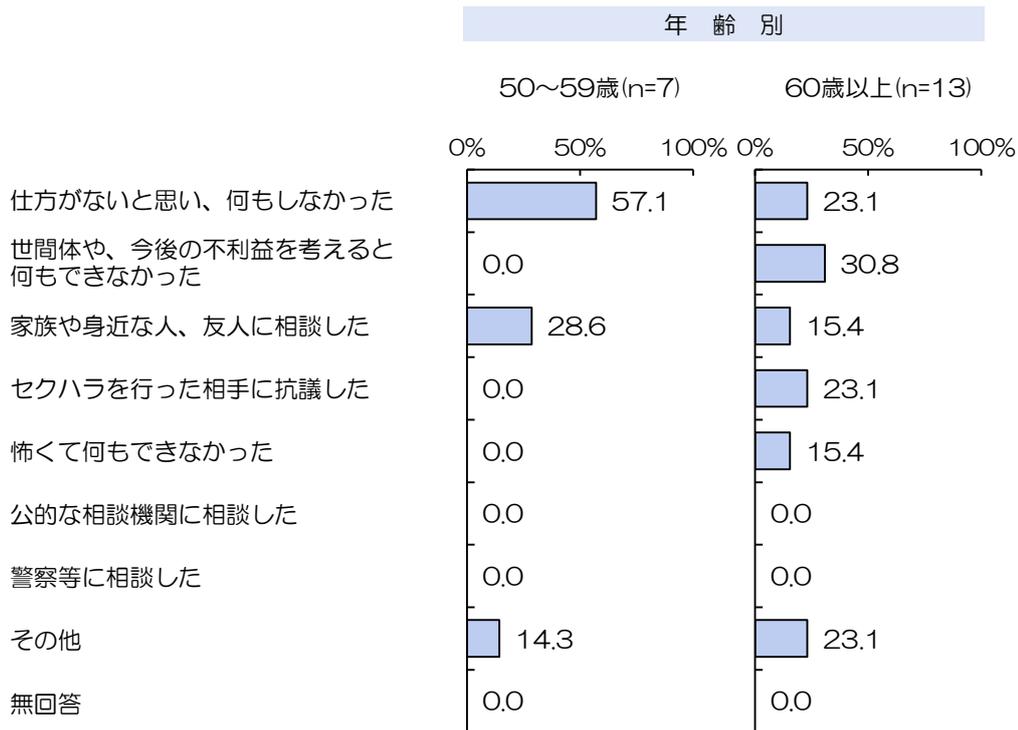
セクハラ経験の有無は、「テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている」が55.5%と最も多く、次いで「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」が35.5%、「身近にセクハラを受けた人がいる」が6.6%などとなっています。また、「経験したり見聞きしたことはない」が7.9%となっています。

〈2. セクハラへの対応〉

〈問24で「1. セクハラを受けたことがある」と答えた方〉

問25 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。(あてはまるもの全て選択可)





セクハラへの対応は、「仕方がないと思い、何もしなかった」が48.8%と最も多く、次いで「世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった」が23.3%、「家族や身近な人、友人に相談した」が18.6%などとなっています。

性別にみると、“男性”では「世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった」が50.0%と最も多くなっています。

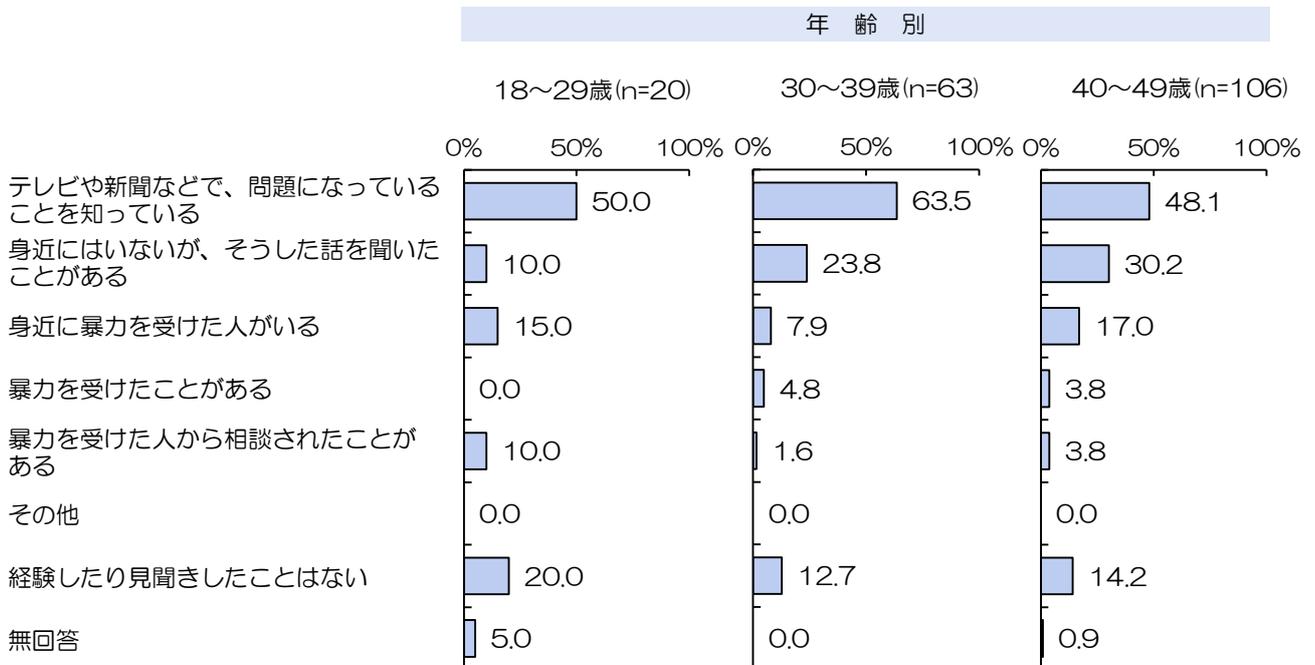
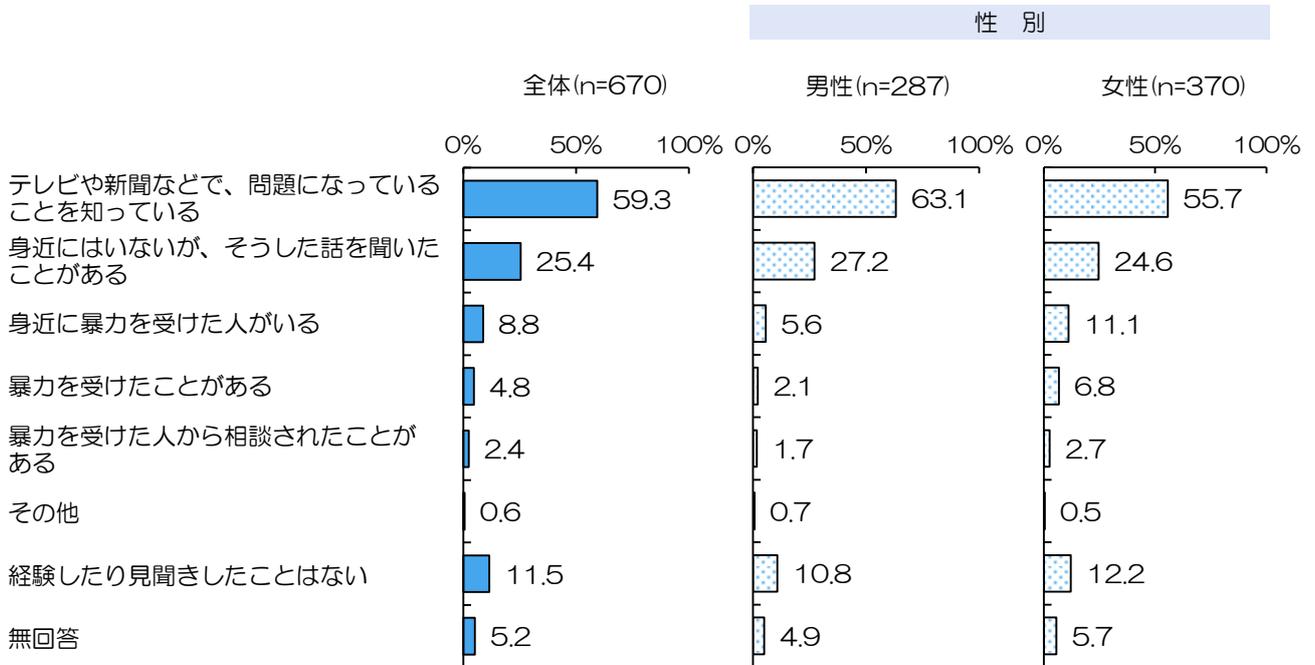
年齢別にみると、“60歳以上”では「世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった」が30.8%と最も多くなっています。

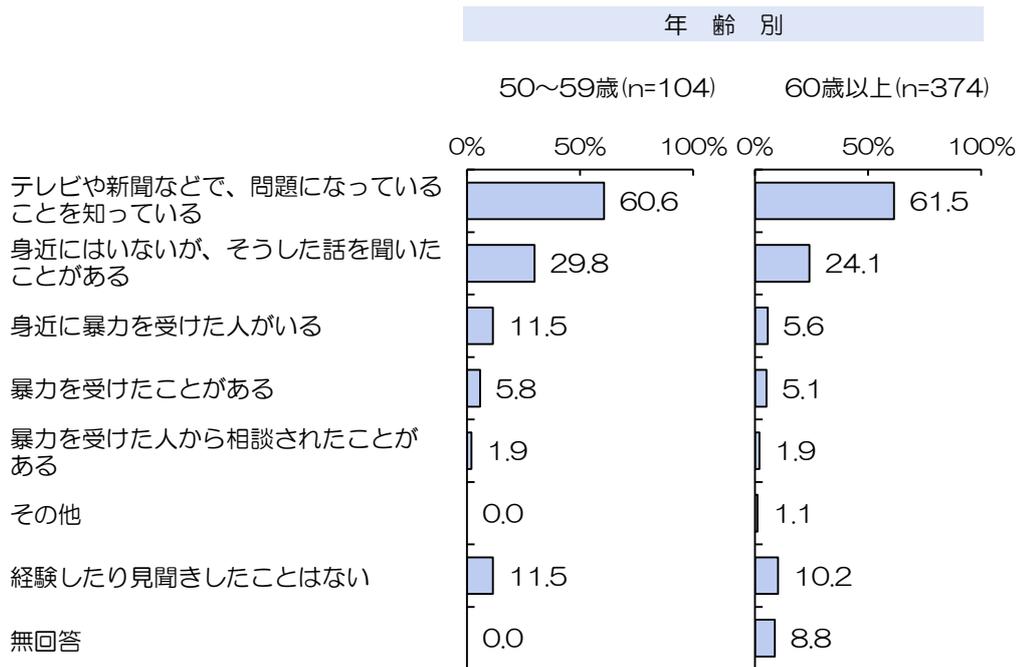
Ⅷ ドメスティック・バイオレンス（DV）について

＜1. DV経験の有無＞

問26 これまでに、夫・妻や恋人など親しい間柄にある男女間の暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、経験したり見聞きしたりしたことがありますか。

（あてはまるもの全て選択可）





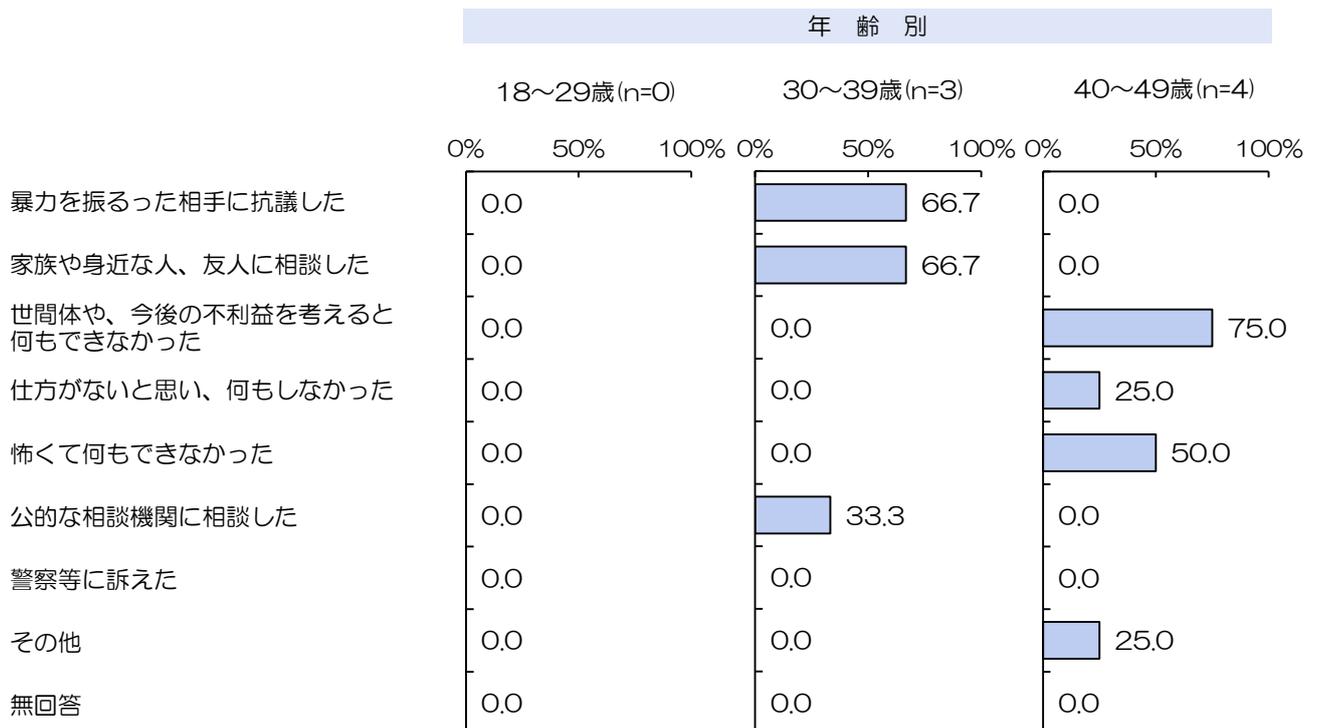
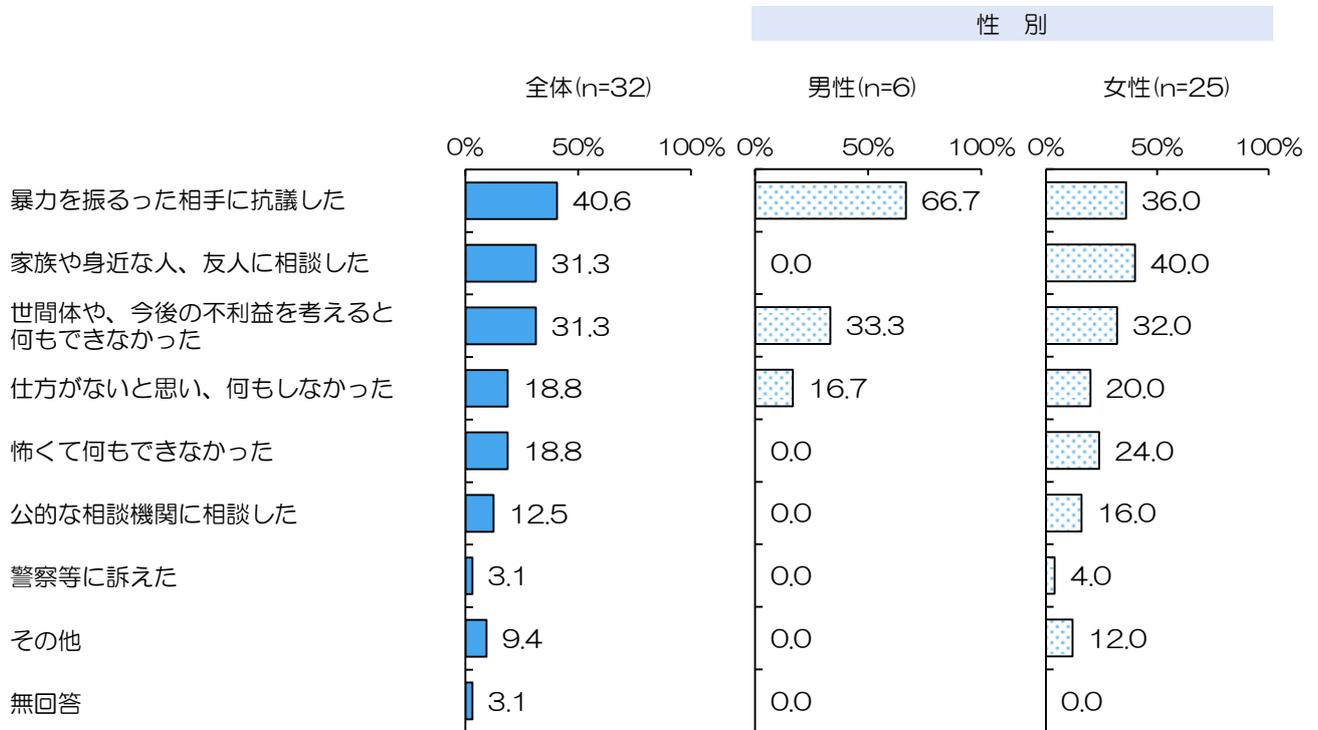
DV経験の有無は、「テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている」が59.3%と最も多く、次いで「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」が25.4%、「身近に暴力を受けた人がある」が8.8%などとなっています。また、「経験したり見聞きしたことはない」が11.5%となっています。

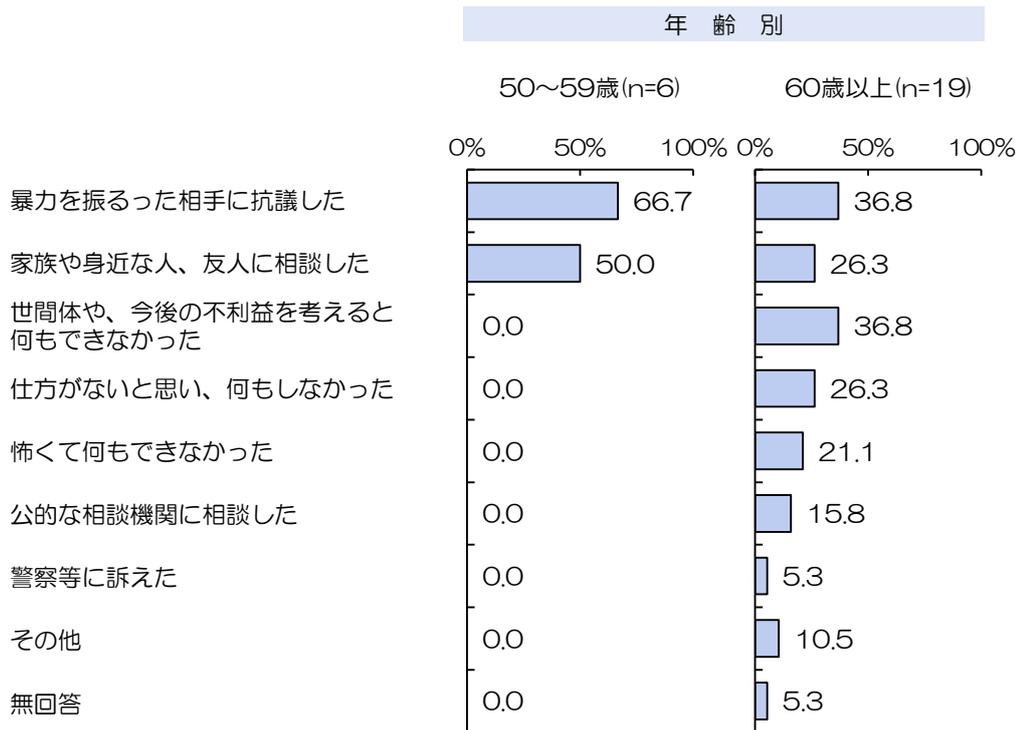
〈2. DVへの対応〉

〈問26で「1. 暴力を受けたことがある」と答えた方〉

問27 夫・妻や恋人から暴力を受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。

(あてはまるもの全て選択可)





DVへの対応は、「暴力を振るった相手に抗議した」が40.6%と最も多く、次いで「家族や身近な人、友人に相談した」と「世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった」が31.3%、「仕方がないと思い、何もしなかった」と「怖くて何もできなかった」が18.8%などとなっています。

性別にみると、“女性”では「家族や身近な人、友人に相談した」が40.0%と最も多くなっています。

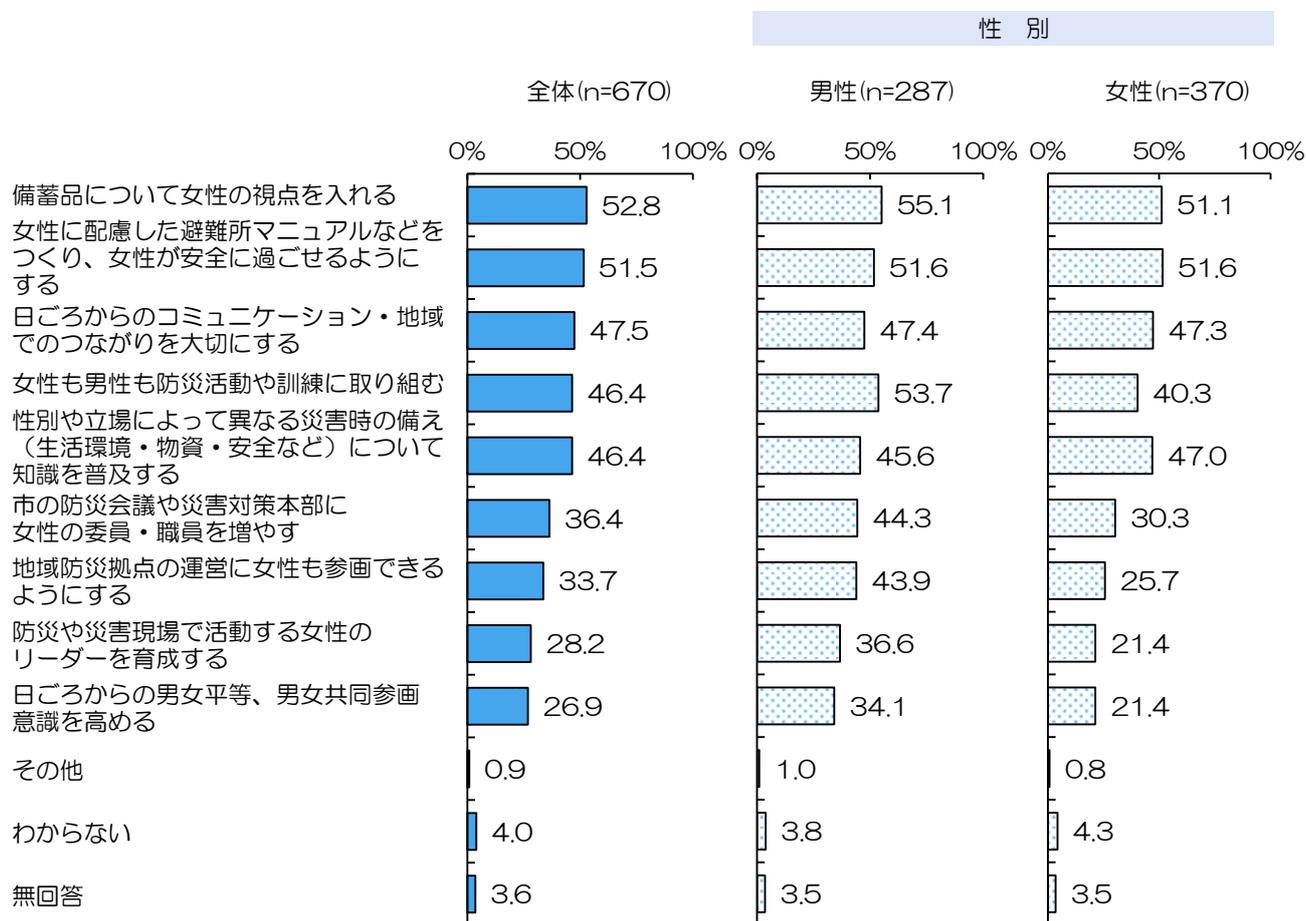
年齢別にみると、“40～49歳”では「世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった」が75.0%と最も多くなっています。

Ⅹ 防災・復興について

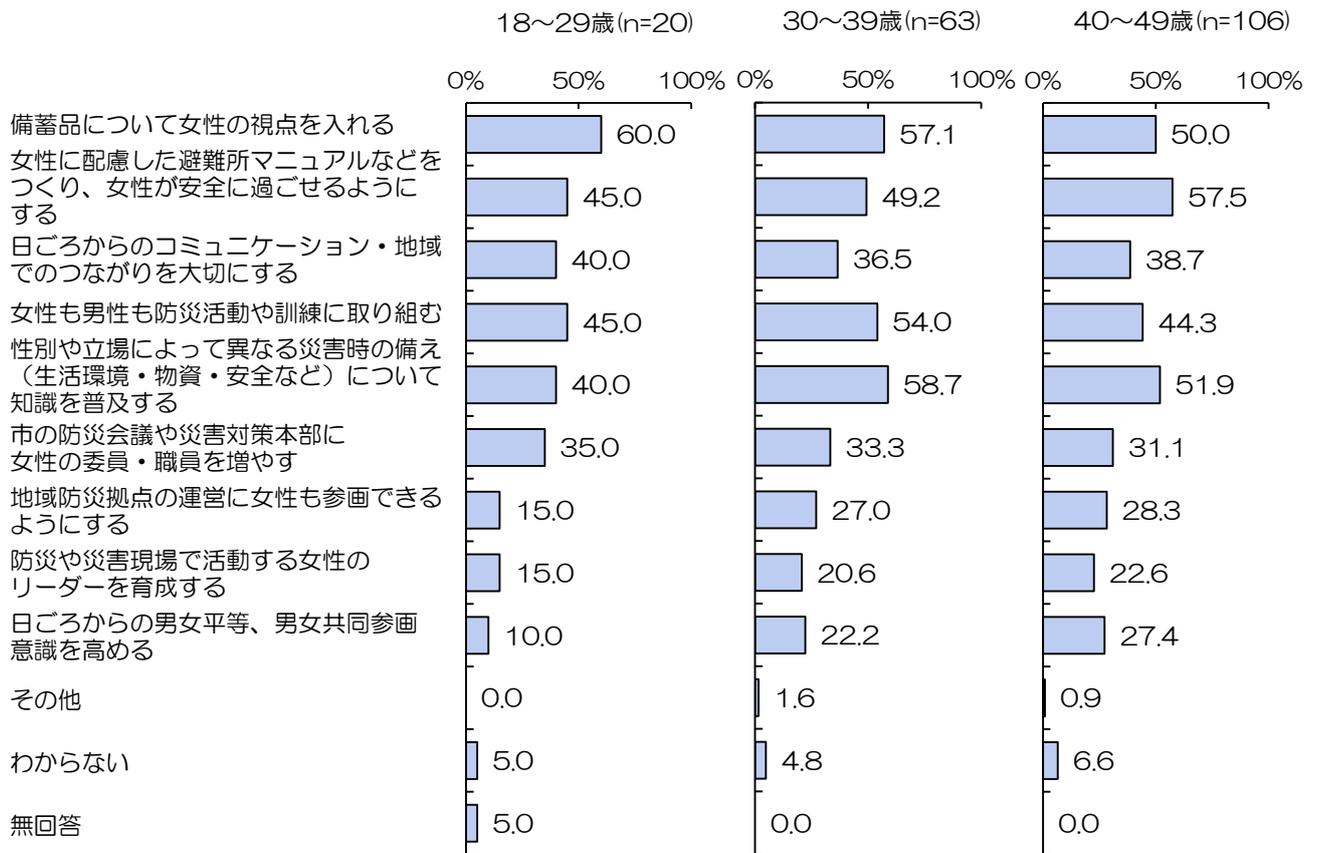
＜1. 災害対応への女性参画のために必要な施策＞

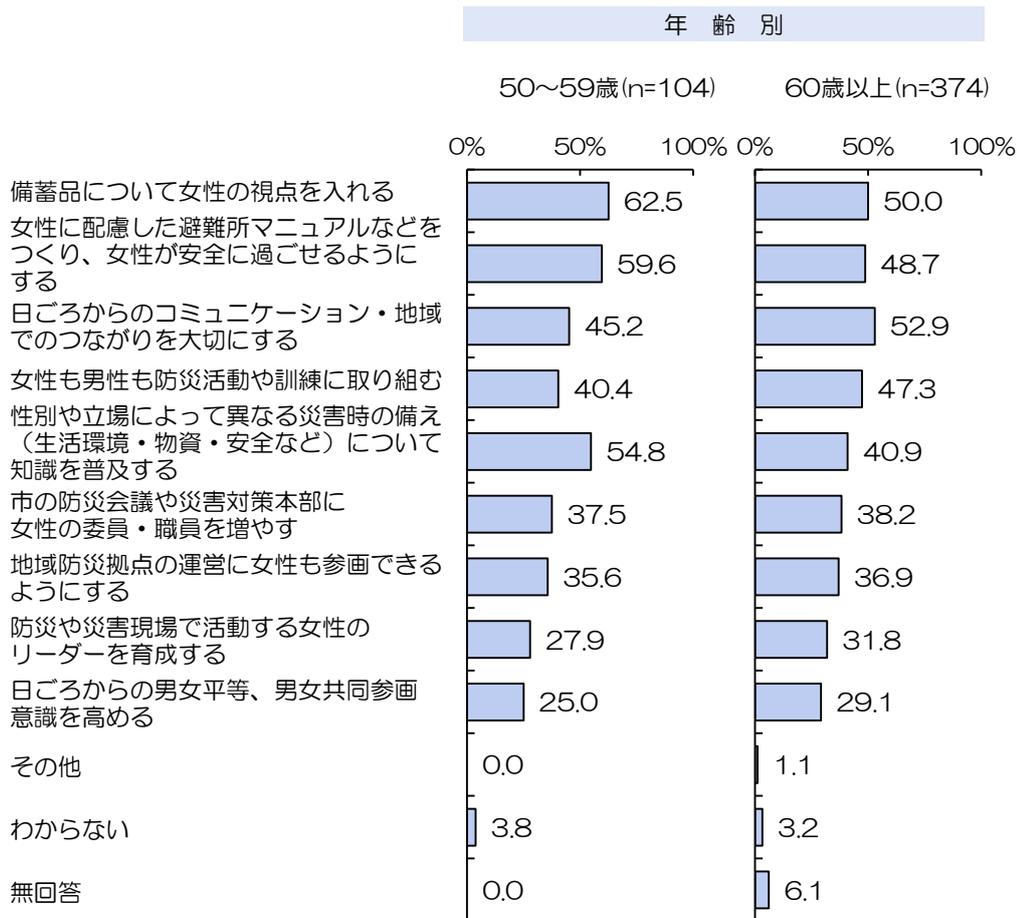
問28 防災や震災対応に女性が参画するために、どのような施策が必要だと思いますか。

(あてはまるもの全て選択可)



年 齢 別





災害対応への女性参画のために必要な施策は、「備蓄品について女性の視点を入れる」が52.8%と最も多く、次いで「女性に配慮した避難所マニュアルなどをつくり、女性が安全に過ごせるようにする」が51.5%、「日ごろからのコミュニケーション・地域でのつながりを大切にする」が47.5%などとなっています。

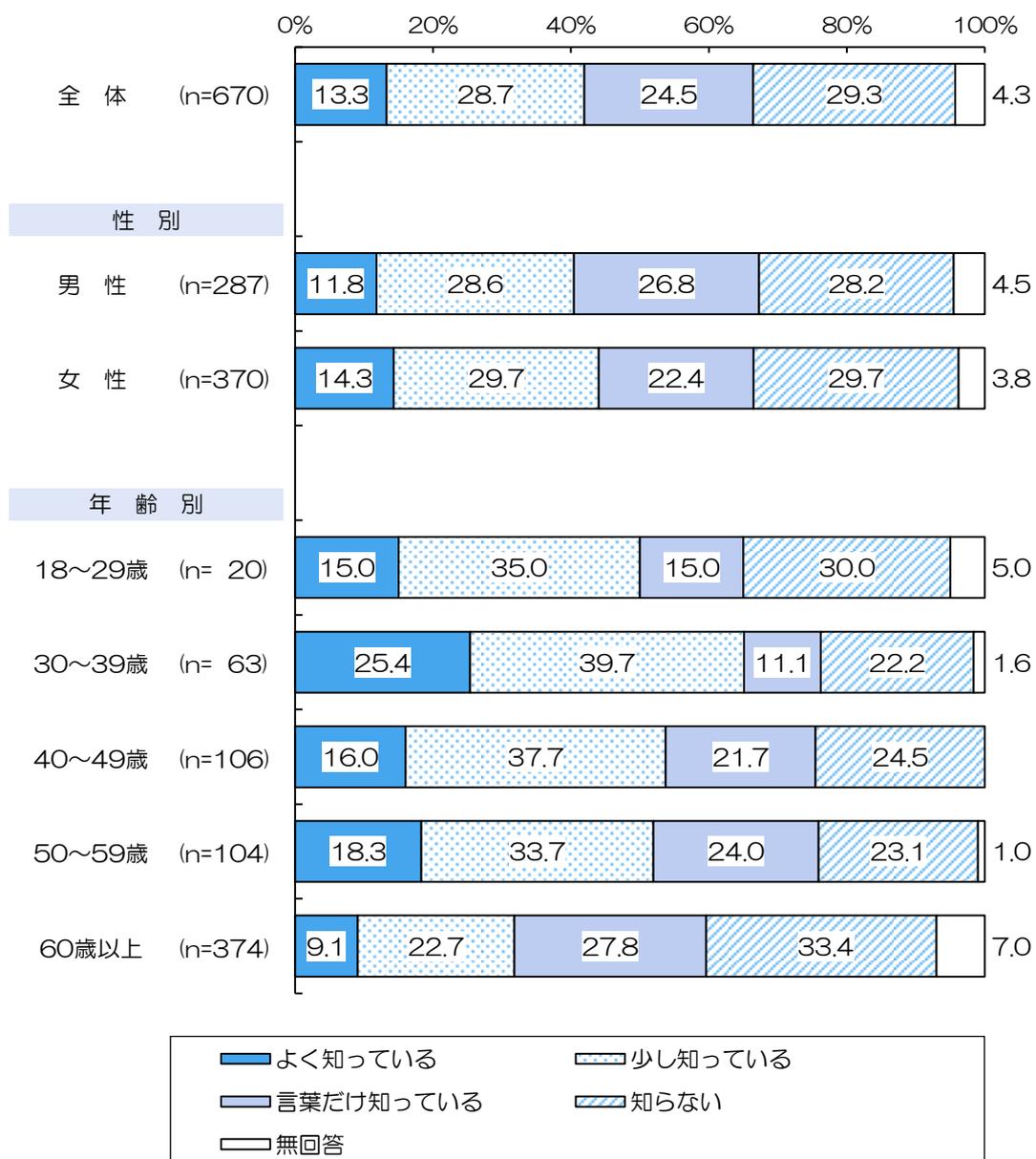
年齢別にみると、“30～39歳”では「性別や立場によって異なる災害時の備え（生活環境・物資・安全など）について知識を普及する」が58.7%と最も多くなっています。また、“40～49歳”では「女性に配慮した避難所マニュアルなどをつくり、女性が安全に過ごせるようにする」が57.5%と最も多くなっています。また、“60歳以上”では「日ごろからのコミュニケーション・地域でのつながりを大切にする」が52.9%と最も多くなっています。

X 性的マイノリティについて

<1. 『性的マイノリティ（LGBT）』の認知>

問29 あなたは性的マイノリティ（またはLGBT）という言葉を知っていますか。

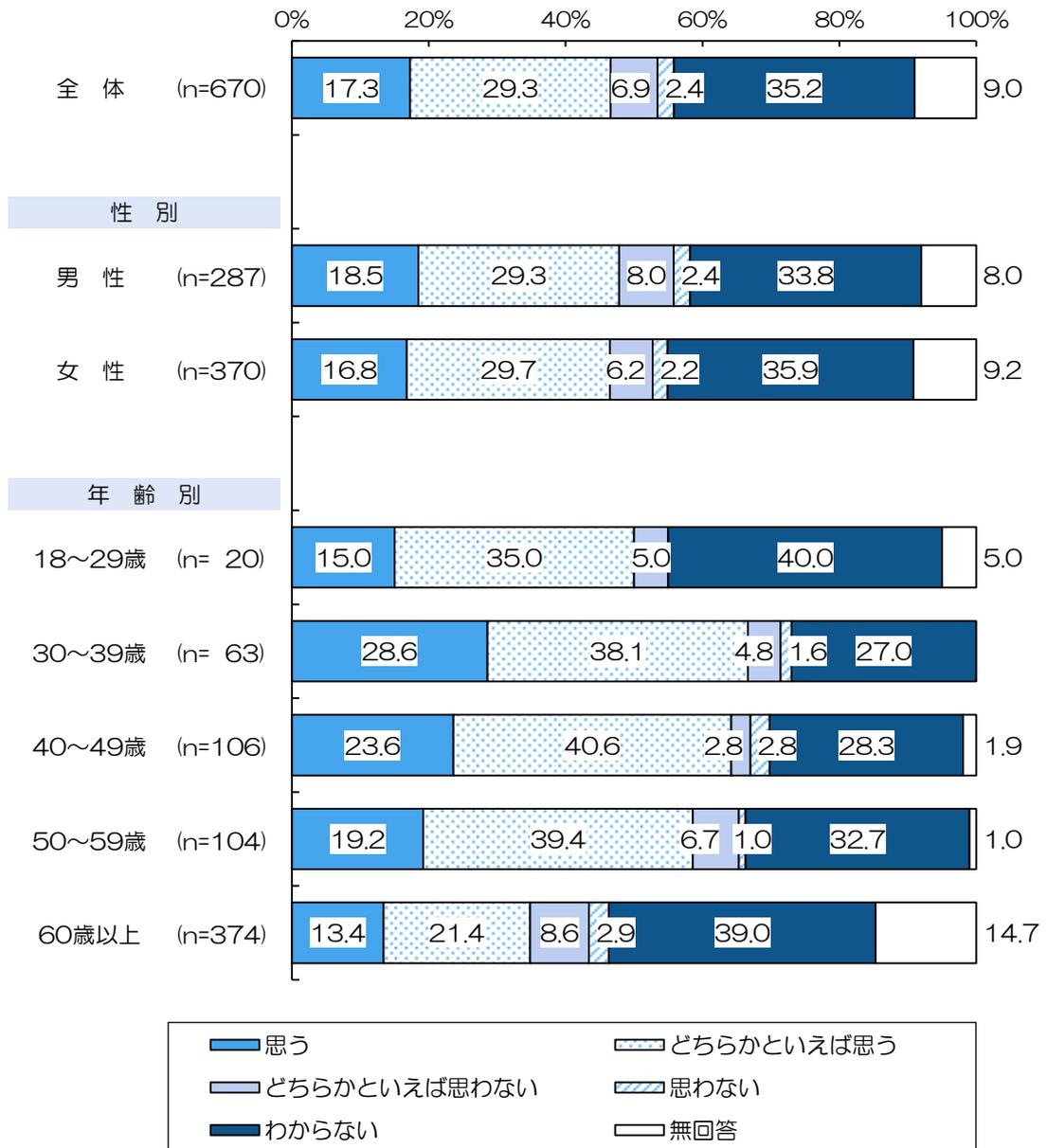
（1つを選択）



『性的マイノリティ（LGBT）』の認知は、「よく知っている」が13.3%、「少し知っている」が28.7%、「言葉だけ知っている」が24.5%、「知らない」が29.3%となっています。

〈2. 性的マイノリティにとって生活しづらい社会か〉

問30 現在、性的マイノリティ（またはLGBT）の方々にとって、偏見や差別などにより生活しづらい社会だと思いますか。（1つを選択）

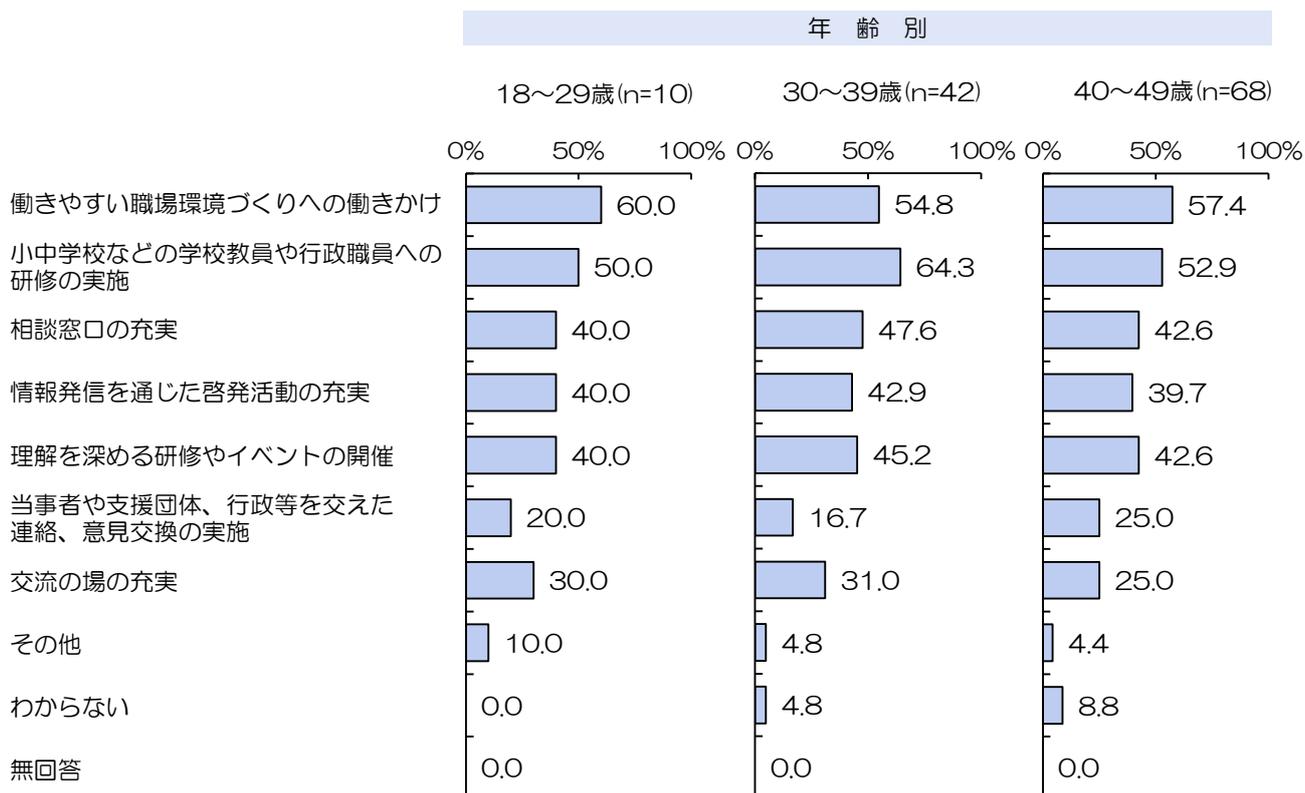
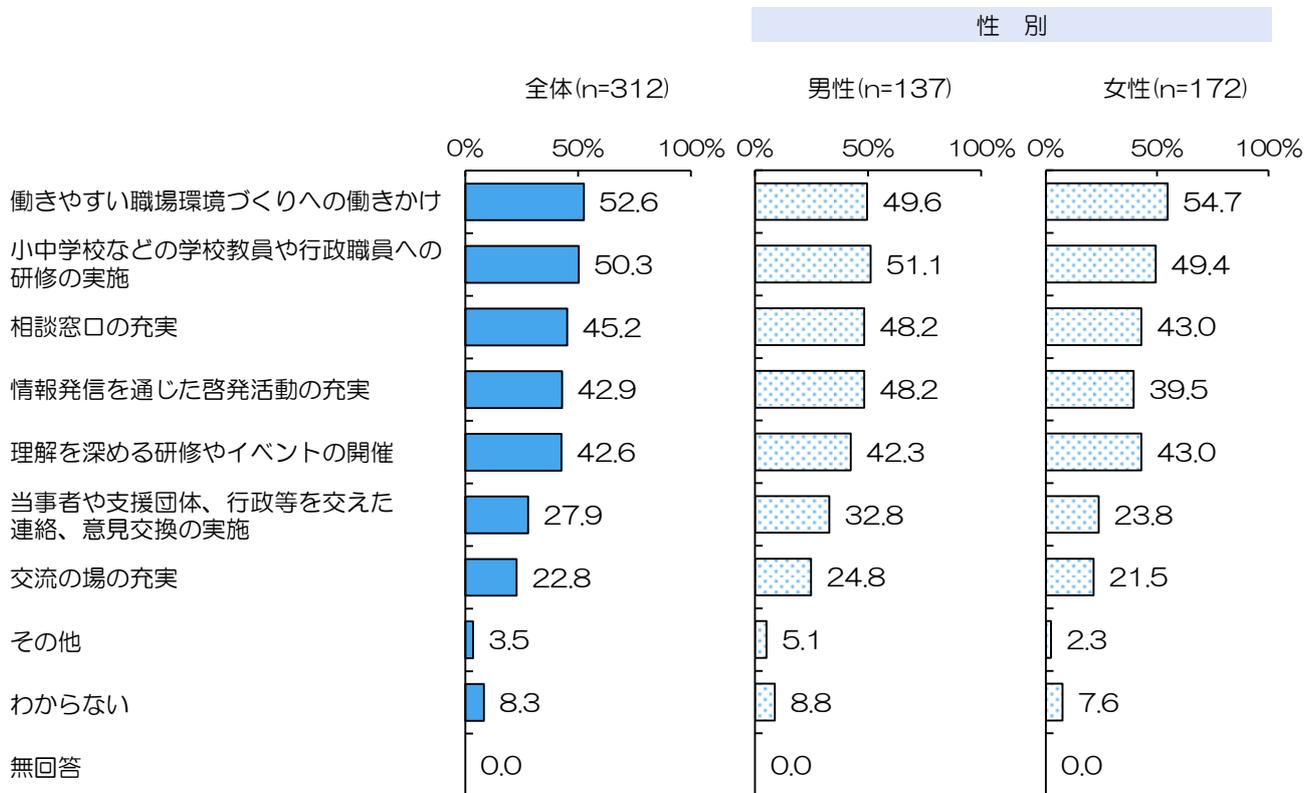


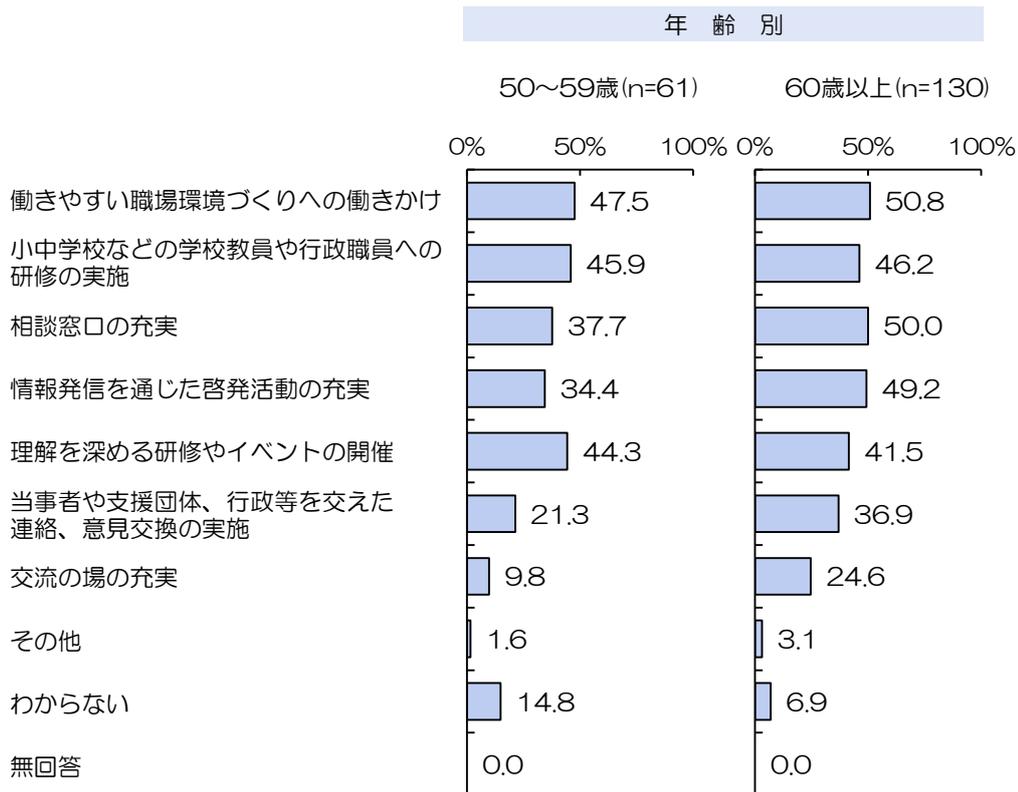
性的マイノリティにとって生活しづらい社会かは、「わからない」が35.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば思う」が29.3%、「思う」が17.3%などとなっています。

〈3. 性的マイノリティが生活しやすくなるために必要な施策〉

〈問30で「1. 思う」「2. どちらかといえば思う」と答えた方〉

問31 性的マイノリティの方々が生活しやすくなるためにどのような施策が必要だと思いますか。(あてはまるもの全て選択可)





性的マイノリティが生活しやすくなるために必要な施策は、「働きやすい職場環境づくりへの働きかけ」が52.6%と最も多く、次いで「小中学校などの学校教員や行政職員への研修の実施」が50.3%、「相談窓口の充実」が45.2%などとなっています。

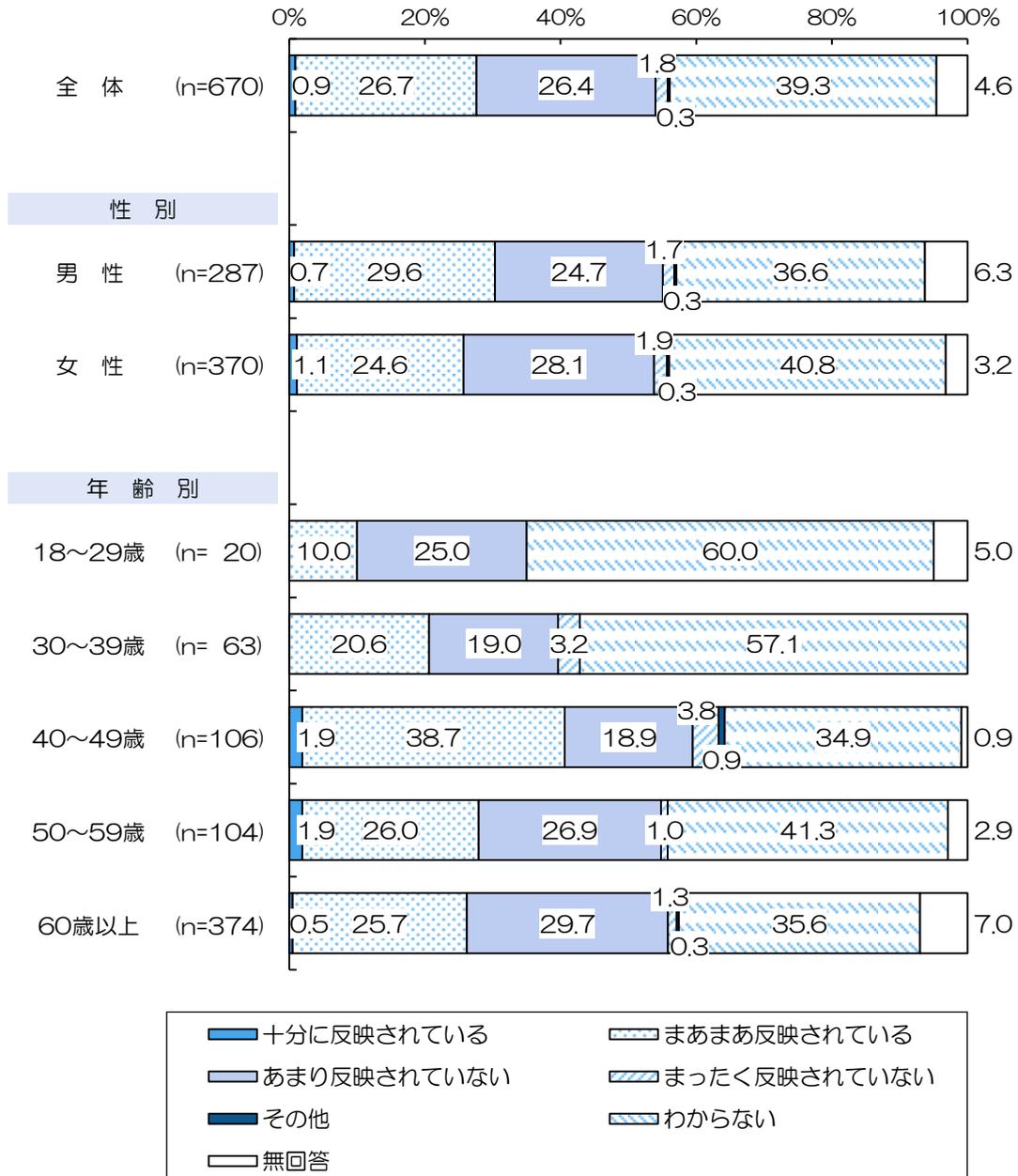
性別にみると、「男性」では「小中学校などの学校教員や行政職員への研修の実施」が51.1%と最も多くなっています。

年齢別にみると、「30～39歳」では「小中学校などの学校教員や行政職員への研修の実施」が64.3%と最も多くなっています。

XI その他について

＜1. 市政への女性の意見の反映＞

問32 あなたは市政に女性の意見が反映されていると思いますか。（1つを選択）



市政への女性の意見の反映は、「わからない」が39.3%と最も多く、次いで「まあまあ反映されている」が26.7%、「あまり反映されていない」が26.4%などとなっています。

年齢別にみると、“40～49歳”では「まあまあ反映されている」が38.7%と最も多くなっています。

3. 調査票

男女共同参画・多文化共生に関する市民意識調査票

*** ご協力をお願い ***

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、皆様に男女平等や男女共同参画社会の実現及び多文化共生に関するお考えやご意見をお聞きし、今後の計画の策定・推進の参考とするため、意識調査を実施することになりました。

なお、調査にあたりましては、市内在住の18歳以上の方々1,500人を無作為に選ばせていただき調査票をお送りしています。この調査の結果は、計画推進の目的のみに使用するものであり、他の目的に使用することや内容についてご迷惑をおかけすることは決してありません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和2年6月 湖西市長 影山 剛士

*** 記入にあたってのお願い ***

- 1 この調査は、宛名のご本人が、ご自身のお考えをお答えください。
- 2 宛名のご本人がご病気などで、自分で答えるのが難しい場合は、ご家族またはお世話をなさっている方が記入のお手伝いをしていただいても構いません。
- 3 回答は、令和2年6月1日現在の状況をご記入ください。
- 4 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 5 「その他」を選択した場合は、()内に具体的な内容も記入してください。
- 6 ご記入後は7月8日(水)までに同封の封筒でご投函ください。(切手不要)

問合せ先：湖西市市民安全全部市民課 〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
(TEL) 053-576-1213 (FAX) 053-576-4880

I あなたのことについてお伺いします

問1 あなたの性別をお答えください。(1つを選択)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。(1つを選択)

※6月1日現在の年齢をお選びください。

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 18~24歳 | 2. 25~29歳 | 3. 30~34歳 | 4. 35~39歳 |
| 5. 40~44歳 | 6. 45~49歳 | 7. 50~54歳 | 8. 55~59歳 |
| 9. 60~64歳 | 10. 65~69歳 | 11. 70~74歳 | 12. 75歳以上 |

問3 あなたの家族構成(同居している家族)は次のどれにあてはまりますか。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみの世帯 | 3. 親と子の二世帯 |
| 4. 親・子・孫の三世帯 | 5. 母子世帯 | 6. 父子世帯 |
| 7. その他() | | |

問4 あなたの職業は次のどれにあてはまりますか。(兼業の方は主なものをお選びください。)

(1つを選択)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 会社員、公務員・その他勤め人 | 2. パート・アルバイト・派遣社員 |
| 3. 自営業(農林漁業、商工業等) | 4. 専業主婦(専業主夫も含む) |
| 5. 学生 | 6. 無職 |
| 7. その他() | |

問5 あなたは結婚していますか。(1つを選択)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 結婚している(事実婚を含む) | 2. 結婚していない |
| 3. 結婚していたが、離婚・死別した | |

→ 問5で「1. 結婚している(事実婚を含む)」とお答えの方に伺います。

問6 現在、共働きをしていますか。(1つを選択)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 共働き(共にフルタイム) | 2. 共働き(いずれかがパート・アルバイト) |
| 3. 共働き(共にパート・アルバイト) | 4. 共働きでない |
| 5. どちらも働いていない | |

問7 あなたは高校生以下のお子さんがいらっしゃいますか。(1つを選択)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問8 あなたを含めたご家族の中に介護・介助が必要な方がいらっしゃいますか。(1つを選択)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

II 以下の言葉・考え方についてお伺いします

問9 『男女共同参画』という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。(1つを選択)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

問10 『多文化共生』という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。(1つを選択)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

問11 『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ』という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。

(1つを選択)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

問12 選択的夫婦別氏制度という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。(1つを選択)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

Ⅲ 社会における男女平等についてお伺いします

• 性別役割分担意識とは

「男は仕事、女は家庭・育児」、「男はたくましく積極的、女はやさしく控えめ」、「男が代表、女は補助」というように性別によって固定的に役割を分担する考え方のこと。

• 参画とは

物事を決める場に、ただ席にいて「参加」するだけでなく、決定にいたるまでの相談や議論に主体的に加わっていくこと。

問13 『男は仕事、女は家庭』というような男女の役割を固定的に考えること（性別役割分担意識）について、あなたはどのようにお考えですか。（1つを選択）

1. 同感する 2. どちらともいえない 3. わからない 4. 同感しない

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。

（それぞれ1つを選択）

	男性が非常に優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が非常に優遇されている	わからない
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6
② 職場	1	2	3	4	5	6
③ 就職	1	2	3	4	5	6
④ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
⑤ 地域（自治会・PTA等）	1	2	3	4	5	6
⑥ 政治の場	1	2	3	4	5	6
⑦ 法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会通念や慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6
⑨ ドラマ・漫画・文化	1	2	3	4	5	6
⑩ 社会全体	1	2	3	4	5	6

問15 男女平等社会を実現するために大切だと思うことはどのようなことですか。

（あてはまるもの全て選択可）

1. 性差別につながる法律や制度の見直し
2. 性別に関する偏見や社会通念、慣習がなくなること
3. 女性が社会進出すること
4. 一定の割合で女性を重要な役職に登用する制度を充実すること
5. 育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得しやすい社会づくりを進めること
6. 子育てや介護、地域活動に男性が参画すること
7. 学校や生涯教育の場で男女平等教育を推進すること
8. 男女平等に関する普及啓発を充実すること
9. その他（具体的に：_____）
10. 特になし

問16 男女平等社会の実現を図るために、今後、行政はどのようなことに力を入れるとよいと思いますか。(あてはまるもの全て選択可)

1. 学校教育における男女平等教育の充実
2. 男女平等について学べる機会の充実
3. 男女平等に関する情報提供やイベントの充実
4. 女性が参加しやすい職業教育・訓練の機会の充実
5. 企業等に対する男女共同参画についての働きかけ
6. 行政の政策決定や審議会への女性の積極的な登用
7. 男性の家事や育児への参画を促進するための教育・支援の充実
8. その他(具体的に: _____)
9. 特になし

IV 家庭生活における役割分担についてお伺いします

問17 以下のA、Bのような考え方について、あなたの意見はどちらに近いですか。
(それぞれ1つを選択)

① 家計

A: 家計を支える(生活費を稼ぐ)のは男性の役割である

B: 家計を支える(生活費を稼ぐ)のは女性の役割である

1. Aに近い
2. どちらかといえばAに近い
3. AとB両方である
4. どちらかといえばBに近い
5. Bに近い

② 家事

A: 家事をするのは男性の役割である

B: 家事をするのは女性の役割である

1. Aに近い
2. どちらかといえばAに近い
3. AとB両方である
4. どちらかといえばBに近い
5. Bに近い

③ 育児

A: 育児をするのは男性の役割である

B: 育児をするのは女性の役割である

1. Aに近い
2. どちらかといえばAに近い
3. AとB両方である
4. どちらかといえばBに近い
5. Bに近い

④ 介護

A: 介護をするのは男性の役割である

B: 介護をするのは女性の役割である

1. Aに近い
2. どちらかといえばAに近い
3. AとB両方である
4. どちらかといえばBに近い
5. Bに近い

V 職業や労働についてお伺いします

問18 あなたは、「女性と職業」についてどのようにお考えですか。(1つを選択)

1. 女性は職業をもたないほうがよい
2. 結婚するまで職業をもつほうがよい
3. 子どもができるまで職業をもつほうがよい
4. 出産・育児期間は仕事をやめ、成長したら再び職業をもつほうがよい
5. 定年(生涯)職業をもち続けるほうがよい
6. その他(具体的に: _____)
7. わからない

▶(問18で「2.～5.」とお答えの方に伺います。)

問19 女性が働く上での障害は何だと思えますか。(あてはまるもの全て選択可)

1. 結婚・出産退職等の慣行
2. 賃金の男女格差
3. 昇進・昇格における男女の格差
4. 仕事内容における男女の格差
5. 長時間労働や残業
6. 雇用形態にパートタイムや臨時雇いが多いこと
7. 育児休業・休暇が取得しにくいこと
8. 育児施設の不足
9. 介護休業・休暇が取得しにくいこと
10. 介護施設の不足
11. 職場における人間関係
12. 家族に反対されたり、協力が得られないこと
13. 女性自身の知識や技術の不足
14. 女性自身の就業意識が低いこと
15. その他(具体的に: _____)
16. 特にない
17. わからない

問20 育児や介護を行うために、育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得できる制度があります。この制度を活用して男性が育児休業・休暇や介護休業・休暇を取ることに、あなたはどのようにお考えになりますか。(それぞれ1つを選択)

	積極的に取った方がよい	どちらかといえば取った方がよい	どちらかといえば取らない方がよい	取らない方がよい	わからない
①育児休業・休暇	1	2	3	4	5
②介護休業・休暇	1	2	3	4	5

問21 現在お勤めの方だけに伺います。あなたの職場では、男性の育児休業・休暇や介護休業・休暇が取得しやすい環境（又は雰囲気）にありますか。（それぞれ1つを選択）

	取得しやすい	やや取得しやすい	やや取得しにくい	取得しにくい	わからない
①育児休業・休暇	1	2	3	4	5
②介護休業・休暇	1	2	3	4	5

VI ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についてお伺いします

・ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは

やりがいのある仕事と充実した生活（子育てや家庭生活だけでなく、地域活動や趣味・学習などあらゆる活動が含まれる。）を両立させながら、個人の能力を最大限発揮できるように支援する考え方や施策のこと。

仕事優先から仕事と生活のバランスがとれた働き方や生き方への展開が求められるようになってきている。

問22 あなたはワーク・ライフ・バランスという言葉をどの程度ご存じですか。（1つを選択）

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉を聞いたことはあるが、内容までは知らない
3. 言葉も内容も知らない

問23 あなたの仕事と家庭生活（プライベート）について、理想と現実をお答えください。

（それぞれ1つを選択）

①理想

1. 仕事を優先したい
2. どちらかといえば仕事を優先したい
3. 仕事と家庭生活（プライベート）の両方のバランスをとりたい
4. どちらかといえば家庭生活（プライベート）を優先したい
5. 家庭生活（プライベート）を優先したい

②現実

1. 仕事を優先している
2. どちらかといえば仕事を優先している
3. 仕事と家庭生活（プライベート）の両方のバランスをとっている
4. どちらかといえば家庭生活（プライベート）を優先している
5. 家庭生活（プライベート）を優先している

Ⅶ セクシュアル・ハラスメントについてお伺いします

・セクシュアル・ハラスメントとは

職場・学校・地域活動等において、本人の意に反した攻撃的で屈辱的な性的言動や勧誘により、仕事などをしていくうえで、一定の不利益を受けたり、環境が悪化したりすること。

問24 あなたは、これまでに、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ・性的嫌がらせ）について経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。（あてはまるもの全て選択可）

1. セクハラを受けたことがある
2. 身近にセクハラを受けた人がいる
3. セクハラを受けた人から相談されたことがある
4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある
5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている
6. 経験したり見聞きしたことはない
7. その他（具体的に： _____）

→<問24で「1. セクハラを受けたことがある」と答えた方におたずねします。>

問25 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。（あてはまるもの全て選択可）

1. セクハラを行った相手に抗議した
2. 家族や身近な人、友人に相談した
3. 公的な相談機関に相談した
4. 警察等に相談した
5. 仕方がないと思い、何もしなかった
6. 怖くて何もできなかった
7. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった
8. その他（具体的に： _____）

次のページに続きます→

Ⅷ ドメスティック・バイオレンス（DV）についてお伺いします

☆立ち入った質問になりますが、この調査は無記名で行っておりますので、回答された方に御迷惑がかかることは一切ありません。調査へのご協力をお願いします。

・ドメスティック・バイオレンス（DV）とは

配偶者や恋人などのパートナーから、殴る、蹴る、物を投げつけるなどの身体的暴力、望まない性行為を強要するなどの性的暴力、ののしる、おどす、無視するなどの精神的暴力、生活費を渡さないなどの経済的暴力を受けること。

問26 これまでに、夫・妻や恋人など親しい間柄にある男女間の暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、経験したり見聞きしたりしたことがありますか。（あてはまるもの全て選択可）

1. 暴力を受けたことがある

2. 身近に暴力を受けた人がいる
3. 暴力を受けた人から相談されたことがある
4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある
5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている
6. 経験したり見聞きしたことはない
7. その他（具体的に：_____）

▶<問26で「1. 暴力を受けたことがある」と答えた方に伺います。>

問27 夫・妻や恋人から暴力を受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。

（あてはまるもの全て選択可）

1. 暴力を振るった相手に抗議した
2. 家族や身近な人、友人に相談した
3. 公的な相談機関に相談した
4. 警察等に訴えた
5. 仕方がないと思い、何もしなかった
6. 怖くて何もできなかった
7. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった
8. その他（具体的に：_____）

Ⅸ 防災・復興についてお伺いします

問28 防災や震災対応に女性が参画するために、どのような施策が必要だと思いますか。

（あてはまるもの全て選択可）

1. 市の防災会議や災害対策本部に女性の委員・職員を増やす
2. 地域防災拠点の運営に女性も参画できるようにする
3. 女性も男性も防災活動や訓練に取り組む
4. 備蓄品について女性の視点を入れる
5. 女性に配慮した避難所マニュアルなどをつくり、女性が安全に過ごせるようにする
6. 防災や災害現場で活動する女性のリーダーを育成する
7. 日ごろからのコミュニケーション・地域でのつながりを大切にする
8. 日ごろからの男女平等、男女共同参画意識を高める
9. 性別や立場によって異なる災害時の備え（生活環境・物資・安全など）について知識を普及する
10. その他（具体的に：_____）
11. わからない

X 性的マイノリティについてお伺いします

問29 あなたは性的マイノリティ（またはLGBT）という言葉を知っていますか。（1つを選択）

- | | |
|--------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

問30 現在、性的マイノリティ（またはLGBT）の方々にとって、偏見や差別などにより生活しづらい社会だと思いますか。（1つを選択）

- | |
|-----------------|
| 1. 思う |
| 2. どちらかといえば思う |
| 3. どちらかといえば思わない |
| 4. 思わない |
| 5. わからない |

→問30で「1. 思う」「2. どちらかといえば思う」と答えた方に伺います。→

問31 性的マイノリティの方が生活しやすくなるためにどのような施策が必要だと思いますか。

（あてはまるもの全て選択可）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 情報発信を通じた啓発活動の充実 |
| 2. 相談窓口の充実 |
| 3. 小中学校などの学校教員や行政職員への研修の実施 |
| 4. 当事者や支援団体、行政等を交えた連絡、意見交換の実施 |
| 5. 働きやすい職場環境づくりへの働きかけ |
| 6. 交流の場の充実 |
| 7. 理解を深める研修やイベントの開催 |
| 8. その他（具体的に：_____） |
| 9. わからない |

XI その他についてお伺いします

問32 あなたは市政に女性の意見が反映されていると思いますか。（1つを選択）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 十分に反映されている | 2. まあまあ反映されている |
| 3. あまり反映されていない | 4. まったく反映されていない |
| 5. その他（_____） | 6. わからない |

男女共同参画についてご意見等ありましたらご自由にお書きください。
